

茨木市スポーツに関する 市民意識調査報告書

平成27年（2015年）12月



茨木市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査目的	1
2	調査項目	1
3	調査設計	1
4	回収結果	1
5	報告書の見方	2
II	調査結果のまとめと課題	3
III	調査結果	11
1	回答者の属性	11
2	健康や生きがいについて	18
3	スポーツや運動に対する意識について	26
4	スポーツや運動の実施状況について	30
5	今後の運動やスポーツに対する意向について	55
6	スポーツクラブや同好会等への加入状況について	67
7	スポーツに関わるボランティア活動について	81
8	運動やスポーツに関する情報の入手先	84
9	市が管理・運営する公共のスポーツ施設について	88
10	茨木市内で行われるスポーツ行事の認知状況	99
11	茨木市内のスポーツ団体の認知状況	103
12	学校体育施設の利用状況について	105
13	茨木市における今後のスポーツ振興について	107
14	障害のある人とない人のスポーツによる交流について	114
資 料		
	スポーツに関する市民意識調査票	121

I 調査の概要

1 調査目的

市民の健康や運動・スポーツ活動に関する現状や意識などを調査し、「茨木市スポーツ推進計画」の策定及び今後の本市のスポーツに関する施策検討のための基礎資料を得るために実施した。

2 調査項目

- (1) 回答者の属性
- (2) 健康や生きがいについて
- (3) スポーツや運動に対する意識について
- (4) スポーツや運動の実施状況について
- (5) 今後の運動やスポーツに対する意向について
- (6) スポーツクラブや同好会等への加入状況について
- (7) 市が管理・運営する公共のスポーツ施設や行事、団体について
- (8) 学校体育施設の利用状況について
- (9) 茨木市における今後のスポーツ振興について
- (10) 障害のある人とない人のスポーツによる交流について

3 調査設計

- (1) 調査対象 市内在住の18歳以上の方の中から2,000人を無作為に抽出
- (2) 調査方法 郵送配布・回収
- (3) 調査期間 平成27年(2015年)7月30日～8月12日

4 回収結果

配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
2,000件	1,039件	1,033件	51.7%

5 報告書の見方

- (1) 図表の n (number of case) は、設問に対する回答者数のことである。
- (2) 回答比率 (%) は回答者数 (n) を100%として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して表示した。四捨五入の結果、内訳の合計が計に一致しないことがある。また、1人の対象者に複数の回答を求める設問では、回答比率 (%) の計は100.0%を超える。
- (3) 図表中の「MA%」(Multiple Answer の略。「○はいくつでも」) や「3LA%」(3 Limited Answer の略。「○は3つまで」) という表示は、複数回答形式の設問である。

II 調査結果のまとめと課題

1 回答者の属性

回答者の性別では、「男性」が53.1%に対し、「女性」は46.8%で、年齢構成は、「60歳代」(25.4%)と「70歳代」(25.0%)が半数で、男女とも高年代層が過半数を占めている。

現在の職業をみると、回答者に高齢者が多いことを背景に「年金受給者」が39.1%で最も多くなっている。一方、仕事をしている人の割合は45.5%で、「正社員・フルタイム」(27.6%)や「パート・アルバイト」(11.1%)が多い。

障害の有無をみると、回答者全体で障害がある割合は10.6%で、障害種別としては「肢体不自由」が45.5%で最も多い。年齢別で障害のある割合は、70歳以上が17.0%で最も高く、次いで60歳代が8.8%となっている。

このような障害者の状況や今後高齢化が益々進展していくことを踏まえ、スポーツ施設やスポーツへの参加機会など、障害者・高齢者に配慮した取組が必要である。

2 健康や生きがいについて

(健康について)

自分の健康状態について、『健康である』(「健康」と「どちらかといえば健康」を合わせた)割合が79.6%を占めているのに対し、『健康でない』(「あまり健康でない」と「健康でない(病気療養中等)」を合わせた)割合は19.1%で、男女とも若い世代ほど、自分は健康だと感じている。

健康や体力づくりのために心がけていることとしては、「食生活に気をつける」(62.2%)、「睡眠や休養を十分にとる」(51.7%)、「規則正しい生活をする」(39.2%)、「日常生活の中でできるだけ身体を動かす機会を増やす」(38.9%)の順に多く、「運動やスポーツをする」(30.0%)はこれらに比べ、若干低くなっている。また、健診の際に医師などから運動について指導されている人の割合は、男女ともに30歳以上の年代で高く、特に男性の40歳代(40.0%)及び女性の50歳代(29.3%)の割合が高い。

健康の保持・増進にとって、食生活や睡眠・休養とともに、スポーツや運動も重要であるにもかかわらず、取り組めていないのが現状である。食事や休養とともに適度な運動習慣が健康づくりに重要な要素であること啓発し、実践できるよう効果的な支援を検討する必要がある。

(生きがいづくりについて)

生きがいを感じることは、「子ども・孫・親などの家族・家庭」(36.7%)が最も多くなっている。これに次いで「趣味的活動」(32.9%)で、以下「仕事」(23.3%)、「友人など家族以外の人との交流」(22.5%)であり、「運動・スポーツ活動」(14.3%)は14項目中8番目で、「自分自身の健康づくり」(15.0%)に次いで下位となっている。男性では30歳代～50歳代は「仕事」や「子ども・孫・親などの家族・家

庭」、60歳以上は「趣味的活動」が上位であり、女性の場合は30歳以上の各年代で「子ども・孫・親などの家族・家庭」が第1位となっている。生きがいくりの一手段として運動やスポーツを位置づける市民は少ない。

3 スポーツや運動に対する意識について

(スポーツへの関心度)

運動やスポーツに『関心がある』(「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」の合計)割合は73.3%を占めているのに対し、『関心がない』(「どちらかといえば関心がない」と「関心がない」)の合計は24.2%となっている。特に男性では50歳代、女性では30歳代の関心割合が8割を超え高くなっている。年代により関心度に差はあるものの、市民の多くは運動やスポーツに関心を寄せている。

(良く観戦するスポーツ)

「野球」(54.2%)が最も多い。これに次いで「マラソン・駅伝」(32.0%)で、以下「サッカー」(31.8%)、「フィギュアスケート」(29.5%)、「大相撲」(27.1%)などと続いている。男性は年代に関係なく、「サッカー」「野球」が、女性は、40歳以上で「フィギュアスケート」が第1位となっており、性別により嗜好・ニーズの違いがみられる。

4 スポーツや運動の実施状況について

(運動やスポーツの実施状況)

自分自身の現在の運動量について、「不足である」が、男性の30歳以上、女性では各年代で最も多く、また、ふだん運動やスポーツをする頻度は、全体では「全くしていない」(34.5%)で最も多い。「全くしていない」割合は、男性の30歳代と40歳代の4割、女性では30歳代～50歳代の5割前後を占め、いわゆる働き世代や子育て世代の割合が高くなっている。これに対し、週1日以上運動を行っている割合は、男女とも60歳以上の各年代で高くなっており、世代により運動やスポーツの実施頻度に差がみられる。

運動やスポーツの頻度が年に数日又は全くしていないと回答した人にその理由をたずねると、男性の場合、30歳代は「きっかけや機会がない」「仕事や家事、育児等で時間がない」、40歳代と50歳代は「仕事や家事、育児等で時間がない」が多くなっている。女性の場合、30歳代と40歳代は「仕事や家事、育児等で時間がない」、50歳代と60歳代は「きっかけや機会がない」が多くなっている。

一方、運動やスポーツを月1回以上行っている人が行っている種目は、「ウォーキング(散歩含む)」(41.7%)が最も多く、特に男性の60歳以上及び、女性の各年代での人気が高い。

(運動やスポーツの実施目的・実施方法・実施場所)

全体では「健康の維持、増進」(60.9%)が最も多い。これに次いで「運動不足解消」(53.2%)で、以下「体力(筋力・持久力・柔軟性など)の向上」(43.5%)、「気分転換、ストレス解消」(43.3%)、「楽しみや嗜好、趣味」(39.5%)となっている。

さらに、「競技スポーツとして、本格的に取り組む」(5.4%) ことよりも、「生涯スポーツとして、楽しみながら取り組む」(85.3%) 意識で運動やスポーツを行っている市民が多く、運動不足の解消と健康づくりにつながり、また気軽に楽しく続けられる運動やスポーツへのニーズの高さがうかがえる。

市民の運動やスポーツに対する関心度は高いにもかかわらず、実際はきっかけや機会がない、仕事や家事、子育てなどを理由に取り組めていない市民は少なくない。スポーツに関心の低い市民に対し、運動やスポーツをすることの重要性を理解し興味を持つよう働きかけるとともに、意欲の高い市民がいつでも気軽にスポーツに親しめる環境づくりが必要である。

また、月1回以上運動やスポーツをしている人のうち、「一人で」運動やスポーツを行っている割合が男女とも高く、男性の場合、若い年代では「サークル・クラブのメンバーと」や「職場や学校の仲間と」が多く、高年代になると「友人や知人と」「家族と」が多くなっている。女性の場合は、年代の上昇とともに「家族と」「職場や学校の仲間と」の割合が減少し、「友人と知人と」や「サークル・クラブのメンバーと」が多くなる傾向にある。

運動やスポーツを行う場所については、全体では「公園、河川敷」(36.5%) が最も多く、次いで「民間のスポーツ施設」(26.0%)、「自宅」(18.3%)、「公立の体育施設」(12.5%) などの順が多い。「民間のスポーツ施設」は、男性では50歳代、女性では40歳代～60歳代の割合が高く、「公園、河川敷」は男性の60歳以上、「自宅」は女性の60歳以上の各割合が高くなっている。運動やスポーツの同伴者や場所に関する回答をみると、1人又は複数で行う場合でも気心の知れた友人や仲間と一緒に、自宅や地域内での身近な場所で行えることが重要な要素となっている。

(運動やスポーツの指導者の有無)

運動やスポーツを行う場合、指導者がいると回答した市民の割合は29.6%で、男性では、民間スポーツ施設を利用している50歳代の割合が27.9%で最も高くなっている。一方、女性の場合は40歳以上の年代で指導者がいる割合が4～5割を占めている。

5 今後の運動やスポーツに対する意向について

(運動やスポーツの今後の実施意向)

全体では「今行っている運動やスポーツを今後も続けていきたい」が39.7%で、「今後、始めてみたい」は21.8%となっているのに対し、「やりたいとは思わない」は18.0%で、スポーツの実施意向は高い。男性では、特に実施率が低い30歳代と40歳代で「今後、始めてみたい」の割合が高くなっている。10・20歳代や50歳以上の年代では「今行っている運動やスポーツを今後も続けていきたい」が高い。一方、女性では、10歳代～50歳代で「今後、始めてみたい」の割合が高く、特に30歳代では56.8%と過半数を占めている。60歳以上になると「今行っている運動やスポーツを今後も続けていきたい」が最も多くなっている。

やってみたい運動やスポーツは、「ウォーキング(散歩含む)」(49.5%) が最も多い。これに次いで「水泳」(18.0%) で、以下「登山・ハイキング」(16.0%)、「ヨ

ガ・ピラティス」(15.2%)、「ゴルフ」「自転車・サイクリング」(ともに11.6%)、「ジョギング・マラソン」(11.4%)で、「ウォーキング(散歩含む)」は、男女とも40歳以上の年代での支持が高い。

以上のように、男女とも、スポーツの実施率が低い年代層の潜在的な活動意欲が高くなっていることから、働き世代や子育て世代が参加しやすく、健康づくりとしても有用なスポーツの機会の提供と場の充実を図ることが必要である。

(スポーツの行事への参加経験・今後の参加意向)

「スポーツ大会」「体育祭」「スポーツ教室」「講習会」などのイベント・行事に「参加したことはない」が59.6%を占める。参加経験のある人では、「選手・受講者として参加したことがある」が22.0%、「運営スタッフとして参加したり応援・観戦したことがある」は10.0%となっている。「選手・受講者として参加したことがある」は男性のほうが、「運営スタッフとして参加したり、観戦したことがある」は女性のほうがそれぞれ高い傾向にある。

今後、これらのイベント・行事に「参加したいとは思わない」が49.0%を占めているが、参加意向のある人では、「スポーツ教室、講座・講習会」(25.5%)が最も多い。

スポーツの普及のために実施・開催されているこれらのイベント・行事に市民がもっと興味・関心を持ち、また活動を行うきっかけとなるよう、引き続き周知に努める必要がある。

6 スポーツクラブや同好会等への加入状況について

(スポーツクラブや同好会への加入状況)

「加入している」は17.9%、「以前加入していた」は18.9%に対し、「加入したことはない」は58.0%を占めている。「加入している」は、男女ともに50歳代が最も高い。

(総合型地域スポーツクラブの加入状況)

加入しているクラブや同好会は、「民間のスポーツジム・フィットネスクラブ」(36.2%)が最も多く、これに次いで「友人や仲間構成しているクラブや同好会」(30.8%)、「地区・地域のクラブや同好会」(23.2%)となっている。「総合型地域スポーツクラブ」は3.8%と低い。

総合型地域スポーツクラブの加入理由は、「近くにあるから」「健康づくりができそうだから」が多くなっている。一方、総合型地域スポーツクラブに入会していない理由は、「忙しくて時間がないから」(28.3%)、「興味のある種目の教室がないから」(20.8%)、「1人で活動したいから」(17.0%)が多い。

(総合型地域スポーツクラブの認知状況・入会意向)

現在、スポーツクラブや同好会に加入していない人や総合型地域スポーツクラブに入会していない人の総合型地域スポーツクラブの認知状況は、「初めて聞いた」が70.3%を占めている。一方、「言葉だけ聞いたことがある」は14.6%、「内容まで知っている」は5.5%である。

今後のクラブへの入会については、全体では「わからない」が41.2%で最も多く、次いで「入会したいと思わない」が30.7%となっている。一方、「体験入会したい」

が15.0%で、「正式に入会したい」は1.1%である。「正式に入会したい」は男性の40歳以上の年代で高い。

総合型地域スポーツクラブは、市内では2つの団体が活動しているが、地域的な偏りがあり、市内全域への周知は必ずしも十分とは言えない。また、クラブに関する情報の提供が不十分であることから、潜在的な利用を掘り起こせていない状況もうかがえる。市民の生涯スポーツの推進、また、地域でのスポーツ活動推進のための手段のひとつとして総合型地域スポーツクラブの普及・啓発とともに、整備・拡充を図っていく必要がある。

7 スポーツに関わるボランティア活動について

(スポーツに関わるボランティア活動への参加経験)

「参加したことがなく、今後も参加する予定はない」が69.8%と大部分を占める。一方、「参加したことはないが、今後、参加したい」は14.8%となっている。

また、「参加したことがあり、今後も参加する予定」(4.6%)、「参加したことはあるが、今後、参加する予定はない」(3.0%)で、両者を合わせた参加経験のある人は7.6%で、「地域のスポーツイベントの運営や運営補助」(46.8%)が活動内容として多くなっている。

8 運動やスポーツに関する情報の入手先

(運動やスポーツに関する情報の入手先)

「特に入手していない」が38.2%で最も多い。年代別の入手方法をみると、男性の場合、「インターネット」は10歳代～50歳代、「市の広報誌・ホームページ」や「自治会回覧や掲示板」の割合は60歳以上で高い。また、「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」は、70歳以上が他の年代に比べ高くなっている。一方、女性の場合は、10・20歳代と40歳代は「インターネット」、30歳代と50歳以上の年代では「市の広報誌・ホームページ」が、それぞれ最も多くなっている。また、「市の広報誌・ホームページ」は、30歳代～50歳代、60歳代が高くなっている。

インターネットは若い世代、市の広報誌や自治会の回覧などは50歳以上の割合が高いなど、提供する情報内容や対象を踏まえて、より効果的と考えられる媒体を適切に使い分けたり、複数の媒体を組み合わせたりするなど、効果的な情報提供に努める必要がある。

9 市が管理・運営する公共のスポーツ施設について

(公共スポーツ施設の利用状況)

「利用したことがない」が52.1%を占めている。利用経験のある施設は、「プール」(23.5%)が最も多く、これに次いで「体育館・屋内運動場」(16.4%)、「グラウンド」(9.9%)、「テニスコート」(8.1%)となっている。男女とも各年代とも「プール」の利用割合が高い。

(公共スポーツ施設に対する満足度)

公共スポーツ施設に対し、満足している利用者は76.9%を占めているのに対し、不満を感じている利用者は21.1%となっている。

(公共スポーツ施設を利用しない理由や不満点)

公共スポーツ施設を利用したことがない理由は、「運動やスポーツに興味がない」(30.7%)が最も多い。これに次いで「利用日や利用時間が合わない」(16.0%)で、以下「施設があることを知らなかった」(15.1%)、「利用できることを知らなかった」(12.8%)となっている。

一方、施設に対する不満点は、「利用日や利用時間が合わない」と「駐車できる台数が少ない、スペースが狭い」(ともに27.8%)が最も多い。これに次いで「施設の各種機器・設備に不満がある(古い、使いにくい等)」(25.6%)、「利用手続きが面倒」(20.0%)、「施設の利用料金が低い」(18.9%)となっている。

(公共スポーツ施設に対する要望)

「身近で利用できるよう、施設を増やす」(24.9%)が最も多い。これに次いで「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」(17.8%)、「利用手続き、料金の支払い方法等の簡略化」(16.8%)、「利用時間帯の拡大(早朝、夜間等)」(16.7%)などとなっている。

市が管理・運営する公共スポーツ施設に対する満足度はおおむね高くなっているが、利用日や利用時間、駐車場など施設の利便性や利用手続きのわずらわしさなどに不便・不満を感じている利用者は少なくなく、身近なところで利用できる施設整備の要望も高い。誰もがより利用しやすい施設となるよう充実に努める必要がある。また、市民が安全で安心して快適にスポーツ活動ができるよう、老朽化している施設については計画的な整備・改修の検討が必要である。

10 茨木市内で行われるスポーツ行事の認知状況

(スポーツ行事の認知状況)

「いずれの行事も知らない」が42.5%を占めている。知られている行事で多いものは順に、「グラウンド・ゴルフ大会」(13.1%)、「ゴルフ大会」(12.4%)、「スポーツフェスティバル」(11.9%)、「ゲートボール大会」(8.4%)、「ソフトボール大会」(8.3%)である。

男性の場合は、10・20歳代は「ウォークラリー大会」、30歳代は「ソフトボール大会」や「軟式野球大会」、「卓球大会」、40歳代は「水泳大会」、50歳代は「スポーツフェスティバル」、60歳代は「ゴルフ大会」、70歳以上は「グラウンド・ゴルフ大会」、女性の場合は、10・20歳代が「バスケットボール大会」、30歳代が「バドミントン大会」、40歳代と60歳代が「スポーツフェスティバル」、50歳代が「ソフトバレーボール大会」、70歳以上が「グラウンド・ゴルフ大会」など、年代により知っている行事の最上位項目に違いがみられる。

これらの行事が市民のスポーツへの興味・関心の喚起につながり、きっかけとなる

よう、世代に応じ、行事の普及・啓発に引き続き努める必要がある。

11 茨木市内のスポーツ団体の認知状況

(スポーツ団体の認知状況)

「いずれの団体も知らない」が64.4%を占めている。知られている団体で最も割合の高いものは、「茨木市体育協会（各連盟・協会、スポーツ少年団を含む）」(21.3%)である。体育協会に比べ、「茨木市スポーツ推進委員協議会（スポーツ推進委員）」や「茨木東スポーツクラブ レッツ」「茨木北スポーツクラブ・オーク」「茨木市生涯スポーツディレクター協議会」の割合はかなり低い。

市民の継続的なスポーツを支援するために、これらの団体の果たす役割は大きく、スポーツを始めたり技術を一層高めたりする際に活用してもらえよう団体の活動の趣旨や内容などについて周知を図る必要がある。

12 学校体育施設の利用状況について

(学校体育施設の利用状況)

茨木市内の学校体育施設の利用について、全体では「ない」が86.7%と大部分を占めている。居住地区別で見ると、利用したことがある割合は、周辺部2が10.6%で最も高く、次いで周辺部1が9.9%、山地部が7.7%（1人）、中心部が6.8%、丘陵部は5.2%となっている。

学校体育施設の利用経験がある人の施設に対し満足している割合は79.3%となっている。

市民が身近なところでスポーツに親しめるよう、学校の体育施設の開放について引き続き実施する必要がある。

13 茨木市における今後のスポーツ振興について

(スポーツ活動が盛んになるために必要な施策)

全体では、「スポーツに関する広報活動」(25.1%)が最も多い。これに次いで「初心者向けスポーツ教室の充実」(20.4%)で、以下「スポーツ施設の整備・充実」(18.4%)、「年齢層にあったスポーツ種目の開発普及」(17.9%)、「高齢者・障害者も参加しやすいスポーツイベントの開催」(14.0%)となっている。「スポーツに関する広報活動」は、男性の50歳代、女性の10・20歳代や40歳代の割合が高い。「スポーツ施設の整備・充実」は、女性に比べ、男性の割合がどの年代も高く、特に10歳代～40歳代の割合が高くなっている。「年齢層にあったスポーツ種目の開発普及」については、男性よりも女性の割合がどの年代も高く、特に30歳代、60歳代の割合が高い。居住地区別でも、地域により求められている施策に違いがみられ、市民のニーズを的確に把握し、世代や地域などの特性に合わせたスポーツ推進のための施策を検討することが必要である。特に市内のスポーツ団体やスポーツ行事など市民に十分周知されていない面が見受けられ、市民が求めている施策にあるようにスポーツに関する広報

活動は、より重点的に取り組む必要がある。また、スポーツのきっかけが見つからない市民に向けて初心者向けのスポーツ教室や活動の拠点となる施設を充実するなど、市民の主体的な活動から仲間づくり、交流、連携へと広がるスポーツ環境づくりに努める必要がある。

14 障害のある人とない人のスポーツによる交流について

（障害のある人とない人がスポーツをする機会への参加経験）

障害のある人とない人が、一緒にスポーツをする機会に参加したことがある割合は3.6%に対し、「ない」は88.3%となっている。男女とも30歳代で経験がある割合が高い。具体的に行ったスポーツは、「ジョギング・マラソン」「卓球」「グラウンド・ゴルフ」「ウォーキング（散歩含む）」「ボウリング」などが多い。

（障害のある人のスポーツの観戦経験）

障害のある人のスポーツを観戦した経験がある割合は52.1%に対し、「ない」は41.1%となっている。

（障害のある人のスポーツで知っている種目）

「テニス」(34.0%)が最も多い。以下「バスケットボール」(29.6%)、「陸上競技」(20.5%)、「水泳」(18.7%)、「ジョギング・マラソン」(12.6%)となっている。

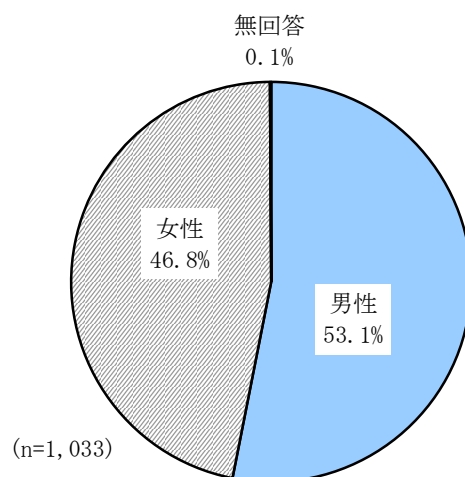
障害者スポーツについては、「スポーツ基本法」で、「スポーツは、障害者が自主的かつ積極的にスポーツを行うことができるよう、障害の種類及び程度に応じ必要な配慮をしつつ推進されなければならない。」とされており、障害の種類や程度に応じて障害者が安心して気軽にスポーツを楽しめる機会と場の充実が必要である。また、パラリンピックなどを通じ、スポーツを行う障害者の姿を見る機会が増している。見るだけでなく、障害のある人と障害のない人がスポーツを通じ交流する機会を充実する必要がある。

Ⅲ 調査結果

1 回答者の属性

(1) 回答者の性別

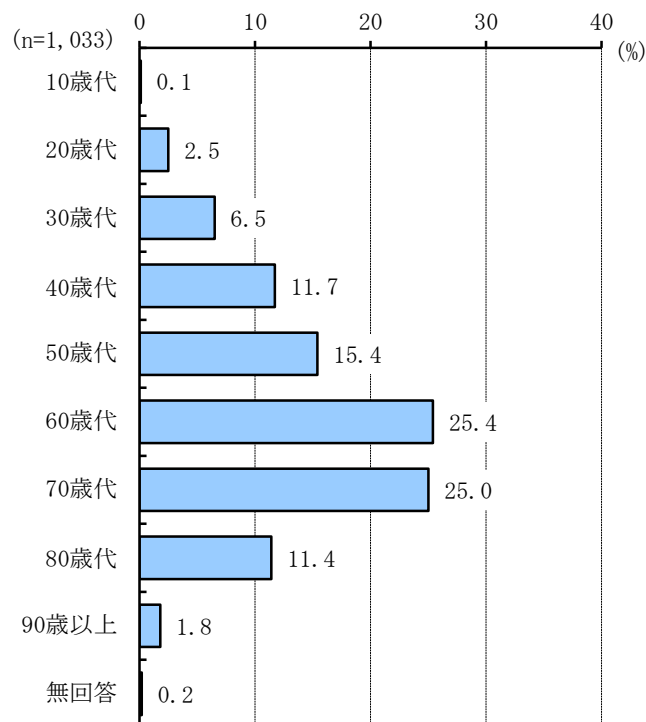
【図表1-1 回答者の性別】



回答者の性別では、「男性」が53.1%に対し、「女性」は46.8%で、男性の回答のほうが多くなっている。(図表1-1)

(2) 回答者の年齢

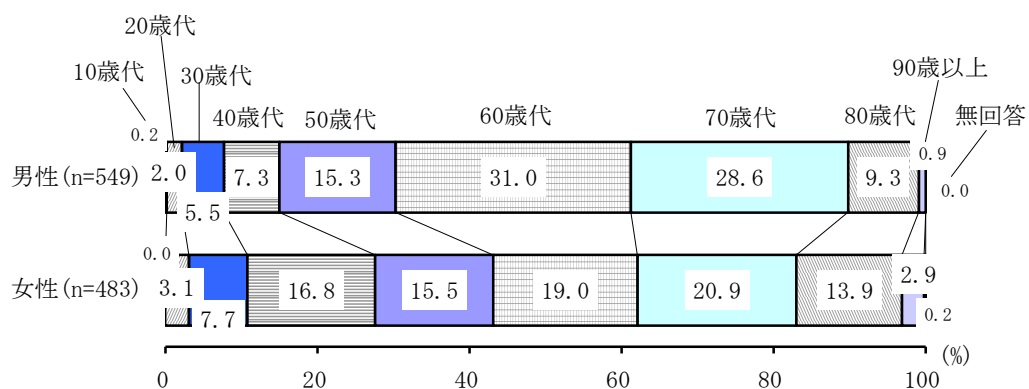
【図表1-2 回答者の年齢】



回答者の年齢では、「60歳代」(25.4%)と「70歳代」(25.0%)で半数を占め、80歳以上(13.2%)を合わせると、高年代層が6割台を占めている。(図表1-2)

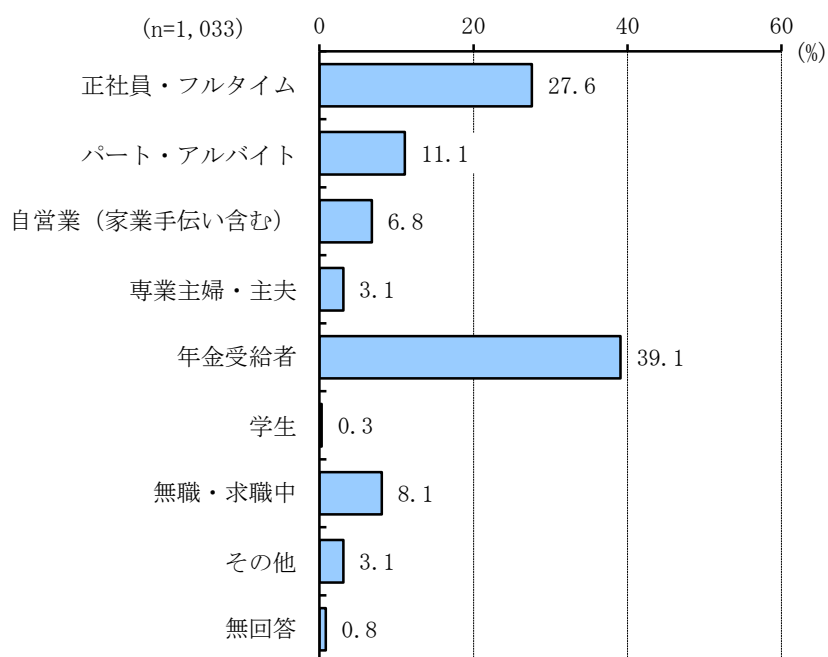
性別でみると、男女とも高年代層が過半数を占めており、70歳以上の年代では男女の差はほとんどみられないが、「60歳代」では男性の回答のほうが多くなっている。また、「40歳代」では女性の回答のほうが多くなっている。(図表1-2-1)

【図表1-2-1 性別 回答者の年齢】



(3) 現在の職業

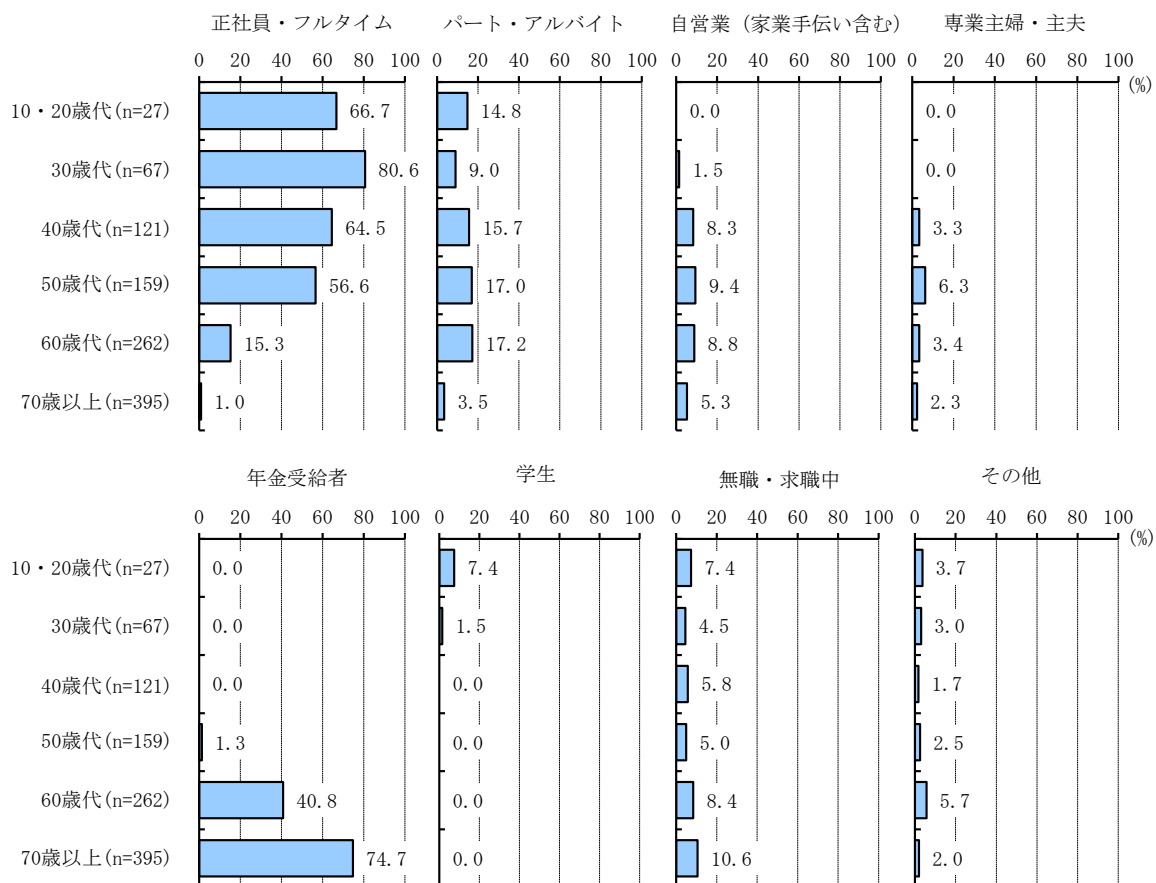
【図表1-3 現在の職業】



現在の職業では、「年金受給者」が39.1%で最も多く、次いで「正社員・フルタイム」が27.6%、「パート・アルバイト」が11.1%となっており、仕事をしている人の割合は45.5%となっている。(図表1-3)

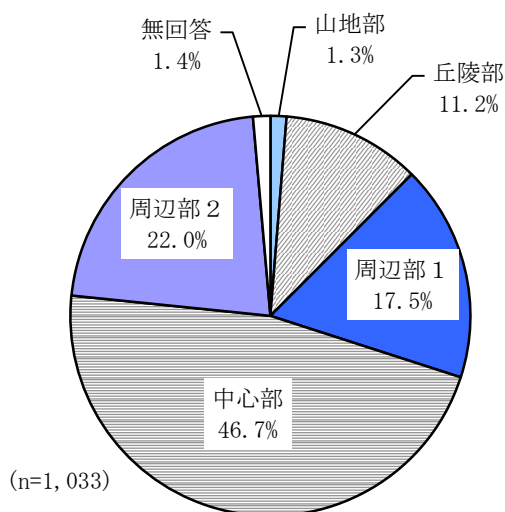
年齢別でみると、10歳代～50歳代は「正社員・フルタイム」が過半数を占めており、なかでも30歳代は80.6%と高くなっている。また、仕事をしている人の割合では、10歳代～50歳代は8割台を占め、60歳代は41.3%となっており、60歳以上の年代では「年金受給者」が最も多く、60歳代で40.8%、70歳以上は74.7%となっている。(図表1-3-1)

【図表1-3-1 年齢別 現在の職業】



(4) 居住地区

【図表1-4 居住地区】



居住地区は、「中心部」が46.7%で最も多く、次いで「周辺部2」が22.0%、「周辺部1」が17.5%、「丘陵部」が11.2%、「山地部」は1.3%となっている。(図表1-4)

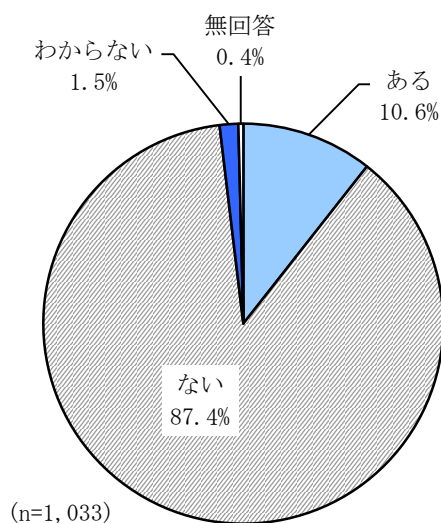
【居住地区の分類区分】 ※小学校区をもとに地区を分類した。

- ・山地部 : 清溪小学校、忍頂小学校
- ・丘陵部 : 安威小学校、福井小学校、豊川小学校、山手台小学校、彩都西小学校
- ・周辺部1 : 郡山小学校、太田小学校、郡小学校、沢池小学校、西小学校、西河原小学校、耳原小学校
- ・中心部 : 茨木小学校、春日小学校、春日丘小学校、三島小学校、中条小学校、玉櫛小学校、大池小学校、中津小学校、水尾小学校、庄栄小学校、畑田小学校、穂積小学校
- ・周辺部2 : 玉島小学校、東小学校、天王小学校、葦原小学校、白川小学校、東奈良小学校



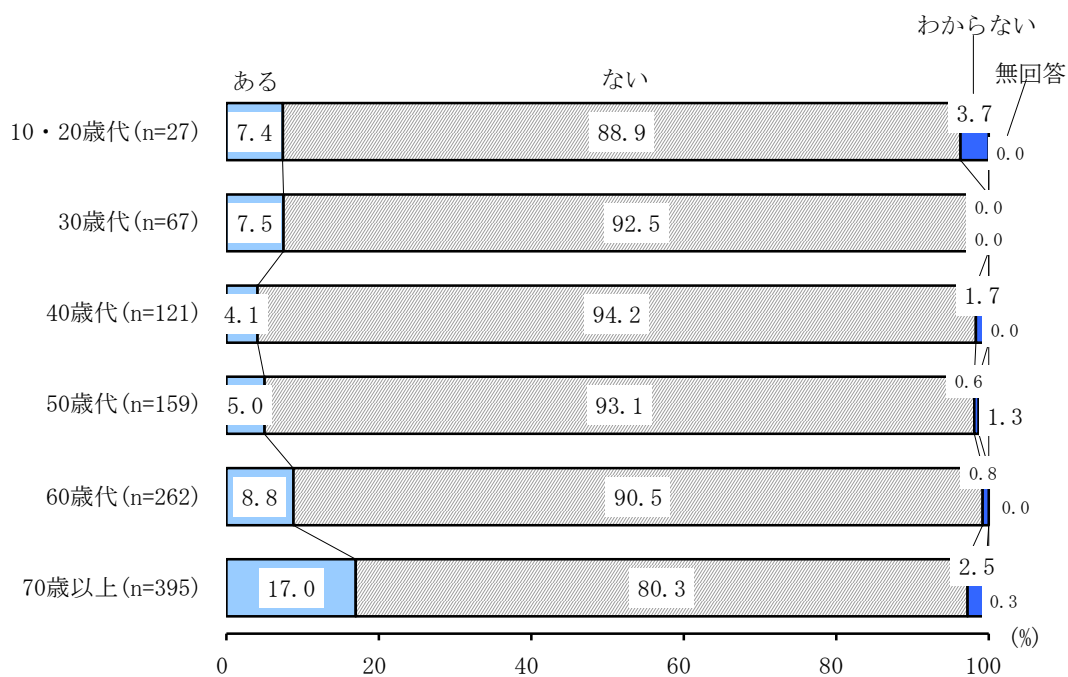
(5) 障害の有無

【図表1-5 障害の有無】



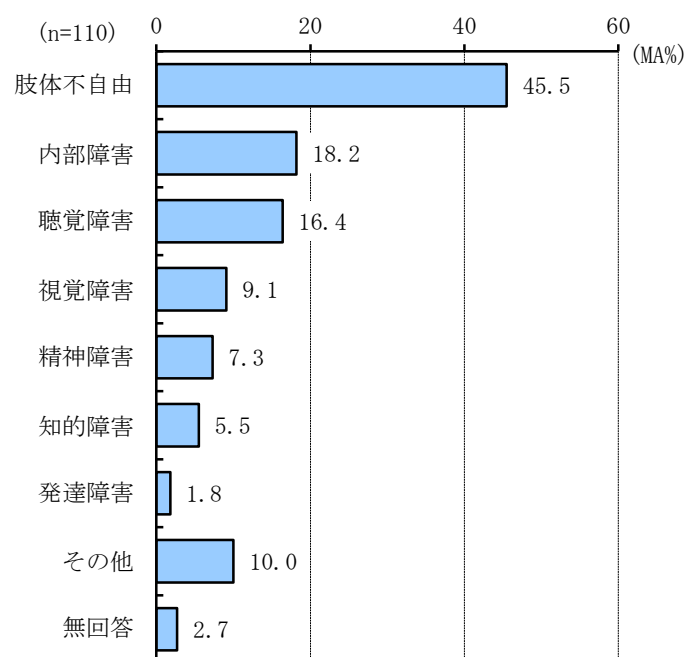
障害の有無では、「ある」が10.6%、「ない」は87.4%となっている。(図表1-5)
 年齢別でみると、障害のある人は、70歳以上が17.0%で最も高く、次いで60歳代が8.8%となっており、10・20歳代と30歳代はともに7%台となっている。(図表1-5-1)

【図表1-5-1 年齢別 障害の有無】



(6) 障害種別

【図表1-6 障害種別】



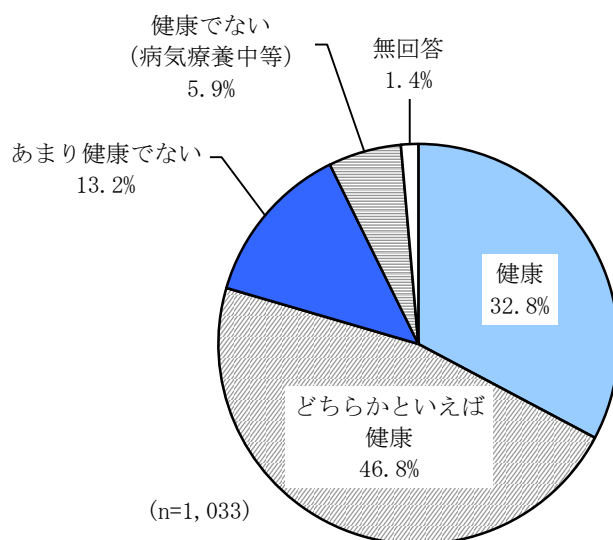
障害があると回答した人に、障害種別をたずねたところ、「肢体不自由」が45.5%で最も多く、次いで「内部障害」が18.2%、「聴覚障害」が16.4%となっている。(図表1-6)

2 健康や生きがいについて

(1) 主観的健康観

問7. あなたは、ご自分の健康状態についてどのように感じていますか。(○は1つ)

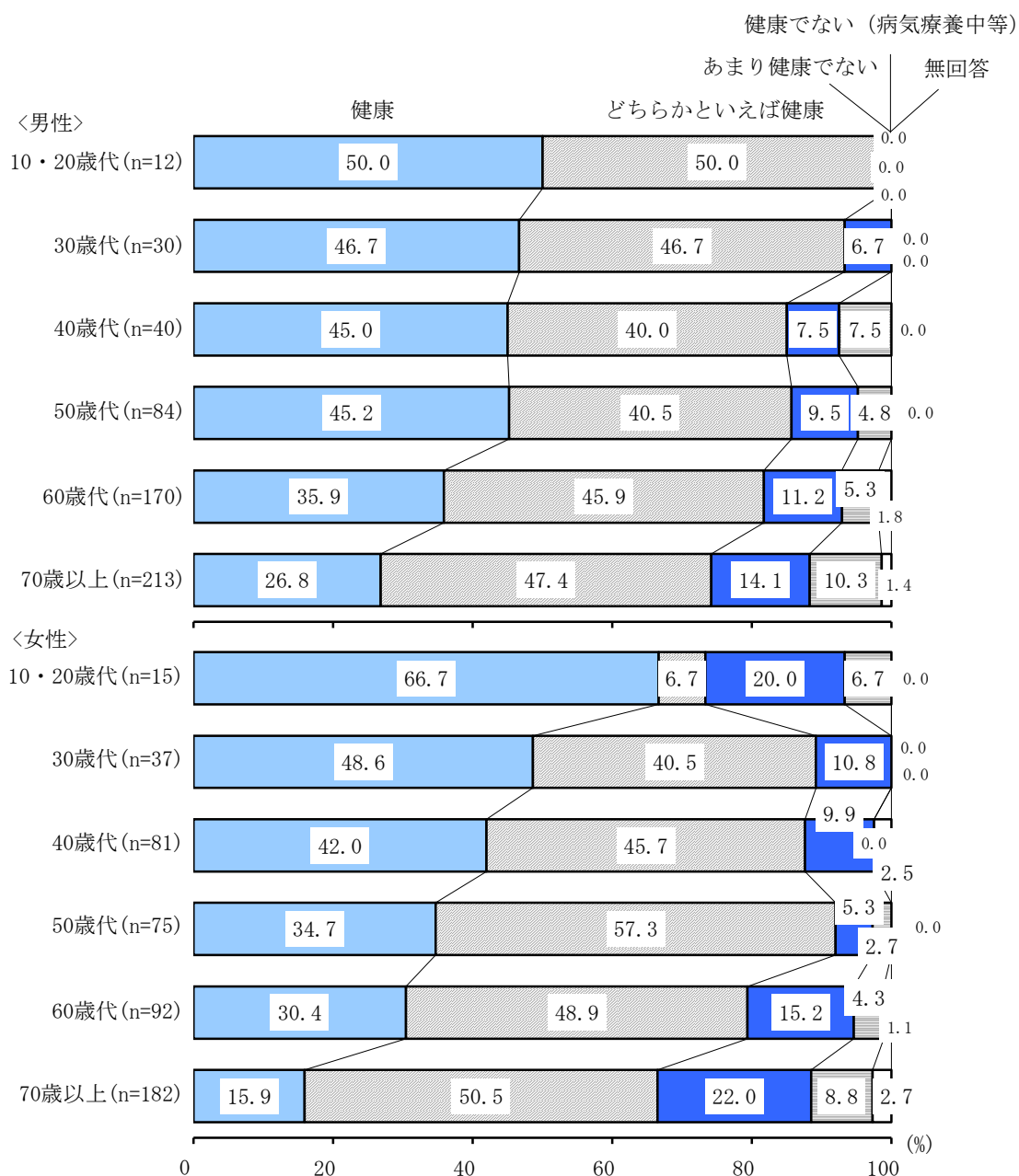
【図表2-1 主観的健康観】



自分の健康状態について、「どちらかといえば健康」が46.8%で最も多く、次いで「健康」が32.8%となっており、両者を合わせた『健康である』割合は79.6%を占めている。一方、「あまり健康でない」と「健康でない (病気療養中等)」を合わせた『健康でない』割合は19.1%となっている。(図表2-1)

性・年齢別で見ると、男女とも10・20歳代は母数が少ないので一概には言えないが、『健康である』割合は、各年代で男女ともに過半数を占めており、男性は年代が上がるほど低下傾向がみられるが、女性では30歳代～50歳代で9割前後を維持し、60歳以上になると低下がみられる。(図表2-1-1)

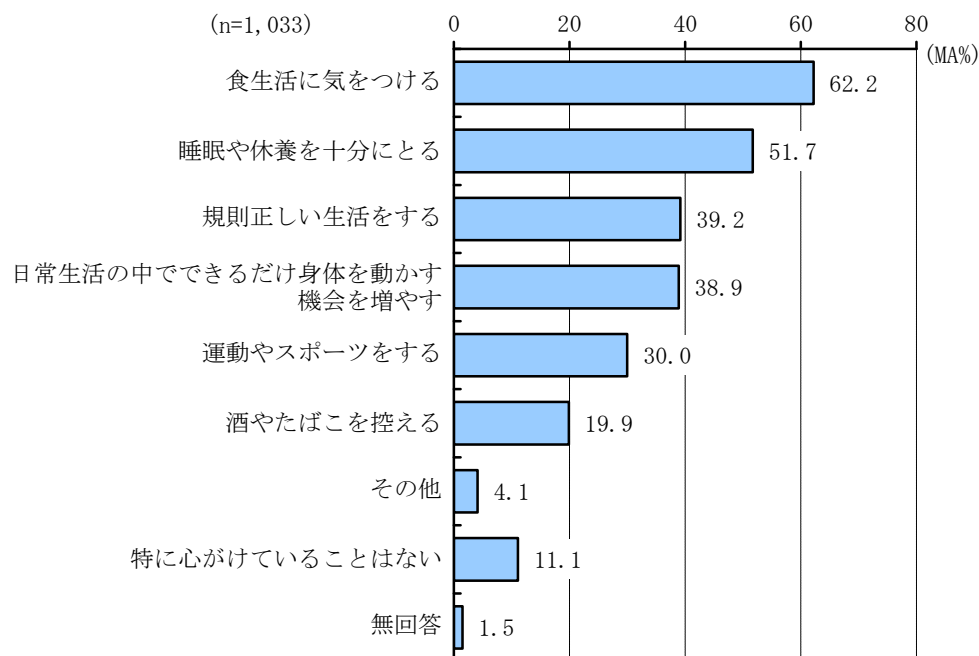
【図表2-1-1 性・年齢別 主観的健康観】



(2) 健康や体力づくりのために心がけていること

問8. 健康や体力づくりのために心がけていることは何ですか。(〇はいくつでも)

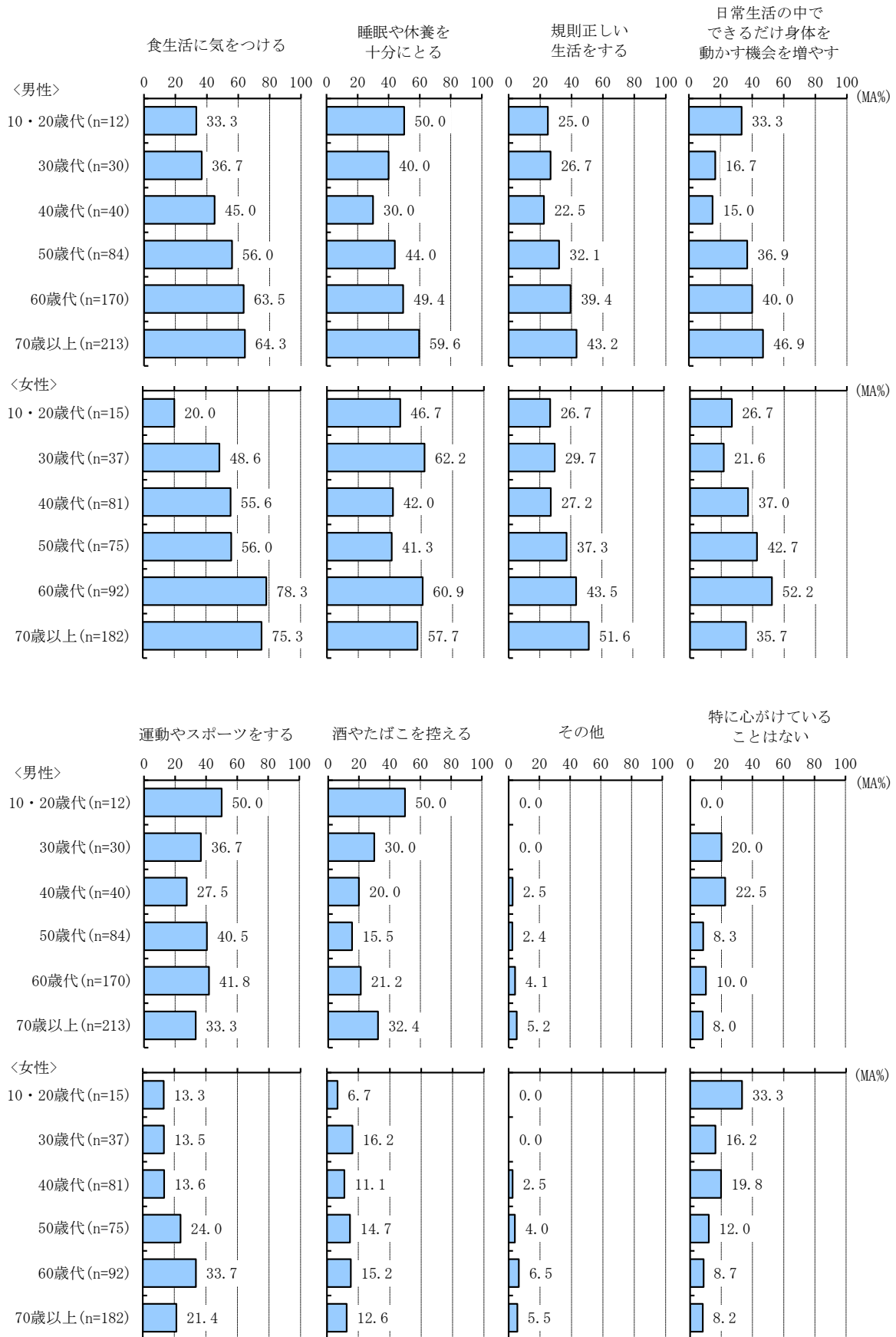
【図表2-2 健康や体力づくりのために心がけていること】



健康や体力づくりのために心がけていることについては、「食生活に気をつける」が62.2%で最も多く、次いで「睡眠や休養を十分にとる」が51.7%、「規則正しい生活をする」が39.2%、「日常生活の中でできるだけ身体を動かす機会を増やす」が38.9%と続いており、「運動やスポーツをする」は30.0%と7項目中5番目となっている。(図表2-2)

性・年齢別で見ると、男女ともに10・20歳代の母数は少ないが「睡眠や休養を十分にとる」が最も多く、男性では「運動やスポーツをする」や「酒やたばこを控える」も同率で最も多くなっている。30歳代も男女ともに「睡眠や休養を十分にとる」が最も多く、特に女性は62.2%と高くなっている。40歳以上になると、男女ともに「食生活に気をつける」が最も多く、年代が上がるほど上昇傾向にある。また、「日常生活のなかでできるだけ身体を動かす機会を増やす」では、男性は50歳以上の年代で3～4割台、女性は40歳以上の年代で3～5割台と高くなっているが、30歳代～60歳代の男女差をみると、男性に比べ女性のほうが高くなっている。「運動やスポーツをする」では、男性は50歳代と60歳代で4割台、女性では60歳代が33.7%で、それぞれ他の年代に比べ高くなっているが、各年代の男女差をみると、女性に比べ男性のほうが高くなっている。(図表2-2-1)

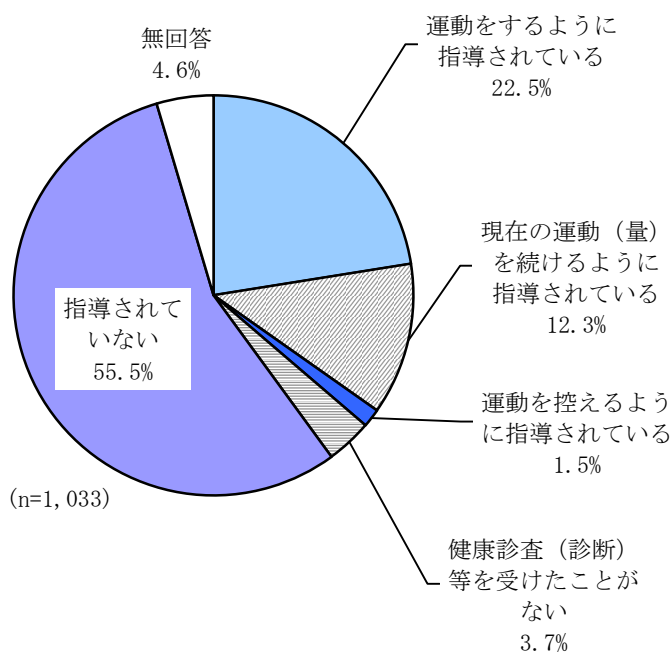
【図表2-2-1 性・年齢別 健康や体力づくりのために心がけていること】



(3) 運動に関して医師などから指導されていること

問9. 現在、健康診査（診断）や受診の際に、医師などから運動に関して指導されていることがありますか。（○は1つ）

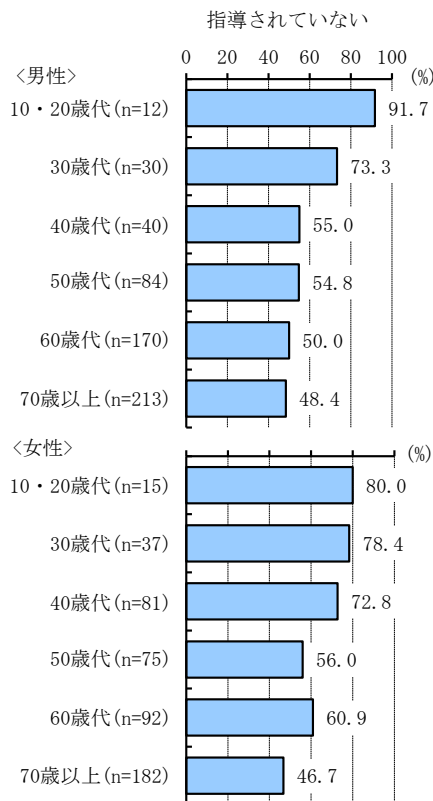
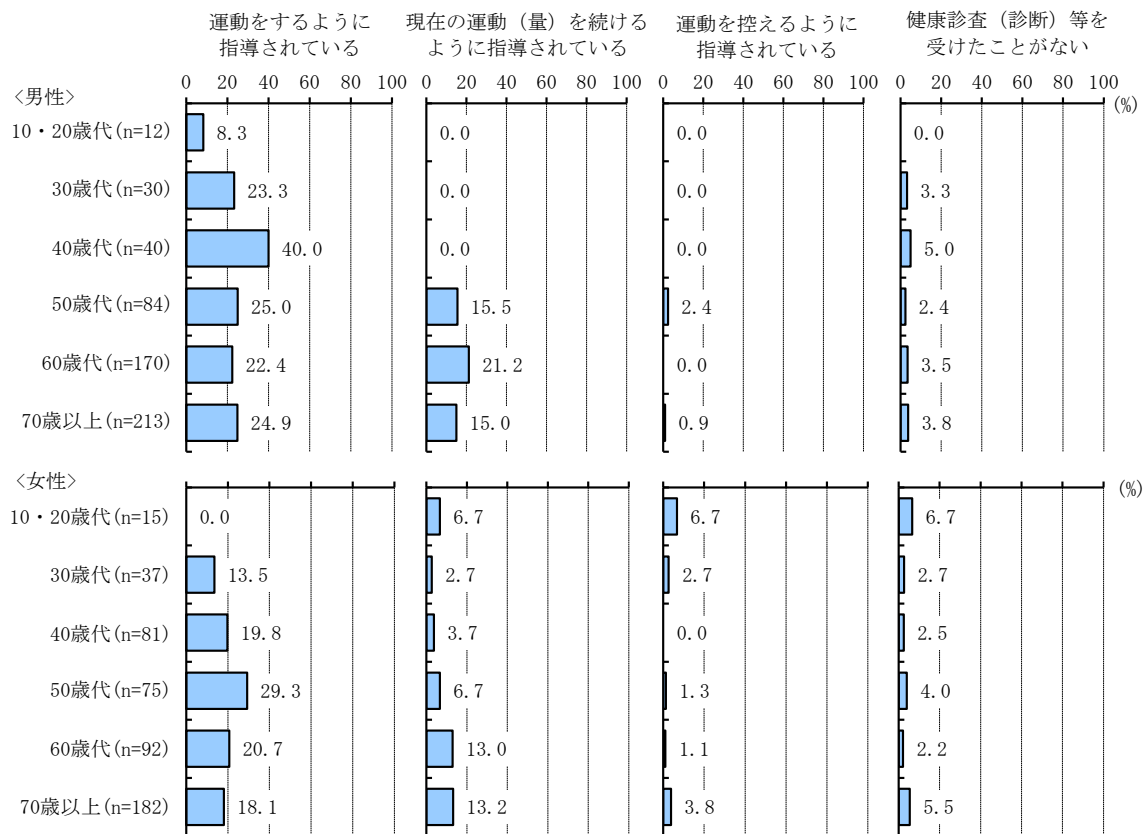
【図表2-3 運動に関して医師などから指導されていること】



運動に関して医師などから指導されていることについては、「指導されていない」が55.5%を占めている。これに次いで「運動をするように指導されている」が22.5%、「現在の運動（量）を続けるように指導されている」が12.3%となっている。（図表2-3）

性・年齢別で見ると、指導されている人では、男女ともに30歳以上の年代で「運動をするように指導されている」が最も多く、男性は40歳代が40.0%を占めており、女性は50歳代が29.3%で最も高く、同年代の男性より高くなっている。また、「現在の運動（量）を続けるように指導されている」では、男性は50歳以上の年代で高くなっており、60歳代では21.2%と高くなっている。（図表2-3-1）

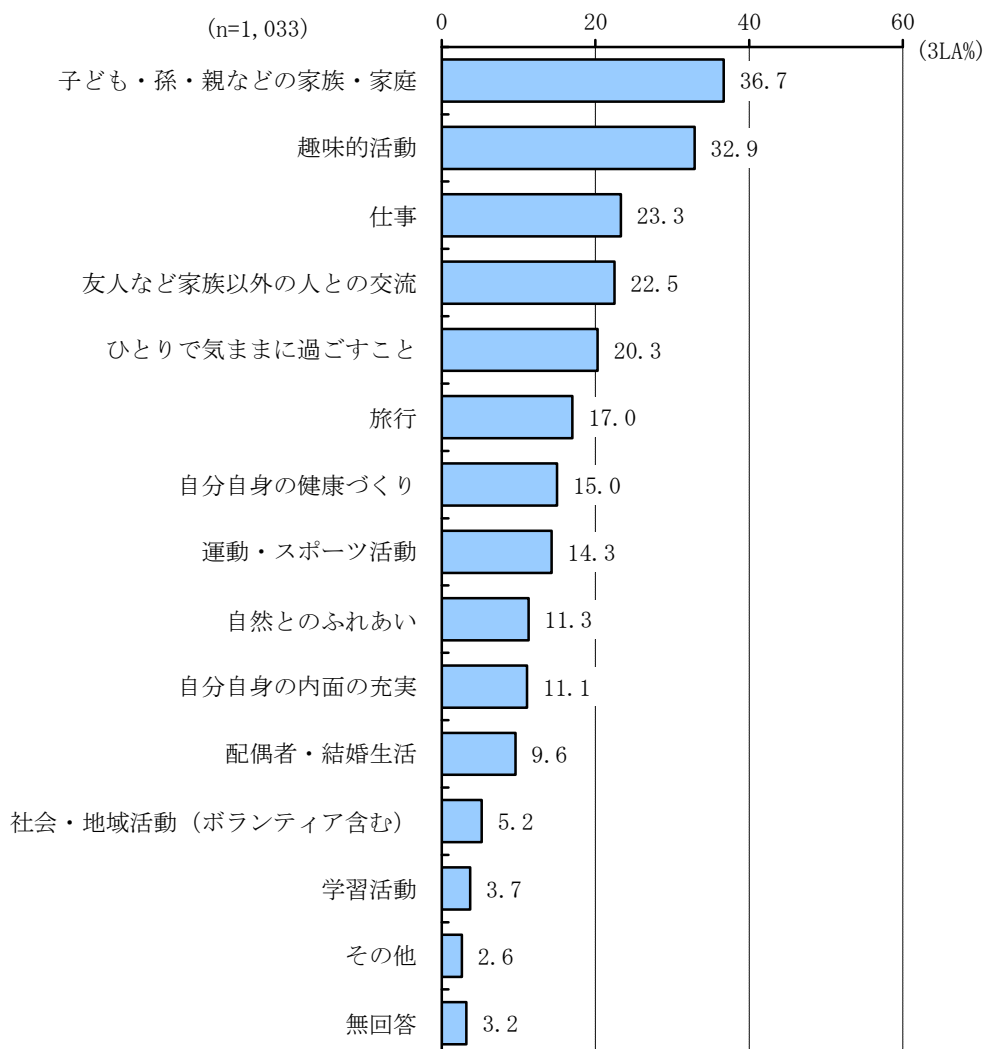
【図表2-3-1 性・年齢別 運動に関して医師などから指導されていること】



(4) 生きがいを感じること

問10. あなたは現在、どのようなことに生きがいを感じますか。(〇は3つまで)

【図表2-4 生きがいを感じること】



生きがいを感じることについては、「子ども・孫・親などの家族・家庭」が36.7%で最も多く、次いで「趣味的活動」が32.9%、「仕事」が23.3%、「友人など家族以外の人との交流」が22.5%と続いており、「運動・スポーツ活動」は14.3%と14項目中8番目となっている。(図表2-4)

性・年齢別で見ると、男性は、10・20歳代で母数は少ないが「運動・スポーツ活動」が最も多くなっている。30歳代と50歳代は「仕事」、40歳代は「子ども・孫・親などの家族・家庭」、60歳以上の年代では「趣味的活動」が、それぞれ第1位となっており、それら3項目は各年代で割合が高くなっている。また、10歳代～40歳代では「配偶者・結婚生活」が上位に挙がっている。女性と比べると、「趣味的活動」や「仕事」、「運動・スポーツ活動」、「配偶者・結婚生活」が高くなっている。

女性では、10・20歳代で母数は少ないが「趣味的活動」や「友人などの家族以外の

人との交流」、「旅行」が最も多くなっている。30歳代～60歳代は「子ども・孫・親などの家族・家庭」、70歳以上は「友人など家族以外の人との交流」が、それぞれ第1位となっている。また、30歳代～50歳代は「仕事」の割合も高くなっている。男性と比べると、「子ども・孫・親などの家族・家庭」や「友人など家族以外の人との交流」、「ひとりで気ままに過ごすこと」が高くなっている。(図表2-4-1)

【図表2-4-1 性・年齢別 生きがいを感じる事（上位5項目）】

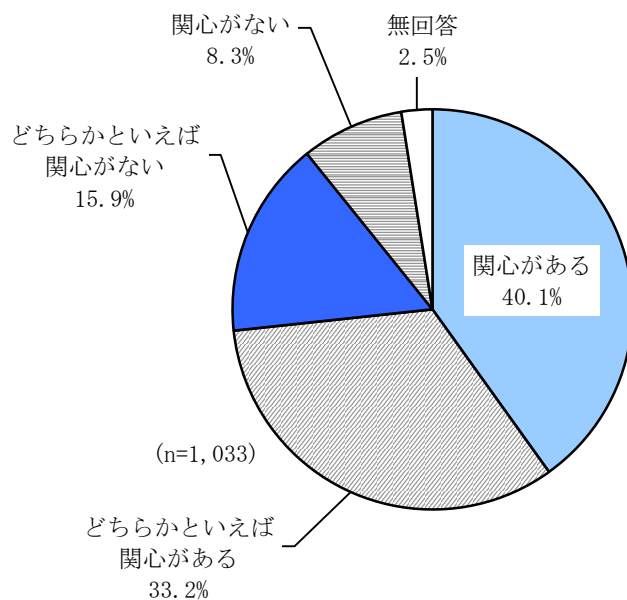
		(3LA%)				
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	10・20歳代 (n=12)	運動・スポーツ活動 41.7	仕事/友人など家族以外の人との交流 33.3	趣味的活動/配偶者・結婚生活 25.0		
	30歳代 (n=30)	仕事 53.3	子ども・孫・親などの家族・家庭/配偶者・結婚生活 46.7	趣味的活動 40.0	運動・スポーツ活動 23.3	
	40歳代 (n=40)	子ども・孫・親などの家族・家庭 55.0	趣味的活動 35.0	仕事 30.0	運動・スポーツ活動 20.0	配偶者・結婚生活 17.5
	50歳代 (n=84)	仕事 42.9	趣味的活動 41.7	子ども・孫・親などの家族・家庭 36.9	運動・スポーツ活動 26.2	旅行/自然とのふれあい 13.1
	60歳代 (n=170)	趣味的活動 38.8	子ども・孫・親などの家族・家庭 37.6	仕事 26.5	旅行 22.4	運動・スポーツ活動 18.8
	70歳以上 (n=213)	趣味的活動 35.2	子ども・孫・親などの家族・家庭 27.2	自分自身の健康づくり 23.9	友人など家族以外の人との交流/ひとりで気ままに過ごすこと 19.7	
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
女性	10・20歳代 (n=15)	趣味的活動/友人など家族以外の人との交流/旅行 40.0			子ども・孫・親などの家族・家庭/ひとりで気ままに過ごすこと 26.7	
	30歳代 (n=37)	子ども・孫・親などの家族・家庭 54.1	友人など家族以外の人との交流 37.8	仕事 32.4	趣味的活動 29.7	ひとりで気ままに過ごすこと 18.9
	40歳代 (n=81)	子ども・孫・親などの家族・家庭 46.9	仕事 34.6	趣味的活動 29.6	友人など家族以外の人との交流 27.2	旅行 19.8
	50歳代 (n=75)	子ども・孫・親などの家族・家庭 42.7	仕事 41.3	ひとりで気ままに過ごすこと 33.3	友人など家族以外の人との交流 28.0	趣味的活動 25.3
	60歳代 (n=92)	子ども・孫・親などの家族・家庭 42.4	趣味的活動 33.7	友人など家族以外の人との交流/ひとりで気ままに過ごすこと 28.3	旅行 21.7	
	70歳以上 (n=182)	友人など家族以外の人との交流 30.8	子ども・孫・親などの家族・家庭/ひとりで気ままに過ごすこと 29.7		趣味的活動/自分自身の健康づくり 23.1	

3 スポーツや運動に対する意識について

(1) 運動・スポーツへの関心の有無

問11. あなたは運動・スポーツに関心がありますか。(○は1つ)

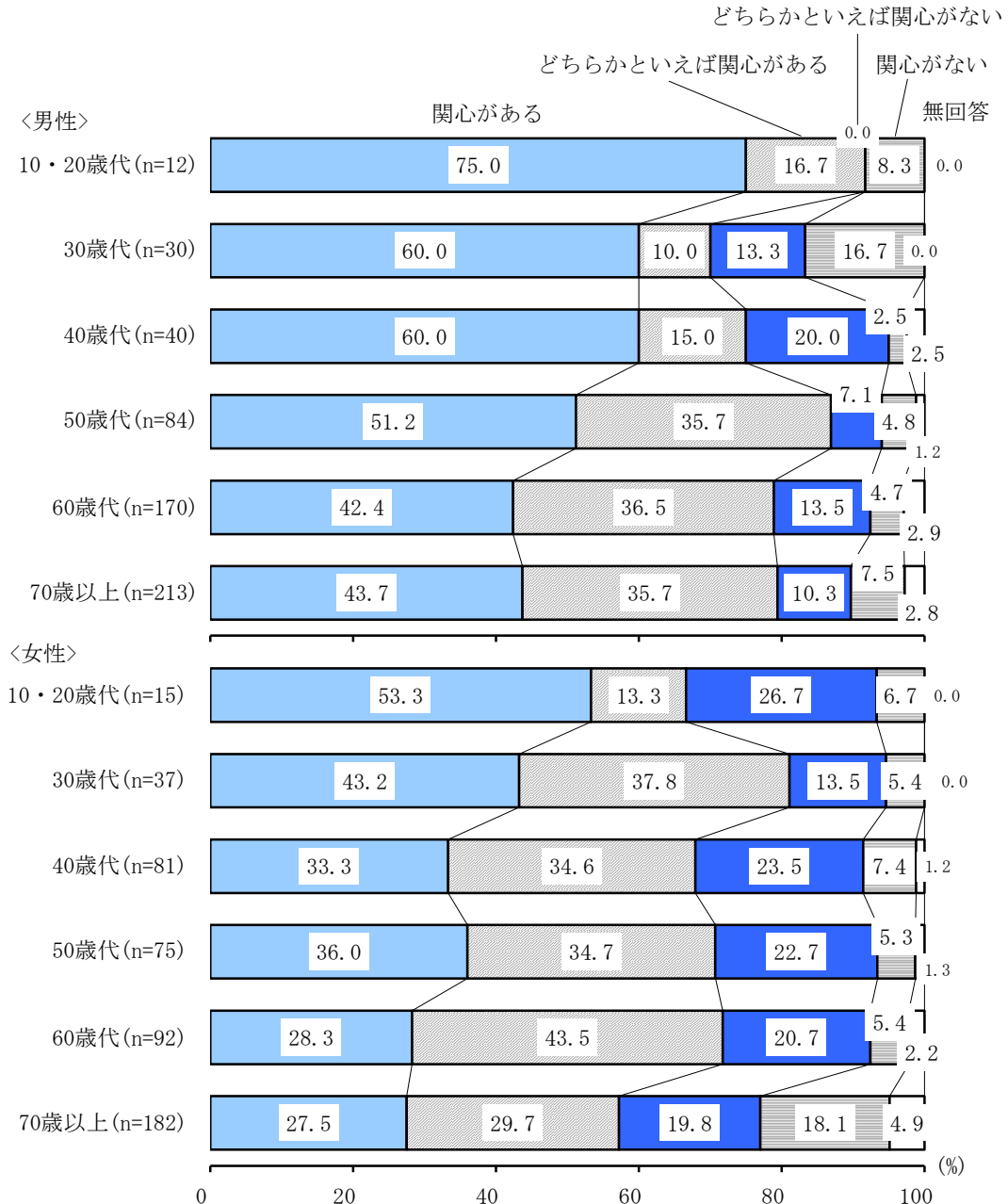
【図表3-1 運動・スポーツへの関心の有無】



運動やスポーツへの関心の有無について、「関心がある」が40.1%で最も多く、次いで「どちらかといえば関心がある」が33.2%となっており、両者を合わせた『関心がある』割合は73.3%を占めている。一方、「どちらかといえば関心がない」と「関心がない」を合わせた『関心がない』割合は24.2%となっている。(図表3-1)

性・年齢別でみると、『関心がある』割合は、男女とも10・20歳代の母数が少ないので一概には言えないが、男女ともに各年代で過半数を占めており、男性は50歳代が86.9%、女性は30歳代で81.0%と高くなっている。また、30歳代の男女差をみると、男性（70.0%）より女性のほうが高くなっており、40歳以上の年代では男性のほうが高くなっている。（図表3-1-1）

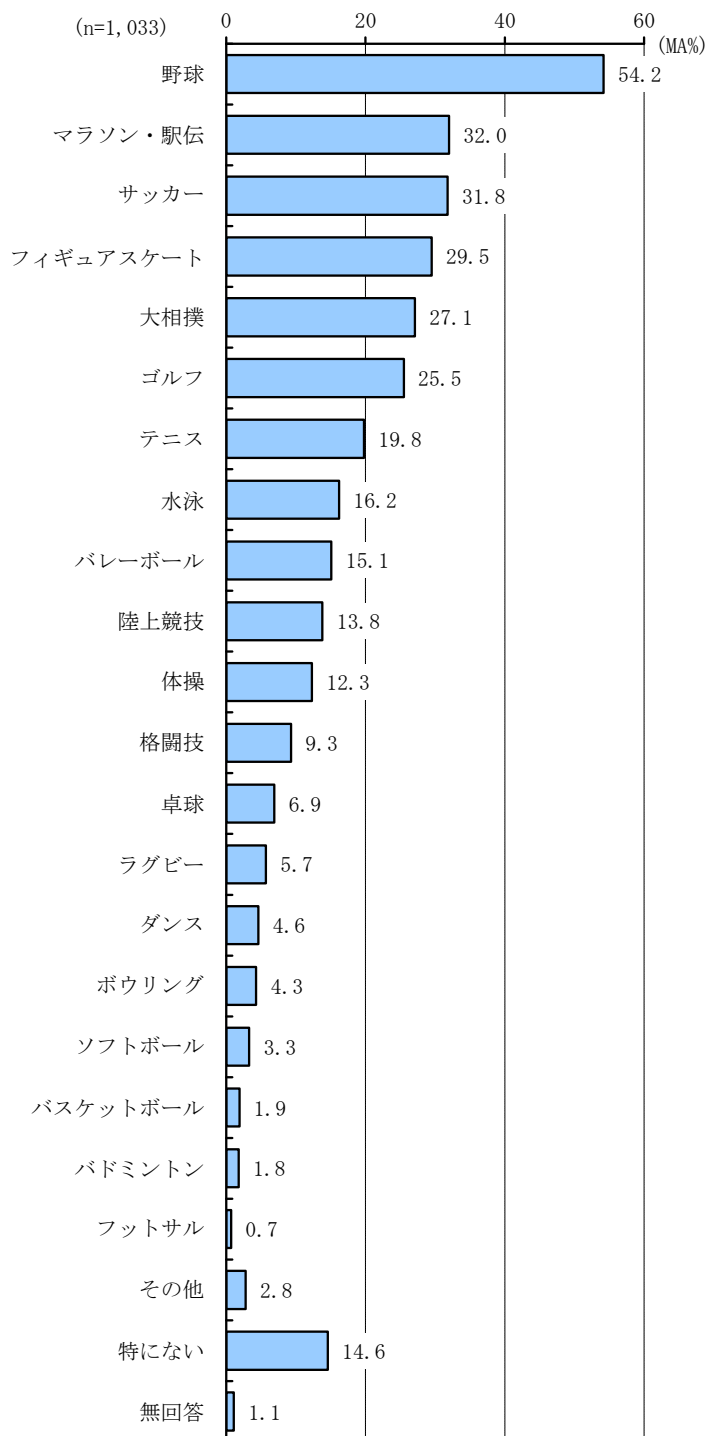
【図表3-1-1 性・年齢別 運動・スポーツへの関心の有無】



(2) 観戦するスポーツ

問12. よく観戦（テレビを含む）するスポーツは何ですか。（〇はいくつでも）

【図表3-2 観戦するスポーツ】



観戦するスポーツについては、「野球」が54.2%で最も多く、次いで「マラソン・駅伝」が32.0%、「サッカー」が31.8%、「フィギュアスケート」が29.5%、「大相撲」が27.1%と続いており、「特にない」は14.6%となっている。（図表3-2）

性・年齢別でみると、男性は、各年代で「野球」と「サッカー」が多くなっており、特に「野球」は30歳以上の年代で5割以上となっている。女性と比べると、「ゴルフ」や「格闘技」が高くなっている。

女性では、各年代で「フィギュアスケート」が多くなっているが、30歳代では「サッカー」(32.4%)が第1位となっており、同年代の男性(26.7%)より高くなっている。(図表3-2-1)

【図表3-2-1 性・年齢別 観戦するスポーツ(上位5項目)】

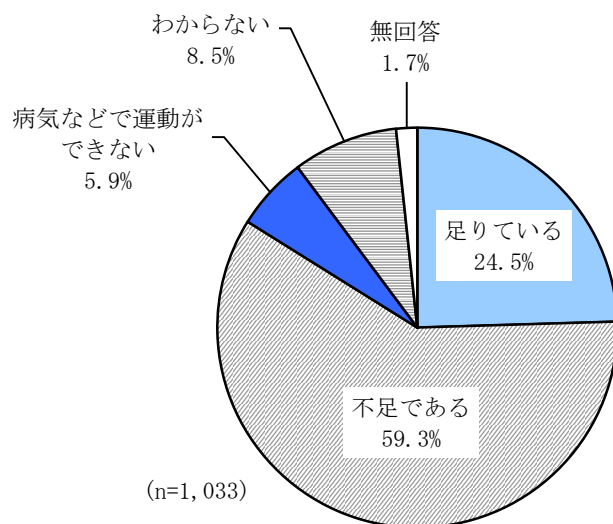
		(MA%)				
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	10・20歳代 (n=12)	サッカー 41.7	野球 25.0	水泳/格闘技/ラグビー 16.7		
	30歳代 (n=30)	野球 53.3	サッカー 26.7	テニス 23.3	ゴルフ 20.0	マラソン・駅伝/ 格闘技 16.7
	40歳代 (n=40)	サッカー 55.0	野球 52.5	格闘技 25.0	ゴルフ 22.5	テニス 17.5
	50歳代 (n=84)	野球 60.7	サッカー 39.3	ゴルフ 38.1	マラソン・駅伝 32.1	格闘技 23.8
	60歳代 (n=170)	野球 71.8	サッカー 44.7	大相撲 38.8	ゴルフ 38.2	マラソン・駅伝 35.9
	70歳以上 (n=213)	野球 77.9	大相撲 55.4	マラソン・駅伝 47.9	ゴルフ 46.5	サッカー 31.0
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
女性	10・20歳代 (n=15)	野球/フィギュアスケート 33.3		バスケットボール/バドミントン 13.3	サッカー/テニス/ バレーボール/陸上 競技/体操/卓球 6.7	
	30歳代 (n=37)	サッカー 32.4	野球/フィギュアスケート 27.0		バレーボール 18.9	水泳 16.2
	40歳代 (n=81)	フィギュアスケート 42.0	野球 37.0	テニス 28.4	サッカー 27.2	マラソン・駅伝 18.5
	50歳代 (n=75)	フィギュアスケート 58.7	サッカー 29.3	バレーボール 25.3	マラソン・駅伝/テニス 24.0	
	60歳代 (n=92)	フィギュアスケート 55.4	野球 38.0	マラソン・駅伝 28.3	サッカー 26.1	テニス/体操 20.7
	70歳以上 (n=182)	フィギュアスケート 52.7	野球 45.6	マラソン・駅伝 36.8	大相撲 29.1	体操 21.4

4 スポーツや運動の実施状況について

(1) 主観的運動量の過不足

問13. あなたは、自分自身の現在の運動量をどう思いますか。(○は1つ)

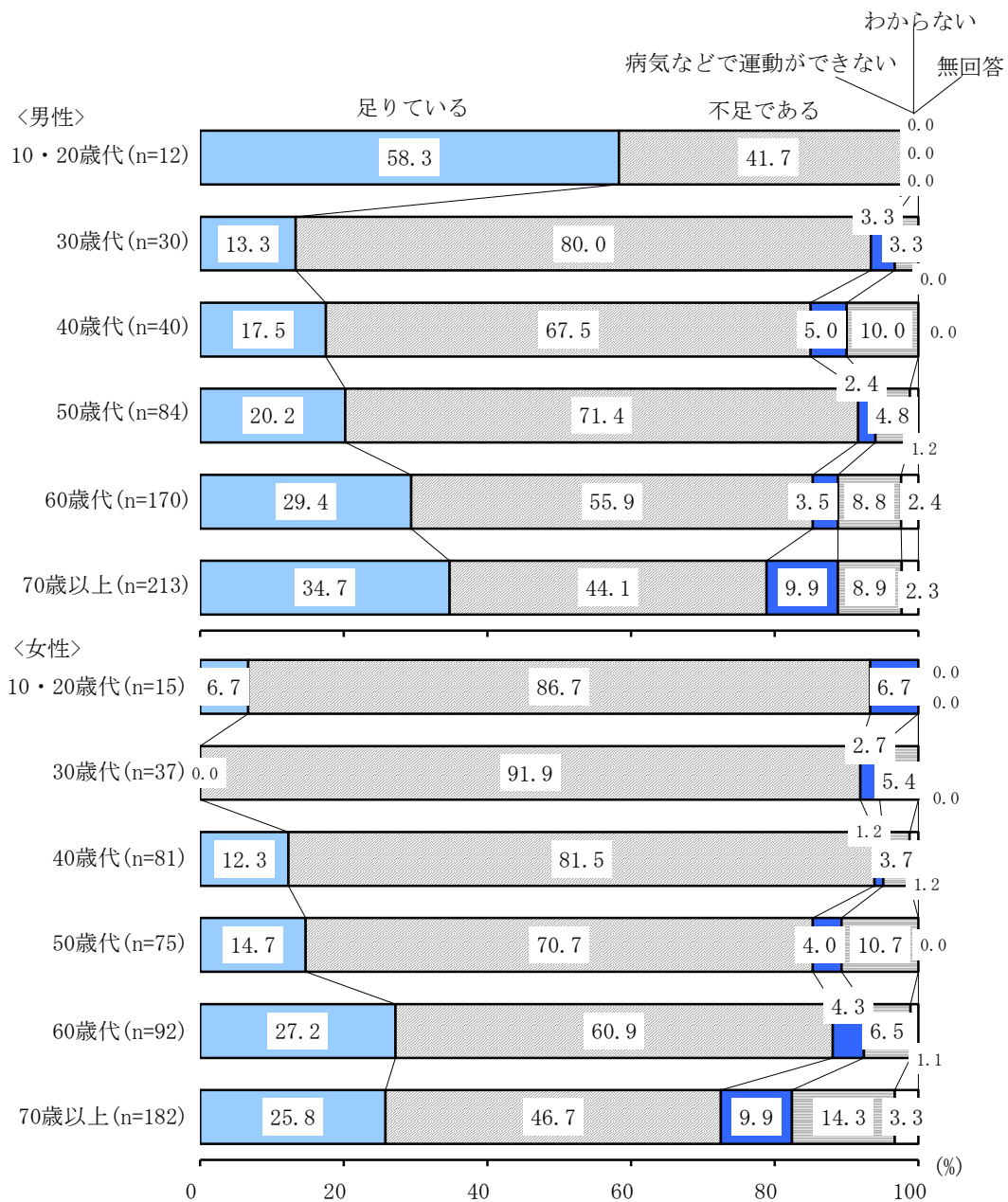
【図表4-1 主観的運動量の過不足】



自分自身の現在の運動量について、「不足である」が59.3%を占めており、一方の「足りている」は24.5%となっている。(図表4-1)

性・年齢別でみると、男女とも10・20歳代の母数が少ないので一概には言えないが、「不足である」が、男性は30歳以上の年代、女性は各年代で最も多くなっている。一方の「足りている」では、男性は、10・20歳代が58.3%（7人）となっており、30歳代では13.3%と低くなっているが、年代が上がるほど上昇し、70歳以上で34.7%となっている。女性では、10歳代～30歳代は1割未満、40歳代と50歳代は1割台となっており、60歳以上になると2割台に上昇している。（図表4-1-1）

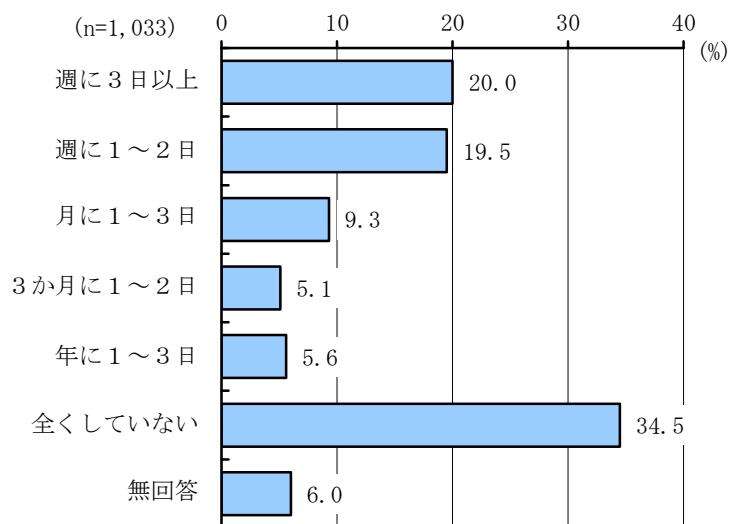
【図表4-1-1 性・年齢別 主観的運動量の過不足】



(2) 運動やスポーツの頻度

問14. あなたは、ふだん運動やスポーツをどの程度していますか。(○は1つ)

【図表4-2 運動やスポーツの頻度】



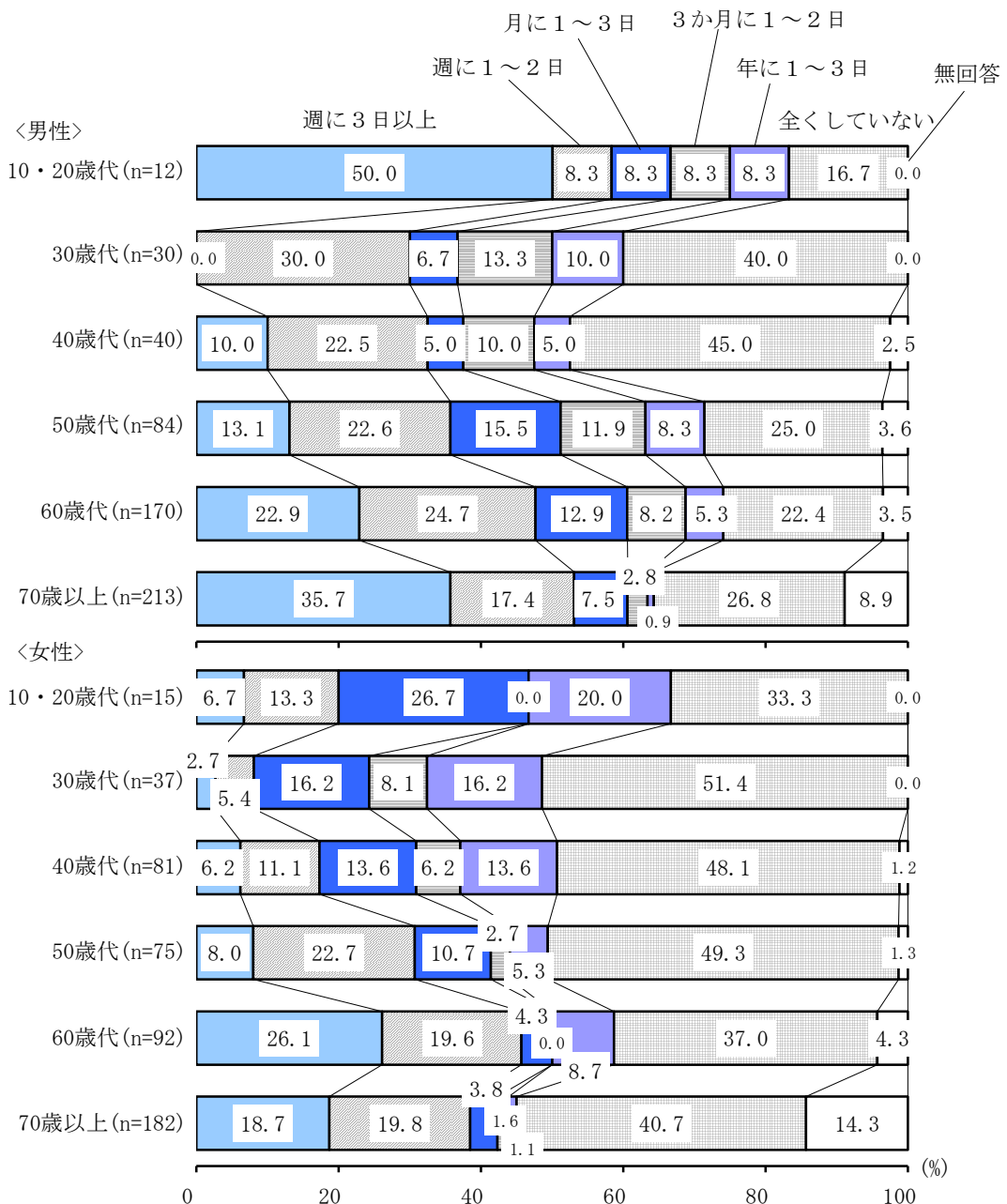
運動やスポーツの頻度については、「全くしていない」が34.5%で最も多くなっている。運動やスポーツをする人では、「週に3日以上」が20.0%、「週に1～2日」が19.5%、「月に1～3日」が9.3%となっており、月1回以上運動やスポーツをしている人は48.8%を占めている。(図表4-2)

性・年齢別でみると、月1回以上運動やスポーツをしている人では、男性は、10・20歳代で母数は少ないが66.6%（8人）となっており、30歳代～40歳代は36～37%台に対し、50歳以上になると5～6割台に上昇している。

女性では、10・20歳代で母数は少ないが46.7%（7人）となっており、30歳代は24.3%と低くなっているが、年代が上がるほど上昇し、50歳以上になると4割以上を占め、60歳代では50.0%と高くなっている。また、運動やスポーツをしている人の割合は、各年代で、女性に比べ男性のほうが高くなっている。

一方、「全くしていない」では、男性は30歳代と40歳代で4割台を占め、女性は30歳代～50歳代で5割前後と高くなっている。（図表4-2-1）

【図表4-2-1 性・年齢別 運動やスポーツの頻度】

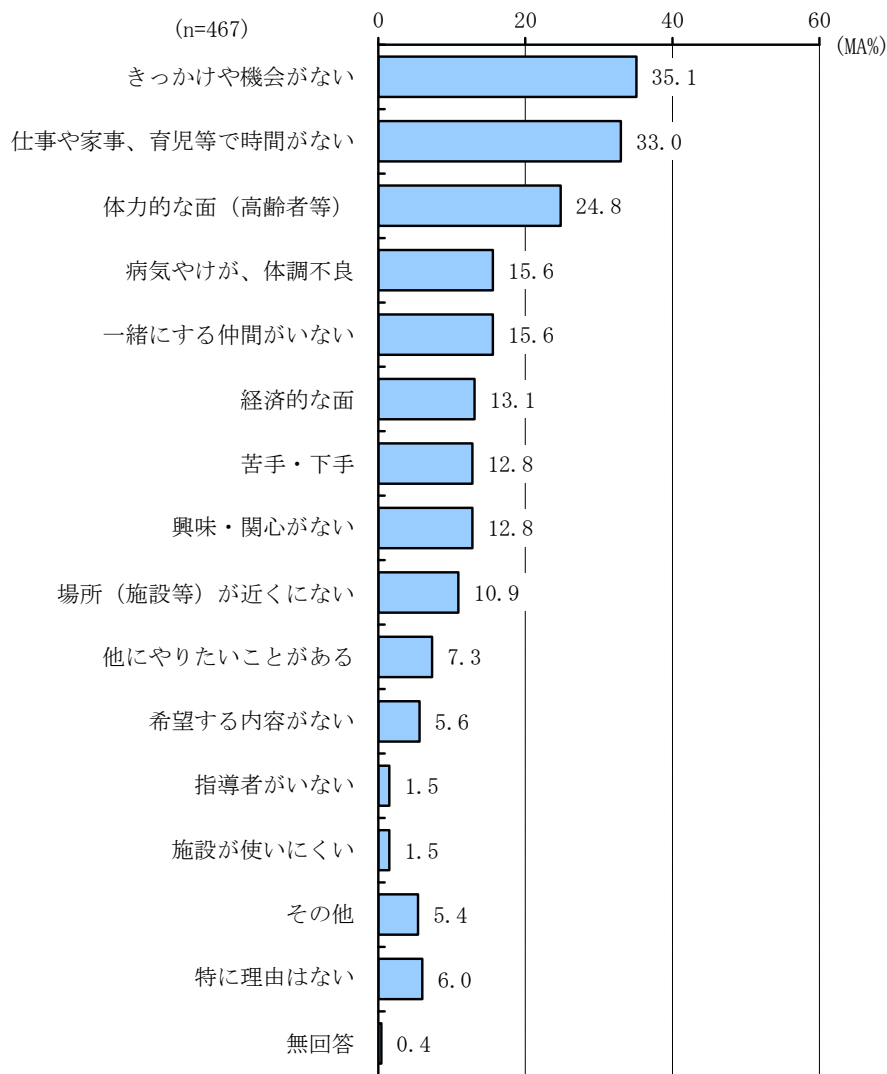


(3) 運動やスポーツをあまりしていない理由

【問14で「4. 3か月に1～2日」「5. 年に1～3日」「6. 全くしていない」のいずれかを回答した方にうかがいます。】

問15. 運動やスポーツをあまりしていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図表4-3 運動やスポーツをあまりしていない理由】



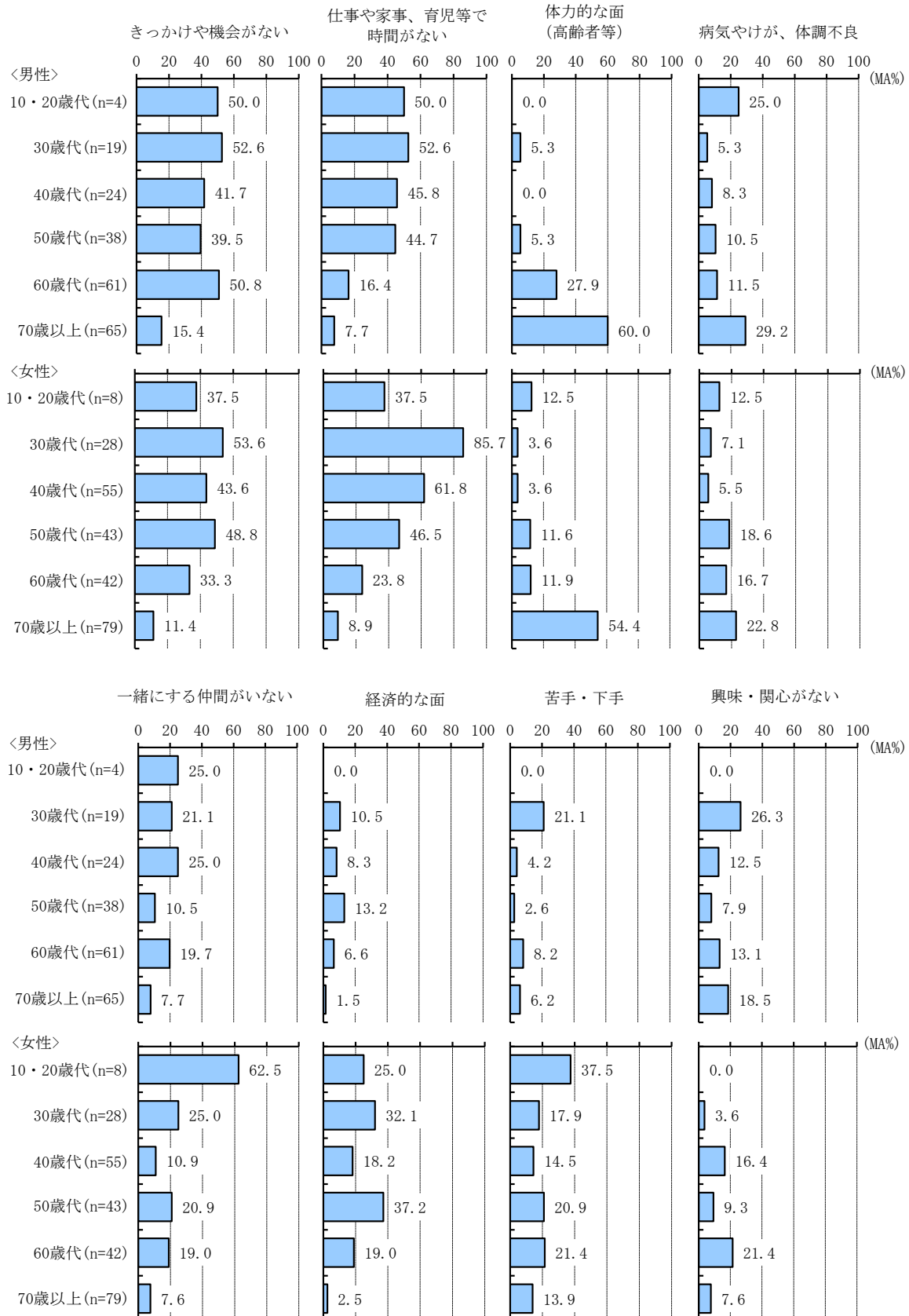
月に1回も運動やスポーツをしていない人に、運動やスポーツをあまりしていない理由をたずねたところ、「きっかけや機会がない」が35.1%で最も多く、次いで「仕事や家事、育児等で時間がない」が33.0%、「体力的な面（高齢者等）」が24.8%と続いている。（図表4-3）

性・年齢別でみると、男性は、10歳代～40歳代の母数が少ないので一概には言えないが、10・20歳代は「場所（施設等）が近くにない」、30歳代は「きっかけや機会がない」と「仕事や家事、育児等で時間がない」、40歳代と50歳代は「仕事や家事、育児等で時間がない」、60歳代は「きっかけや機会がない」、70歳以上では「体力的な面（高齢者等）」が、それぞれ最も多くなっている。

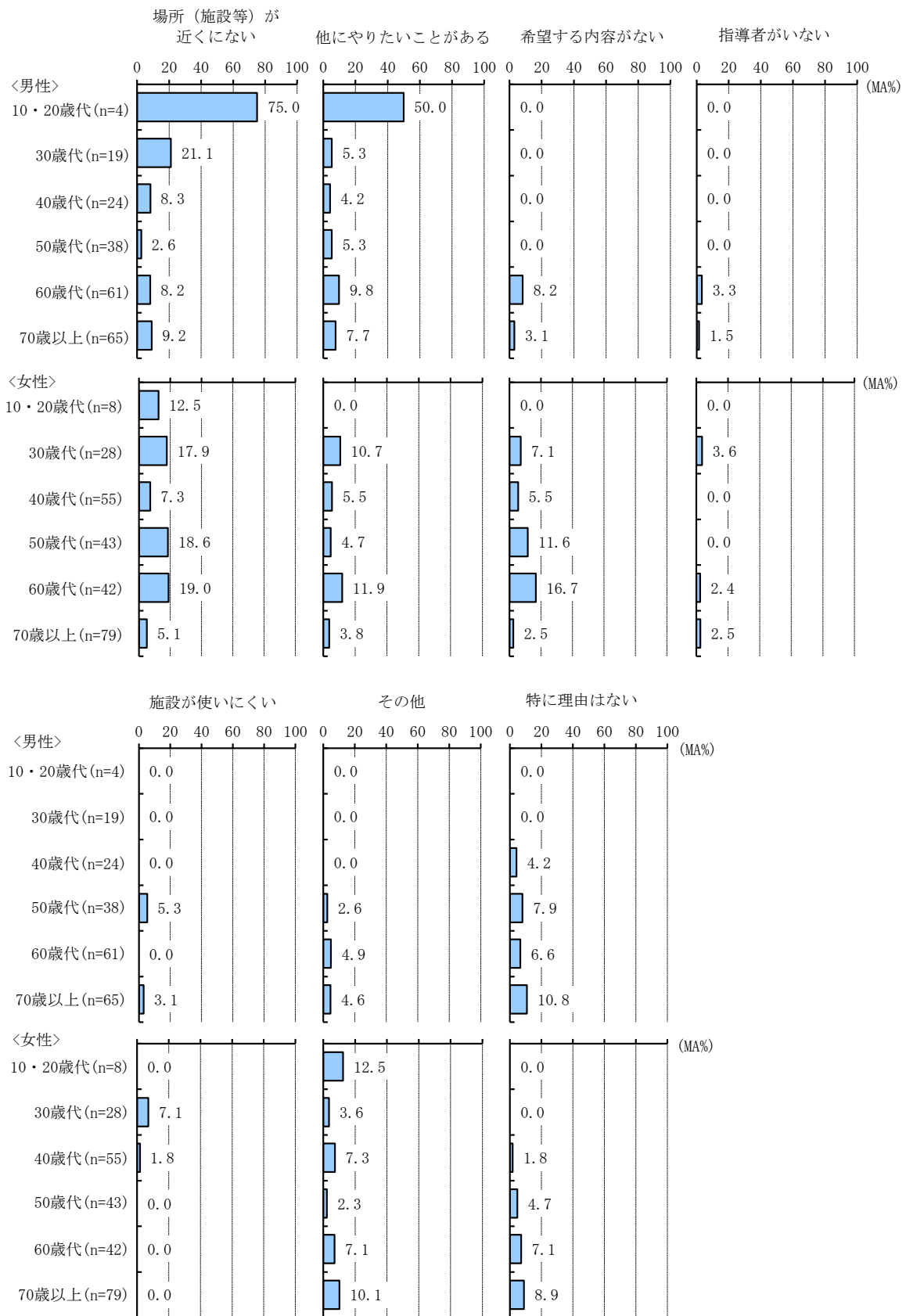
女性では、10・20歳代で母数は少ないが「一緒にする仲間がない」が最も多く、

30歳代と40歳代は「仕事や家事、育児等で時間がない」、50歳代と60歳代は「きっかけや機会がない」、70歳以上では「体力的な面（高齢者等）」が、それぞれ最も多くなっている。また、「経済的な面」や「苦手・下手」では、男性に比べ女性のほうが高くなっている。（図表4-3-1）

【図表4-3-1 性・年齢別 運動やスポーツをあまりしていない理由①】



【図表4-3-1 性・年齢別 運動やスポーツをあまりしていない理由②】

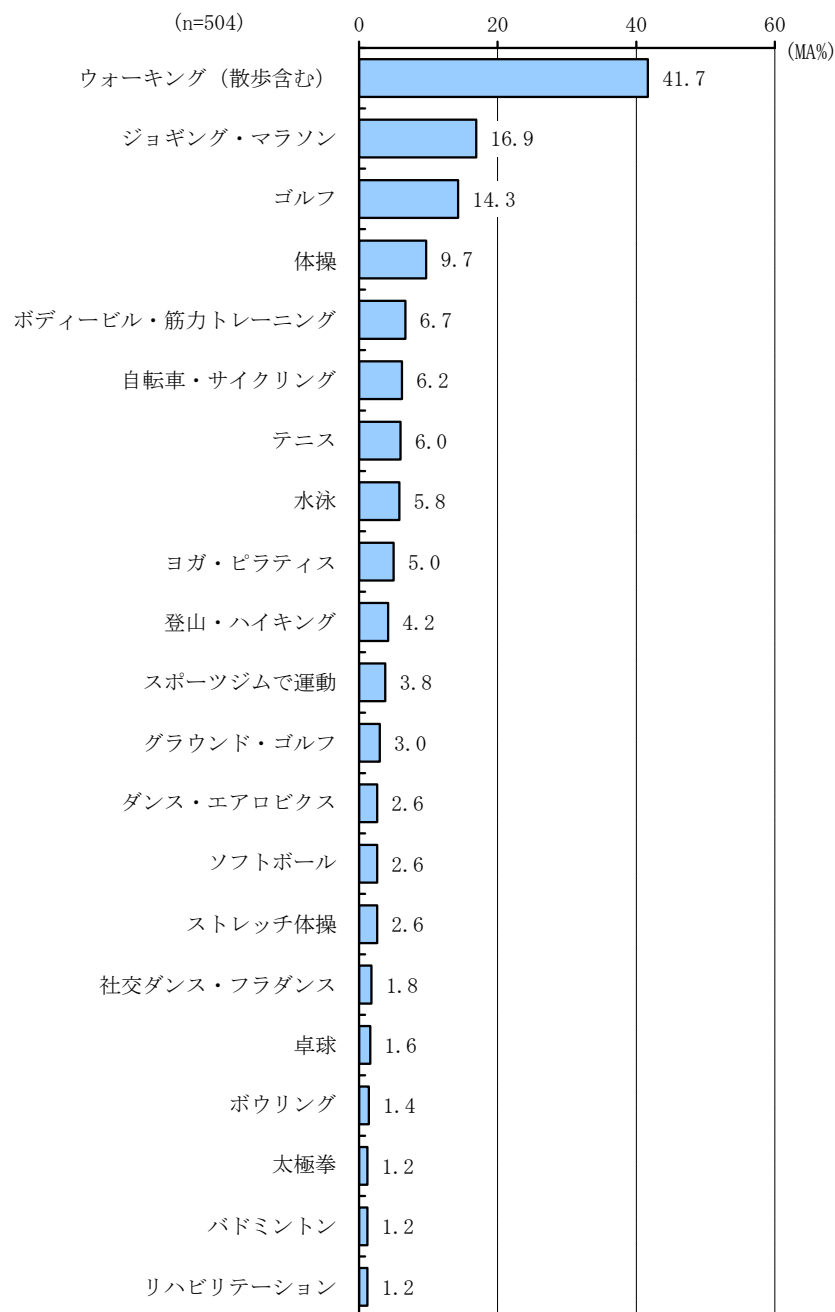


(4) 現在行っている運動やスポーツ

【問14で「1.」～「3.」のいずれか（月1回以上運動やスポーツをしている）を回答した方にうかがいます。】

問16. 現在行っている運動やスポーツを次の（ ）の中にご記入ください。

【図表4-4 現在行っている運動やスポーツ（上位20項目）】



月1回以上運動やスポーツをしている人に、現在行っている運動やスポーツの種目をたずねたところ、「ウォーキング（散歩含む）」が41.7%で最も多く、次いで「ジョギング・マラソン」が16.9%、「ゴルフ」が14.3%、「体操」が9.7%、「ボディービル・筋力トレーニング」が6.7%と続いている。（図表4-4）

性・年齢別でみると、男性は、10歳代～50歳代で「ジョギング・マラソン」や「自転車・サイクリング」が多くなっており、60歳以上になると「ウォーキング（散歩含む）」が5割台で第1位となっている。また、30歳以上の年代では「ゴルフ」が上位に挙がっている。

女性では、各年代で「ウォーキング（散歩含む）」が第1、2位となっており、60歳代では54.3%と高くなっている。また、30歳代～60歳代で「ヨガ・ピラティス」、50歳以上の年代で「体操」が上位に挙がっている。（図表4-4-1）

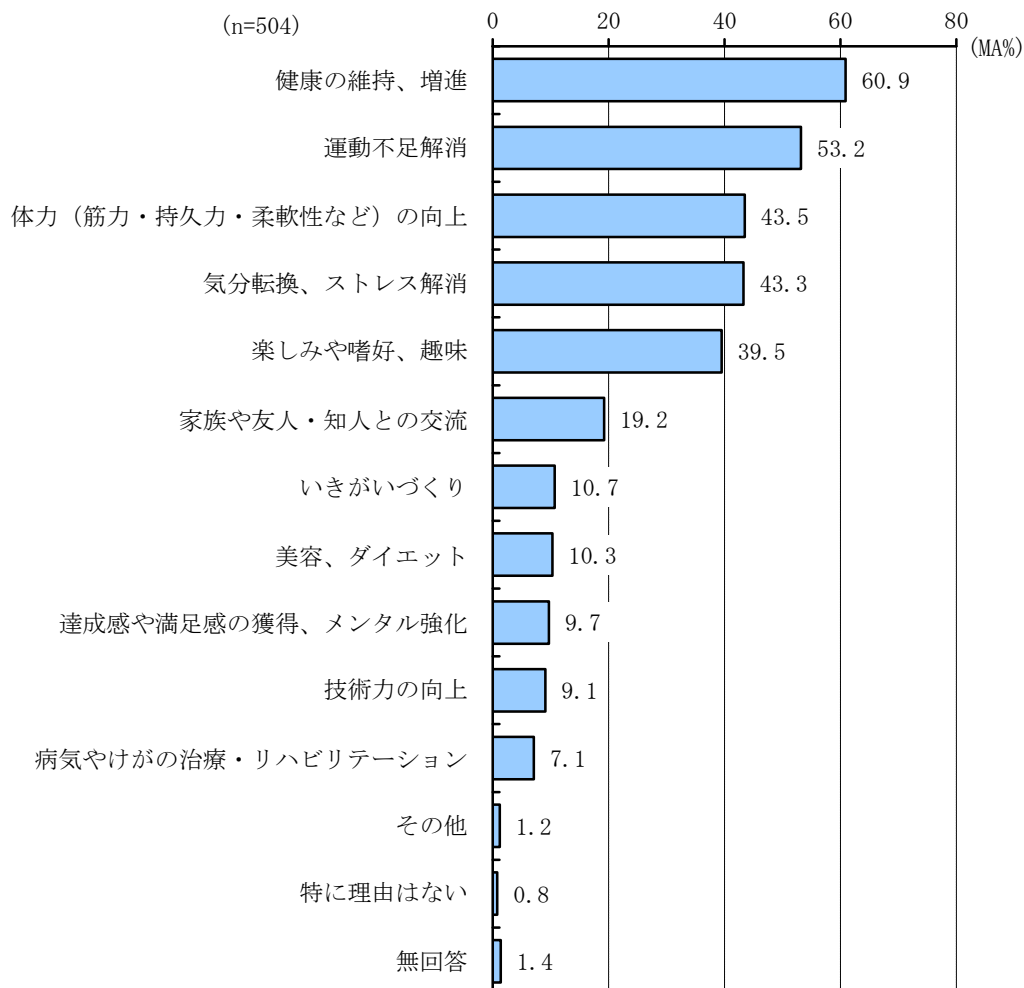
【図表4-4-1 性・年齢別 現在行っている運動やスポーツ（上位5項目）】

		(MA%)									
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位					
男性	10・20歳代 (n=8)	ジョギング・マラソン／自転車・サイクリング		ウォーキング（散歩含む）／ボディービル・筋力トレーニング／スポーツジムで運動／ダンス・エアロビクス／陸上競技／ラグビー		25.0	12.5				
	30歳代 (n=11)	ジョギング・マラソン	ゴルフ	自転車・サイクリング／野球		ウォーキング（散歩含む）／ボディービル・筋力トレーニング／テニス／水泳／ヨガ・ピラティス／登山・ハイキング／スポーツジムで運動／ソフトボール／社交ダンス・フラダンス／卓球／空手道	54.5	27.3	18.2	9.1	
	40歳代 (n=15)	ウォーキング（散歩含む）／ゴルフ／自転車・サイクリング／水泳				テニス／ソフトボール	20.0	13.3			
	50歳代 (n=43)	ジョギング・マラソン	ゴルフ	ウォーキング（散歩含む）／自転車・サイクリング		テニス	27.9	23.3	18.6	14.0	
	60歳代 (n=103)	ウォーキング（散歩含む）	ゴルフ	ジョギング・マラソン	ボディービル・筋力トレーニング	テニス／水泳	50.5	27.2	18.4	7.8	6.8
	70歳以上 (n=129)	ウォーキング（散歩含む）	ジョギング・マラソン	ゴルフ	体操	グラウンド・ゴルフ	55.8	17.1	15.5	12.4	6.2
			第1位	第2位	第3位	第4位	第5位				
女性	10・20歳代 (n=7)	ウォーキング（散歩含む）／ジョギング・マラソン		ボディービル・筋力トレーニング／テニス／スポーツジムで運動／バドミントン／バスケットボール		28.6	14.3				
	30歳代 (n=9)	ウォーキング（散歩含む）	ジョギング・マラソン／自転車・サイクリング／テニス／水泳／ヨガ・ピラティス／サッカー			44.4	11.1				
	40歳代 (n=25)	ウォーキング（散歩含む）	ヨガ・ピラティス	ジョギング・マラソン／ボディービル・筋力トレーニング／水泳		40.0	20.0	16.0			
	50歳代 (n=31)	ヨガ・ピラティス	ウォーキング（散歩含む）	ダンス・エアロビクス	体操／ボディービル・筋力トレーニング／テニス	22.6	19.4	12.9	9.7		
	60歳代 (n=46)	ウォーキング（散歩含む）	体操	ヨガ・ピラティス	ジョギング・マラソン	水泳	54.3	21.7	17.4	15.2	10.9
	70歳以上 (n=77)	ウォーキング（散歩含む）	体操	ジョギング・マラソン	グラウンド・ゴルフ／ストレッチ体操		33.8	19.5	10.4	9.1	

(5) 運動やスポーツを行っている目的

問17. 運動やスポーツを行っている目的は何ですか。(〇はいくつでも)

【図表4-5 運動やスポーツを行っている目的】



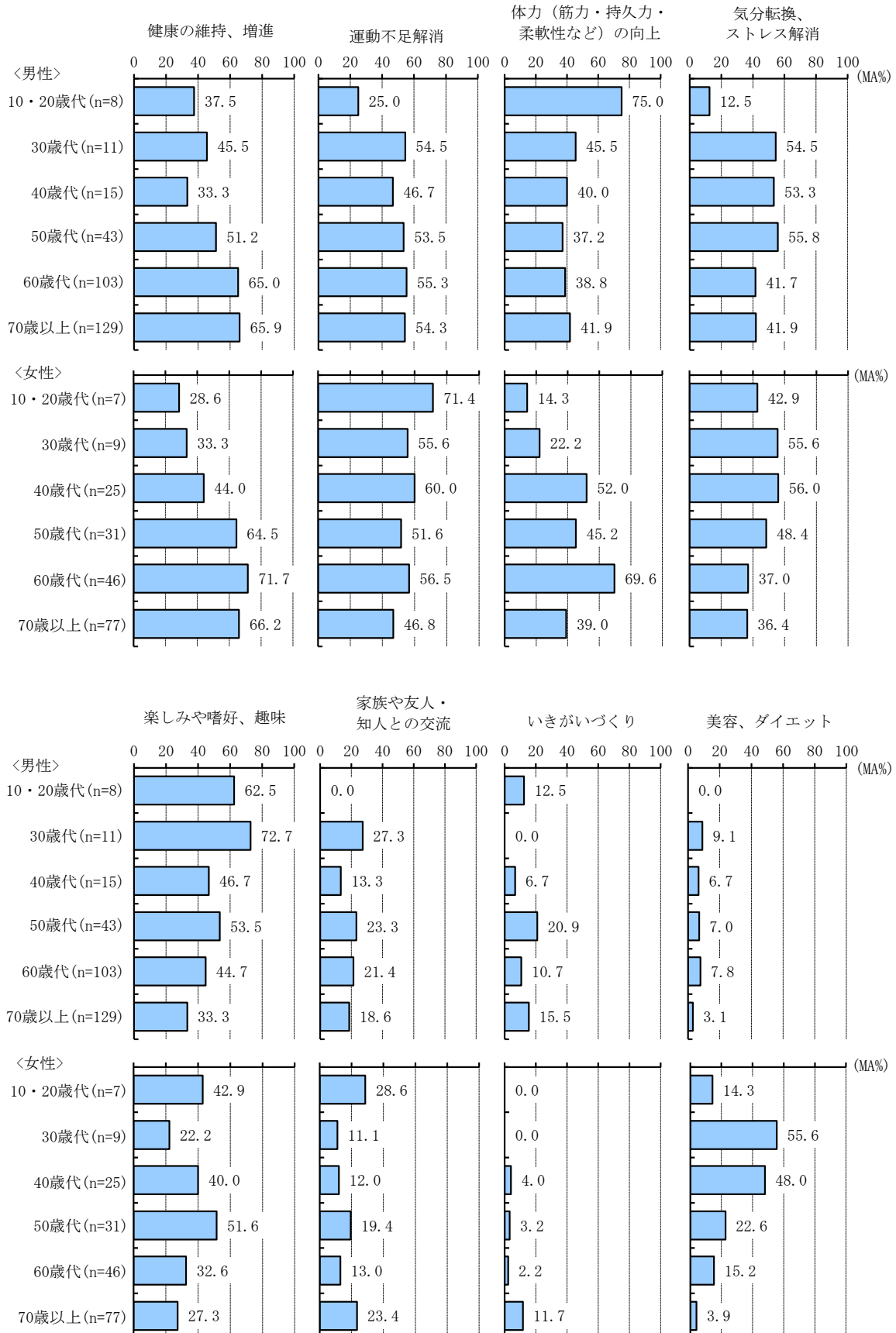
月1回以上運動やスポーツをしている人に、運動やスポーツを行っている目的をたずねたところ、「健康の維持、増進」が60.9%で最も多く、次いで「運動不足解消」が53.2%、「体力（筋力・持久力・柔軟性など）の向上」が43.5%、「気分転換、ストレス解消」が43.3%、「楽しみや嗜好、趣味」が39.5%と続いている。（図表4-5）

性・年齢別でみると、男性は、10歳代～40歳代の母数が少ないので一概には言えないが、10・20歳代は「体力（筋力・持久力・柔軟性など）の向上」、30歳代は「楽しみや嗜好、趣味」、40歳代と50歳代は「気分転換、ストレス解消」、60歳以上になると「健康の維持、増進」が、それぞれ最も多くなっている。また、「運動不足解消」は、50歳以上の年代で53～55%台となっている。

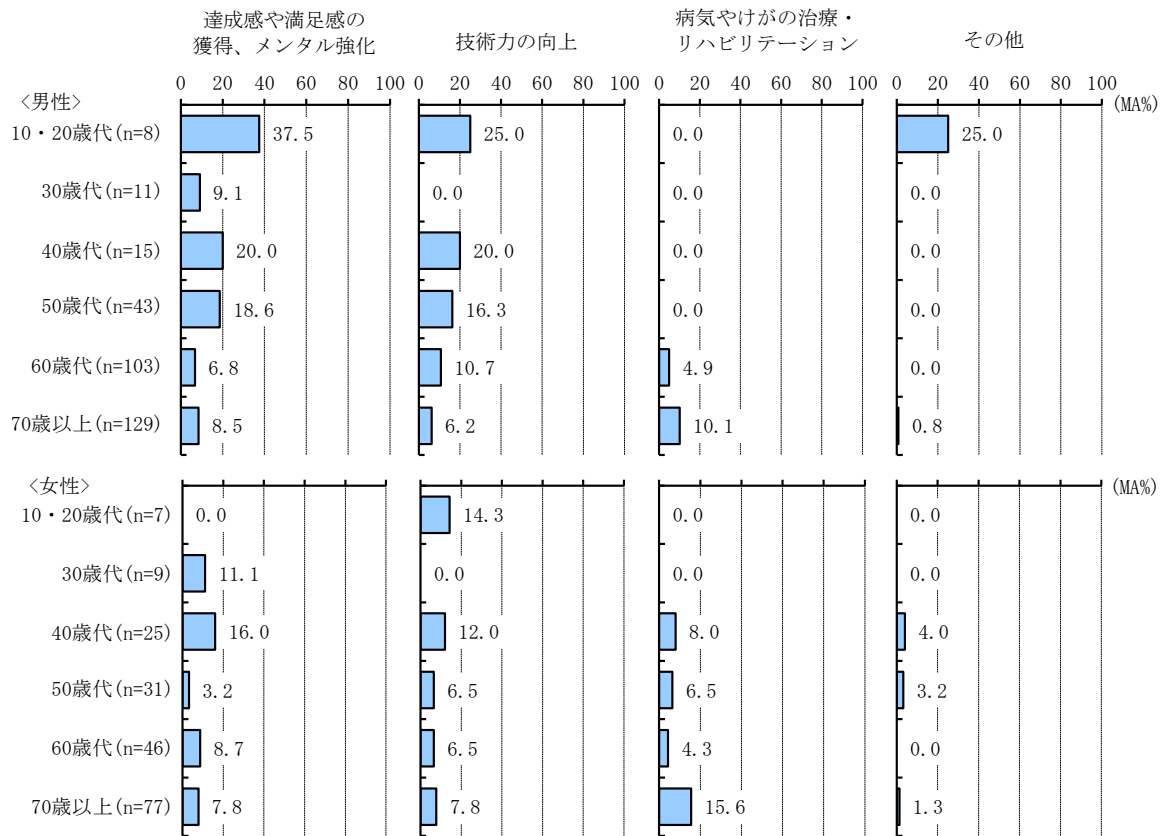
女性では、10歳代～30歳代の母数が少ないので一概には言えないが、10歳代～40歳代で「運動不足解消」が最も多く、30歳代と40歳代では「気分転換、ストレス解消」と「美容、ダイエット」が他の年代に比べ上位に挙がっており、50歳以上になると「健康の維持、増進」が6～7割台で最も多くなっている。また、50歳代は「楽しみ

や嗜好、趣味」(51.6%)、60歳代は「体力(筋力・持久力・柔軟性など)の向上」(69.6%)が、それぞれ他の年代に比べ高くなっている。(図表4-5-1)

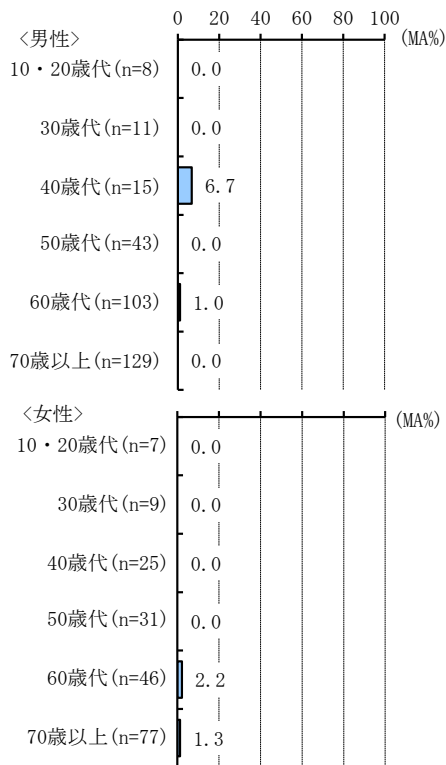
【図表4-5-1 性・年齢別 運動やスポーツを行っている目的①】



【図表4-5-1 性・年齢別 運動やスポーツを行っている目的②】



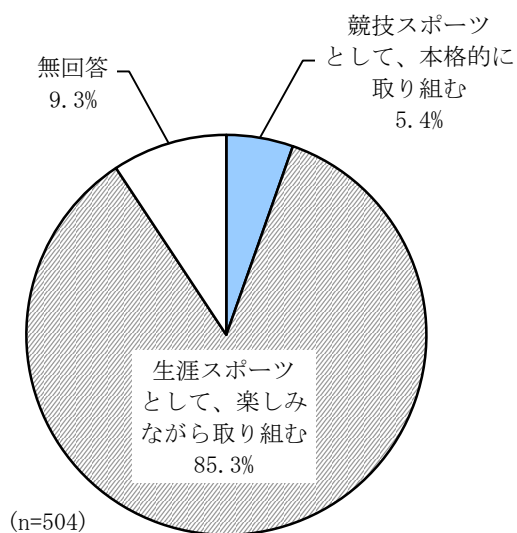
特に理由はない



(6) 運動やスポーツの取組度合い

問18. 運動やスポーツを行う場合、どのように取り組んでおられますか（取り組みたいですか）。（○は1つ）

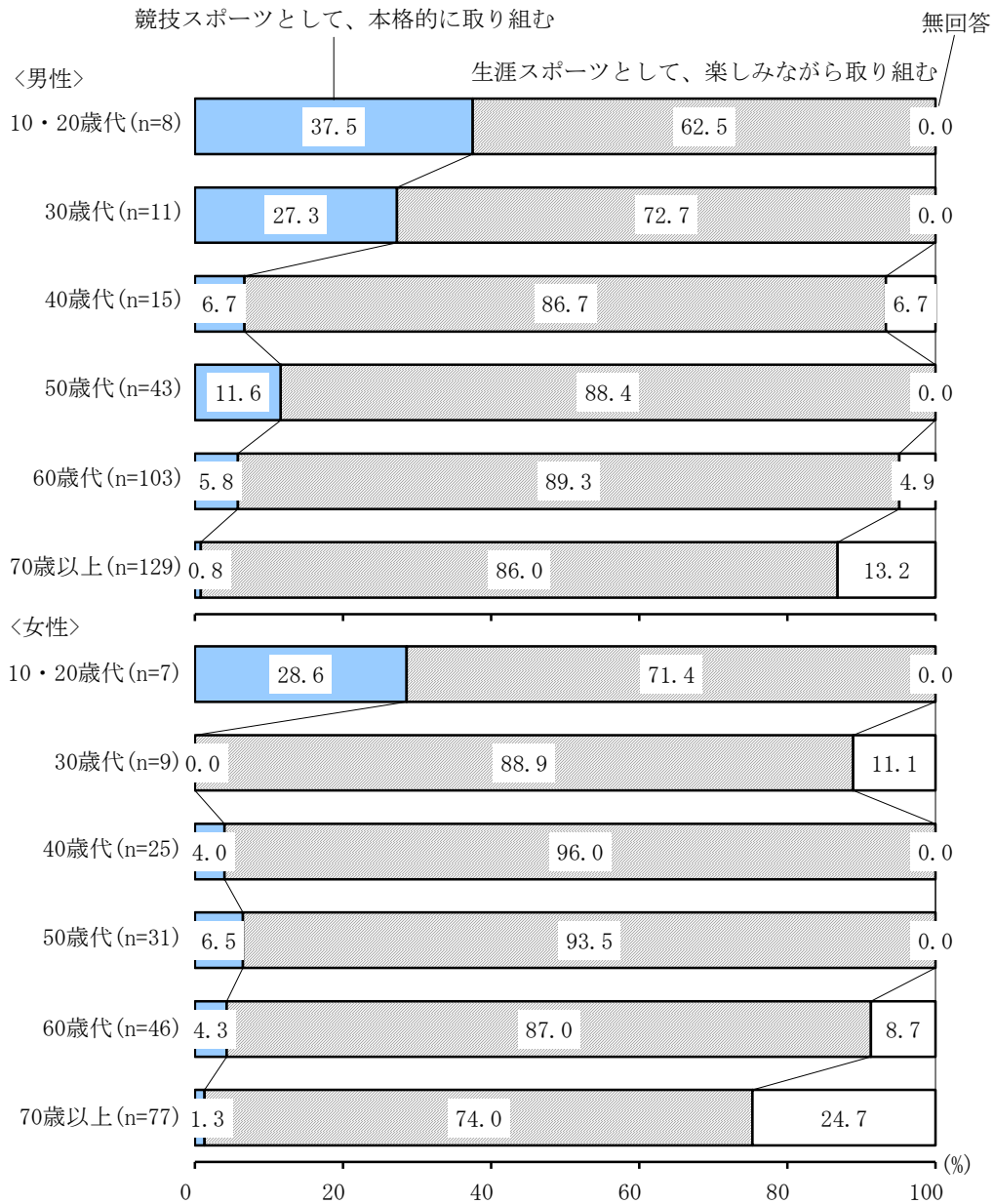
【図表4-6 運動やスポーツの取組度合い】



月1回以上運動やスポーツをしている人に、運動やスポーツの取組度合いをたずねたところ、「競技スポーツとして、本格的に取り組む」が5.4%に対し、「生涯スポーツとして、楽しみながら取り組む」は85.3%を占めている。（図表4-6）

性・年齢別でみると、男女とも10歳代～40歳代の母数が少ないので一概には言えないが、各年代で「生涯スポーツとして、楽しみながら取り組む」が過半数を占めており、「競技スポーツとして、本格的に取り組む」では、女性より男性のほうが高く、男女ともに50歳代の割合が高くなっている。(図表4-6-1)

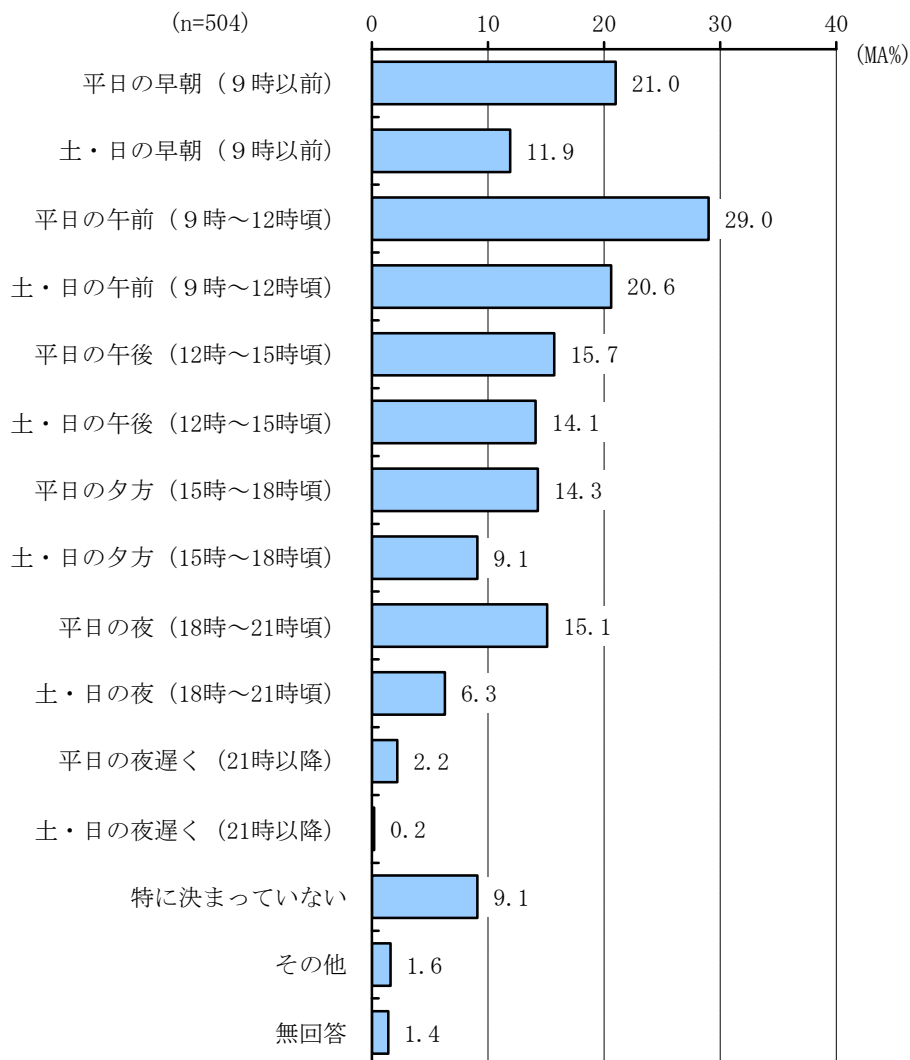
【図表4-6-1 性・年齢別 運動やスポーツの取組度合い】



(7) 運動やスポーツを行う時間帯

問19. 運動やスポーツをよく行う時間帯はいつですか。(〇はいくつでも)

【図表4-7 運動やスポーツを行う時間帯】

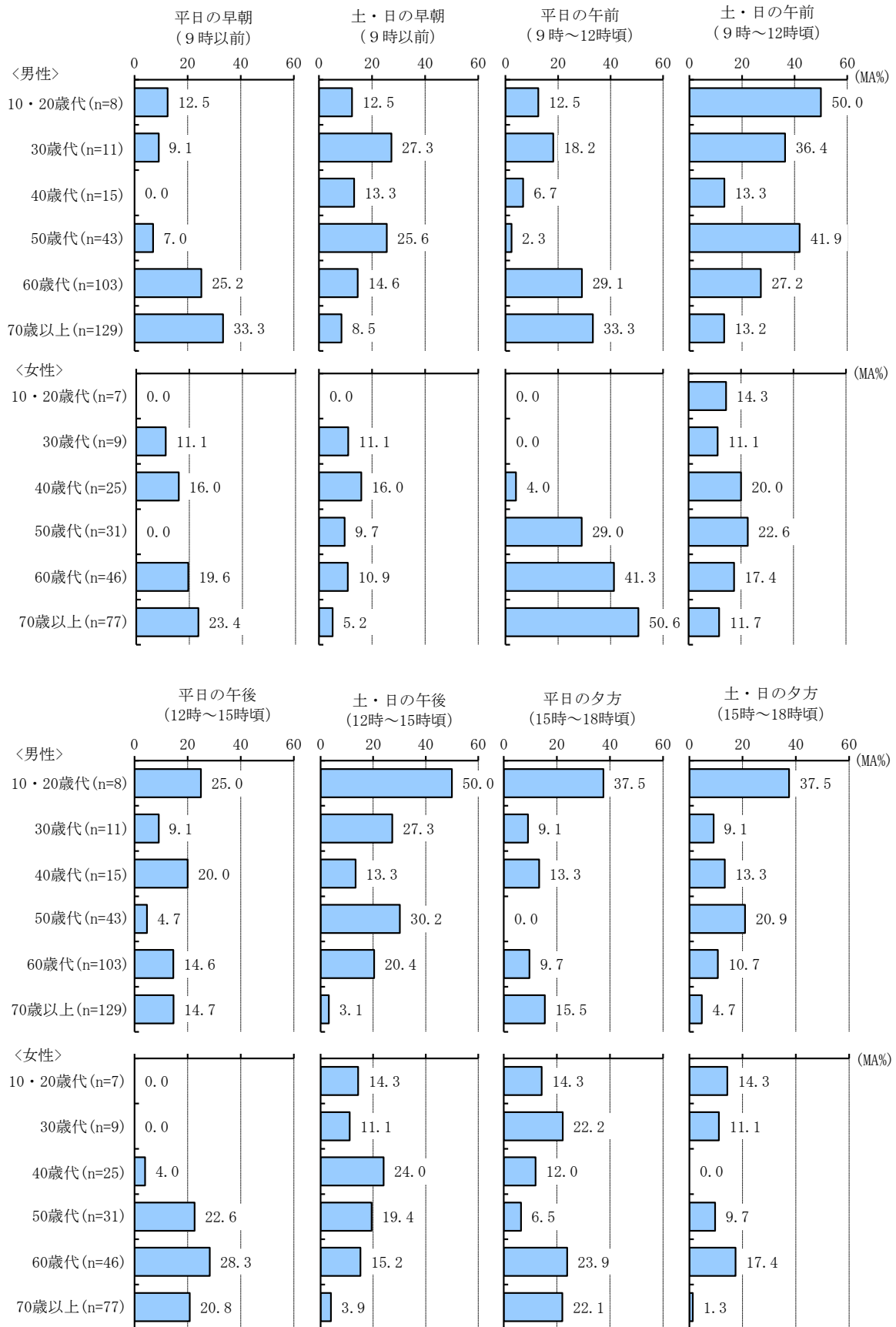


月1回以上運動やスポーツをしている人に、運動やスポーツを行う時間帯をたずねたところ、「平日の午前 (9時~12時頃)」が29.0%で最も多く、次いで「平日の早朝 (9時以前)」が21.0%、「土・日の午前 (9時~12時頃)」が20.6%となっている。(図表4-7)

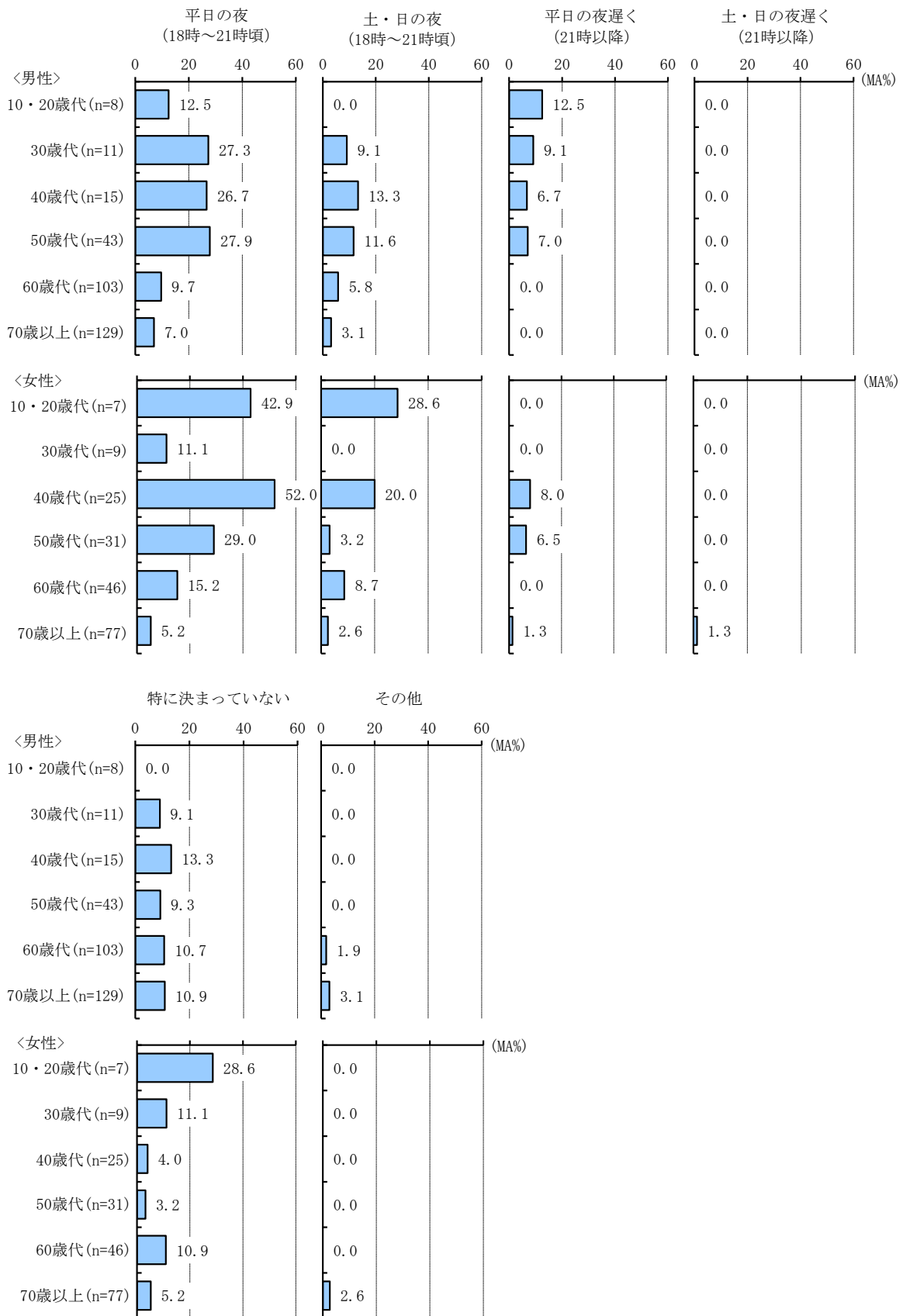
性・年齢別でみると、男性は、10歳代～40歳代の母数が少ないので一概に言えないが、10歳代～30歳代と50歳代は「土・日の午前（9時～12時）」、40歳代は「平日の夜（18～21時頃）」、60歳以上の年代は「平日の午前（9時～12時頃）」がそれぞれ最も多く、70歳以上では「平日の早朝（9時以前）」も同率で最も多くなっている。また、30歳代～50歳代では、平日は18時以降の夜中、土・日は早朝～夕方が多い傾向がみられる。60歳代では、平日は早朝～午前、土・日は午前～午後の日中に多い傾向がみられる。70歳以上になると土・日より平日のほうが多く、特に早朝～午前が多くなっている。

女性では、10歳代～30歳代の年代の母数が少ないので一概には言えないが、10・20歳代と40歳代は「平日の夜（18時～21時頃）」、30歳代は「平日の夕方（15時～18時頃）」が最も多く、50歳代では「平日の午前（9時～12時頃）」と「平日の夜（18時～21時頃）」が同率となっており、60歳以上の年代では「平日の午前（9時～12時頃）」が、それぞれ最も多くなっている。また、10歳代～40歳代では、平日は夕方～夜21時頃まで、土・日は午前～午後の日中に多い傾向がみられる。50歳代では、平日は午前・午後・夜が多く夕方には少なくなり、土・日は午前～午後の日中に多い傾向がみられる。60歳以上になると土・日より平日のほうが多く、早朝～夕方の幅広い時間帯で行っている傾向がみられ、特に午前（9時～12時）が最も多くなっている。（図表4-7-1）

【図表4-7-1 性・年齢別 運動やスポーツを行う時間帯①】



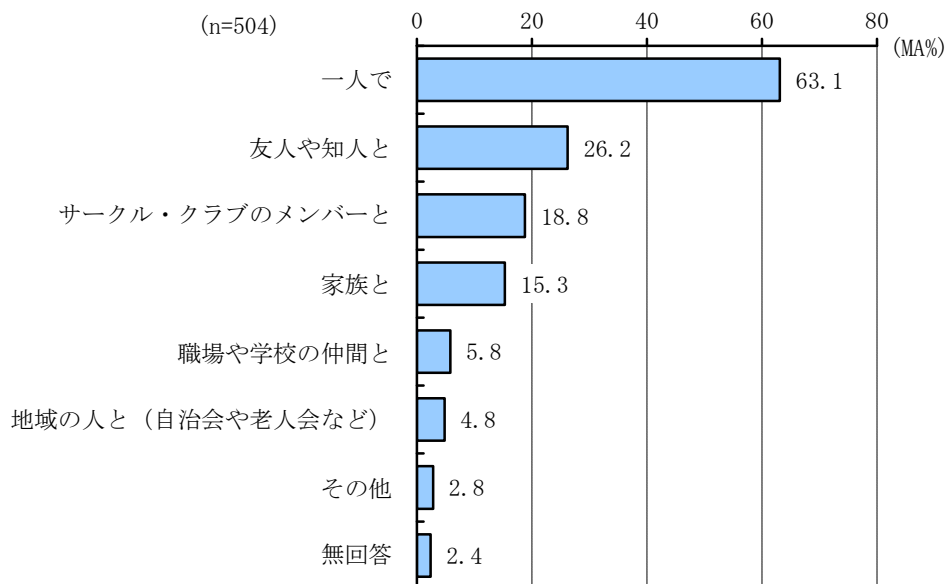
【図表4-7-1 性・年齢別 運動やスポーツを行う時間帯②】



(8) 運動やスポーツを行う相手

問20. 主に誰と運動やスポーツをしていますか。(〇はいくつでも)

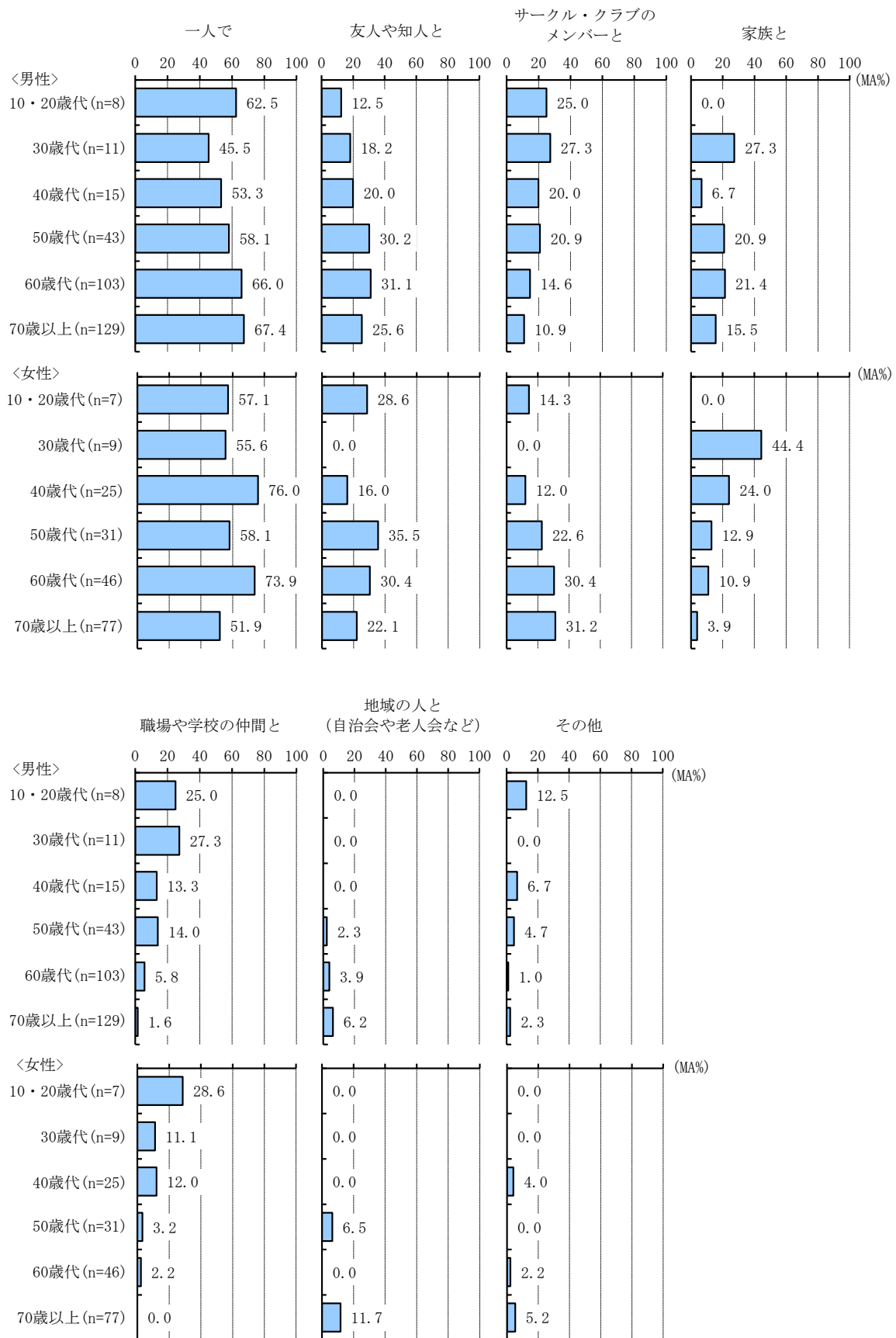
【図表4-8 運動やスポーツを行う相手】



月1回以上運動やスポーツをしている人に、運動やスポーツを行う相手をたずねたところ、「一人で」が63.1%で最も多く、次いで「友人や知人と」が26.2%、「サークル・クラブのメンバーと」が18.8%、「家族と」が15.3%と続いている。(図表4-8)

性・年齢別でみると、男女とも各年代で「一人で」が最も多くなっている。また、男性は、10歳代～40歳代の母数が少ないので一概には言えないが、若い年代で「サークル・クラブのメンバーと」や「職場や学校の仲間と」が多くなっているが、高齢になると「友人や知人と」と「家族と」が多くなっている。女性では、10歳代～30歳代の母数が少ないので一概には言えないが、年代が上がるほど「家族と」や「職場や学校の仲間と」が減少しており、高齢になると「友人と知人と」や「サークル・クラブのメンバーと」が多くなる傾向にある。(図表4-8-1)

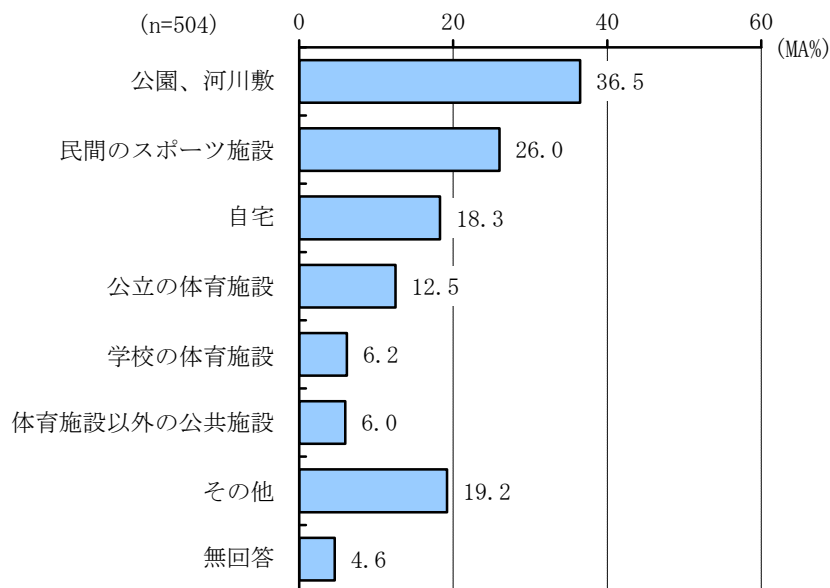
【図表4-8-1 性・年齢別 運動やスポーツを行う相手】



(9) 運動やスポーツを行う場所

問21. ふだん、どこで運動やスポーツをしていますか。(〇はいくつでも)

【図表4-9 運動やスポーツを行う場所】

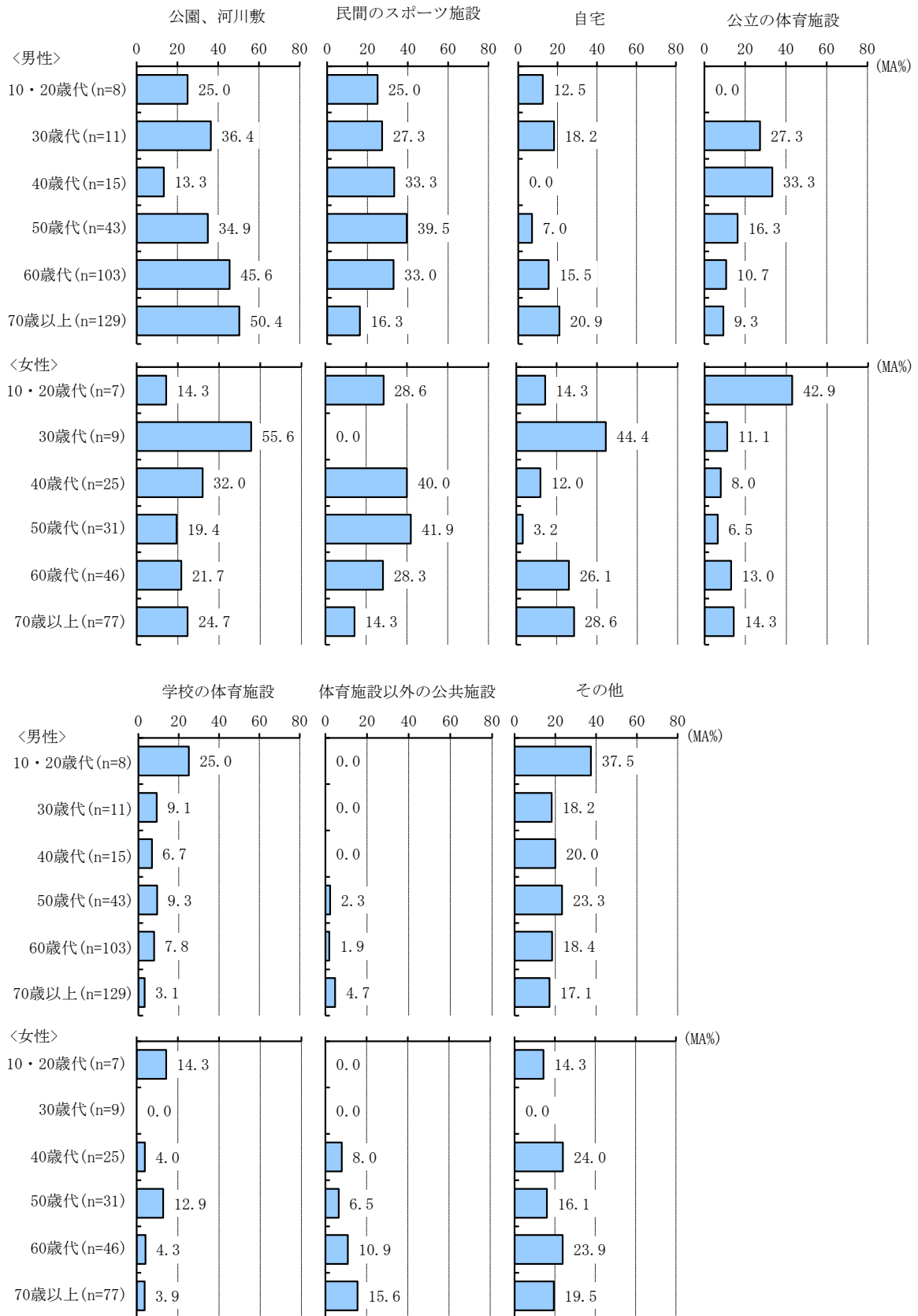


月1回以上運動やスポーツをしている人に、運動やスポーツを行う場所をたずねたところ、「公園、河川敷」が36.5%で最も多く、次いで「民間のスポーツ施設」が26.0%、「自宅」が18.3%、「公立の体育施設」が12.5%と続いている。(図表4-9)

性・年齢別でみると、男性は、10歳代～40歳代で母数は少ないが「自宅」以外の場所が多くなっており、50歳代は「民間のスポーツ施設」が39.5%、60歳以上の年代では「公園、河川敷」が4～5割台で、それぞれ最も多くなっている。

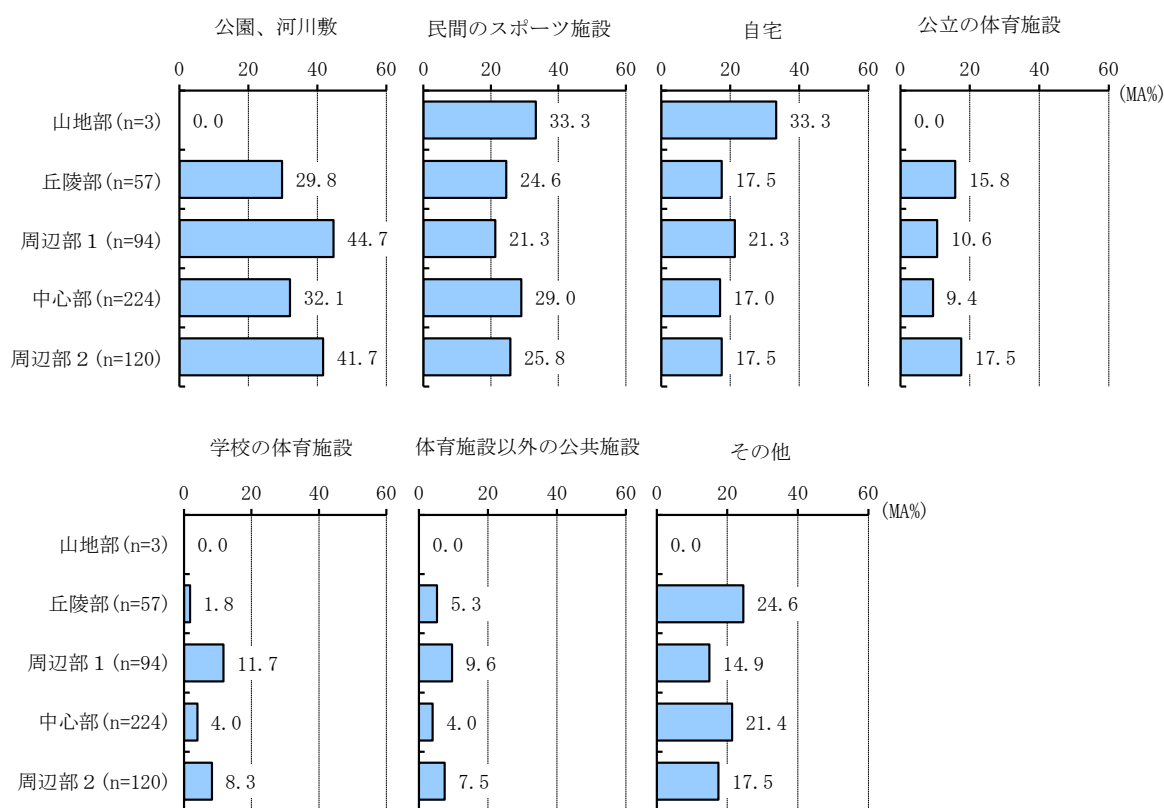
女性では、10歳代～30歳代の母数が少ないので一概には言えないが、10・20歳代は「公立の体育施設」、30歳代は「公園、河川敷」が最も多くなっており、40歳代～60歳代は「民間のスポーツ施設」が最も多く、特に40歳代と50歳代は4割台と高くなっている。60歳以上になると「自宅」が2割台に上昇しており、70歳以上では28.6%と最も多くなっている。(図表4-9-1)

【図表4-9-1 性・年齢別 運動やスポーツを行う場所】



居住地区別でみると、山地部は母数が少ないので一概には言えないが、「民間のスポーツ施設」と「自宅」が同率で最も多くなっている。その他の地区は「公園、河川敷」が最も多く、周辺部1と2は4割台と高くなっている。これに次いで、「民間のスポーツ施設」が2割台と多く、なかでも中心部が29.0%と高くなっており、周辺部1では「自宅」(21.3%)と同率で多くなっている。また、「公立の体育施設」では、周辺部2が17.5%、丘陵部が15.3%で他の地区に比べ高くなっている。「学校の体育施設」では、周辺部1が11.7%で他の地区に比べ高くなっている。(図表4-9-2)

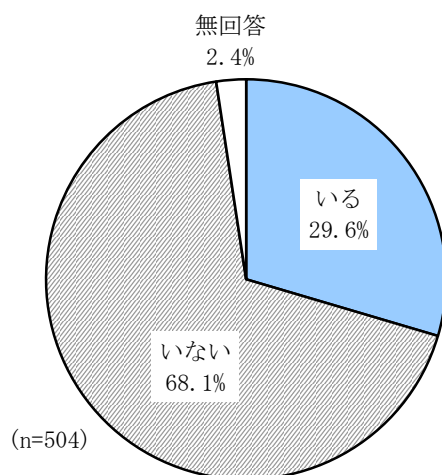
【図表4-9-2 居住地区別 運動やスポーツを行う場所】



(10) 運動やスポーツの指導者の有無

問22. あなたには、ふだん運動やスポーツをする際、指導してくれる人はいますか。
(○は1つ)

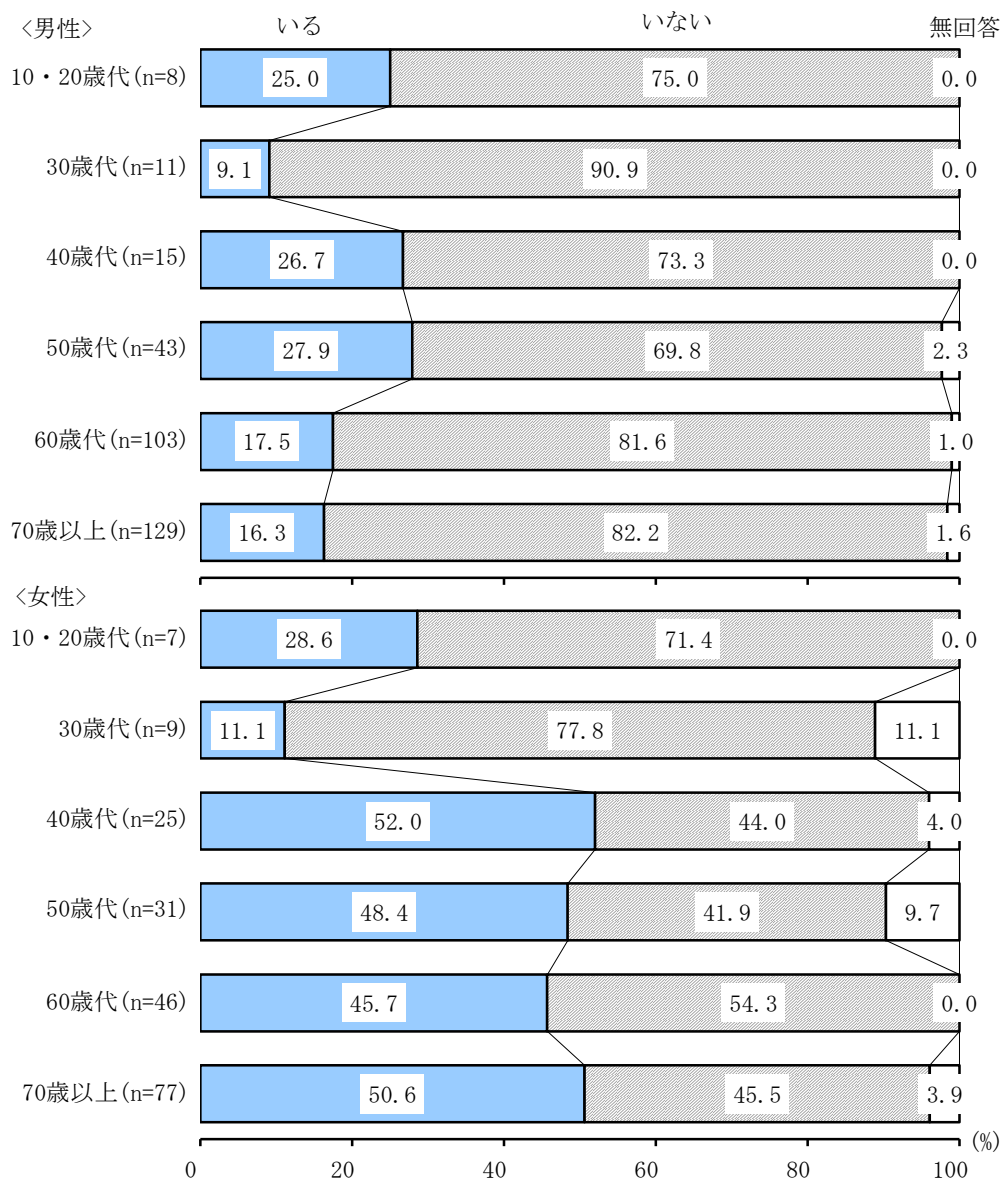
【図表4-10 運動やスポーツの指導者の有無】



月1回以上運動やスポーツをしている人に、運動やスポーツの指導者の有無をたずねたところ、「いる」が29.6%となっている。(図表4-10)

性・年齢別でみると、指導者のいる人は、男性では、50歳代が27.9%で最も高く、60歳以上の年代は16～17%台となっている。女性では、40歳以上の年代で4～5割台を占めており、男性に比べ女性のほうが高くなっている。(図表4-10-1)

【図表4-10-1 性・年齢別 運動やスポーツの指導者の有無】

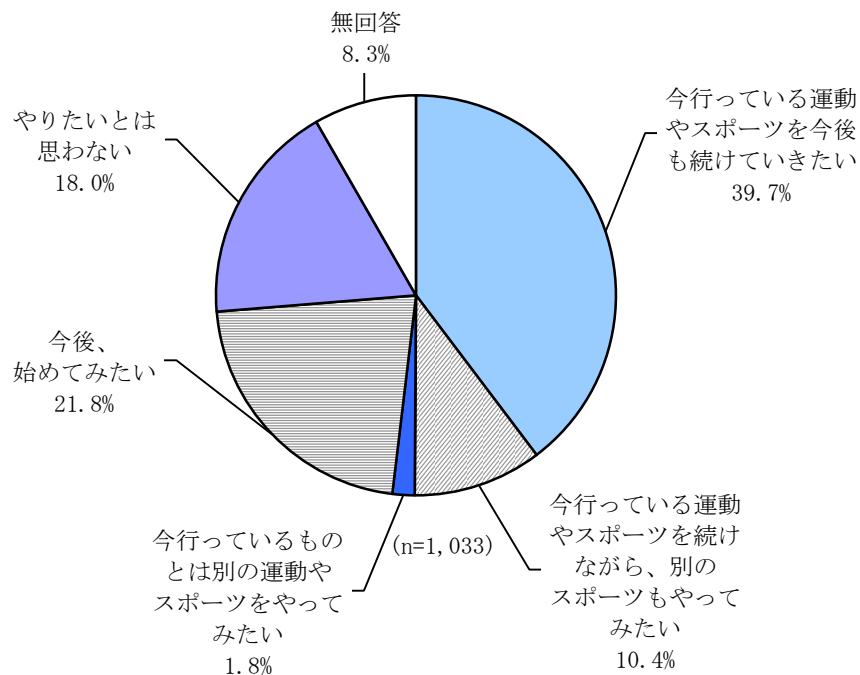


5 今後の運動やスポーツに対する意向について

(1) 運動やスポーツの実施意向

問23. 今後、運動やスポーツをやってみたい（続けていきたい）と思いますか。
(○は1つ)

【図表5-1 運動やスポーツの実施意向】



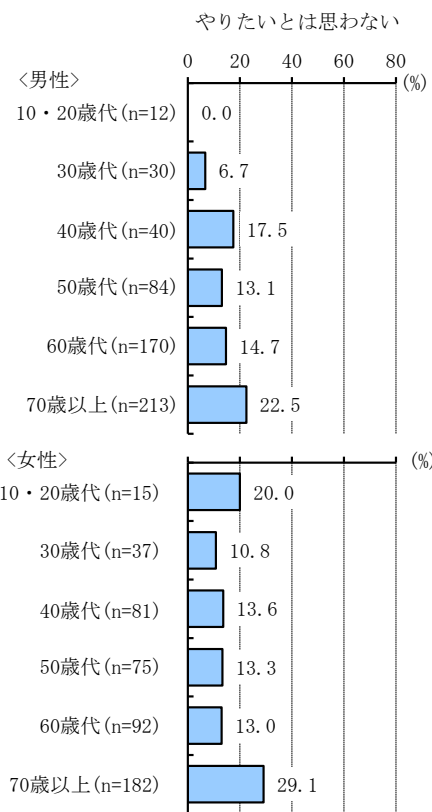
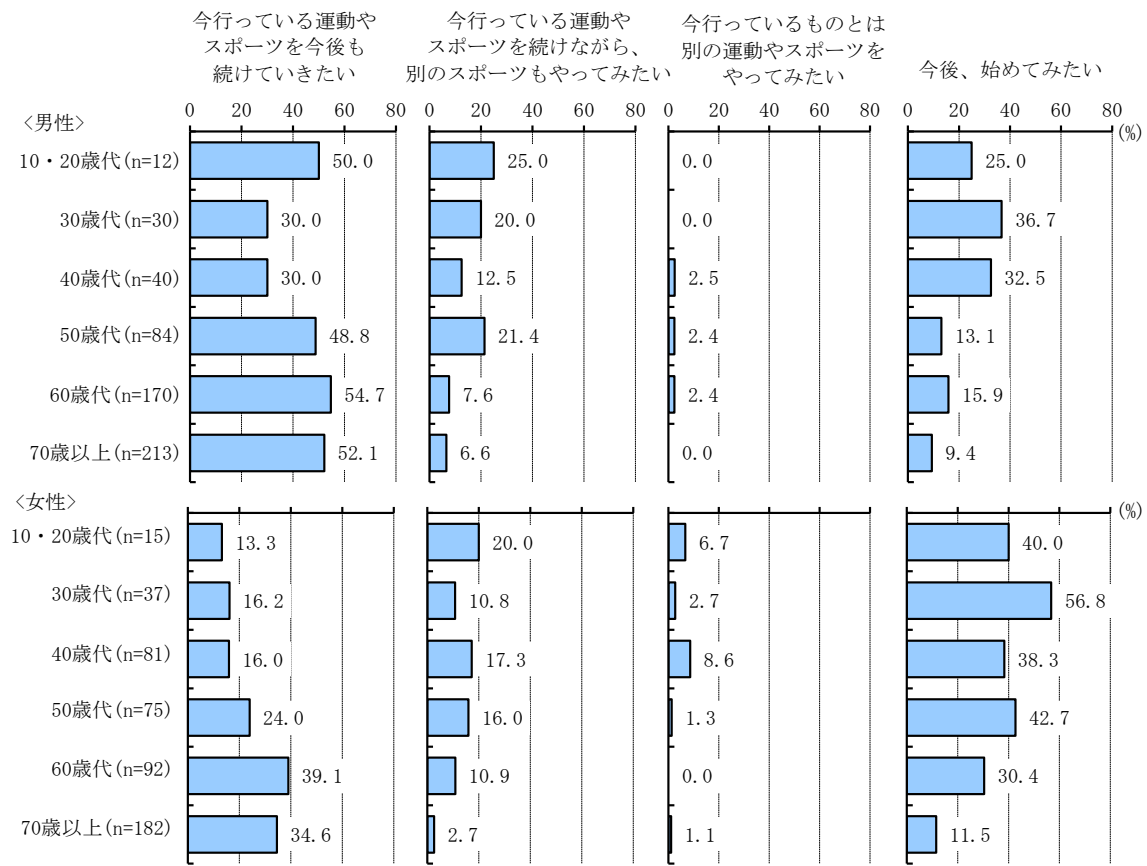
運動やスポーツの実施意向について、「今行っている運動やスポーツを今後も続けていきたい」が39.7%で最も多く、次いで「今後、始めてみたい」が21.8%となっている。一方、「やりたいとは思わない」は18.0%となっている。(図表5-1)

性・年齢別でみると、男性は、10・20歳代の母数が少ないので一概には言えないが、10・20歳代と50歳以上の年代では「今行っている運動やスポーツを今後も続けていきたい」が5割前後で最も多くなっており、30歳代と40歳代では「今後、始めてみたい」が各々36.7%、32.5%で最も多くなっている。

女性では、10歳代～50歳代で「今後、始めてみたい」が最も多く、なかでも30歳代は56.8%と高くなっている。60歳以上になると「今行っている運動やスポーツを今後も続けていきたい」が3割台で最も多くなっている。

一方、「やりたいとは思わない」では、男女ともに70歳以上で2割台となっており、他の年代に比べ高くなっている。(図表5-1-1)

【図表5-1-1 性・年齢別 運動やスポーツの実施意向】

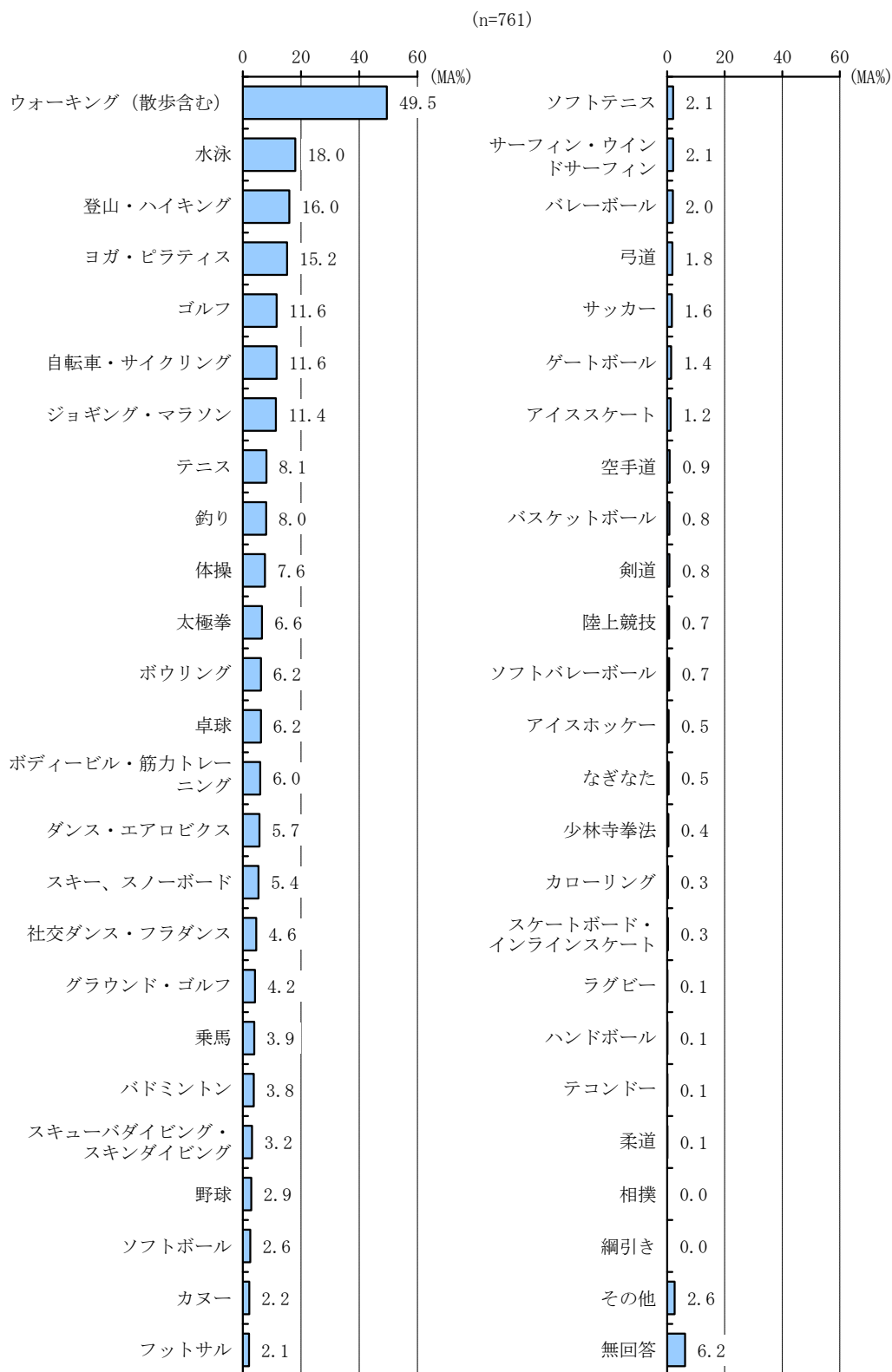


(2) やってみたい運動やスポーツ

【問23で「1.」～「4.」のいずれかを回答した方にうかがいます。】

問24. 今後、やってみたいと思う運動やスポーツは何ですか。(〇はいくつでも)

【図表5-2 やってみたい運動やスポーツ】



今後、運動やスポーツを続けていきたい、または始めてみたい人に、やってみたい運動やスポーツをたずねたところ、「ウォーキング（散歩含む）」が49.5%で最も多く、次いで「水泳」が18.0%、「登山・ハイキング」が16.0%、「ヨガ・ピラティス」が15.2%、「ゴルフ」と「自転車・サイクリング」がともに11.6%、「ジョギング・マラソン」が11.4%と続いている。（図表5-2）

性・年齢別で見ると、男性は、10・20歳代で母数は少ないが「テニス」が最も多く、30歳代で「登山・ハイキング」、40歳以上になると「ウォーキング（散歩含む）」が、それぞれ最も多くなっている。女性と比べると、「ゴルフ」や「釣り」が上位に挙げられている。

女性では、「ヨガ・ピラティス」が、10歳代～40歳代で第1位となっており、50歳代と60歳代は第2位と上位に挙げられている。50歳以上になると「ウォーキング（散歩含む）」が第1位となっており、30歳代と40歳代では第2位となっている。また、「水泳」が各年代で上位に挙げられており、30歳代が37.5%と他の年代に比べ高くなっている。男性と比べると、「ヨガ・ピラティス」や「ダンス・エアロビクス」、「社交ダンス・フラダンス」、「太極拳」、「体操」などが上位に挙げられている。（図表5-2-1）

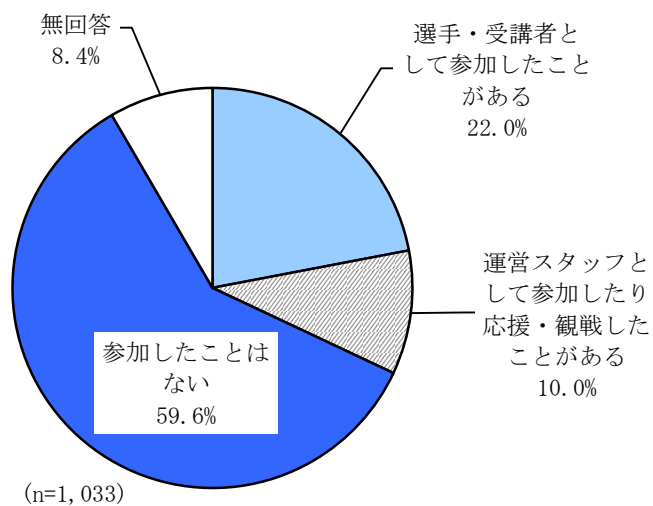
【図表5-2-1 性・年齢別 やってみたい運動やスポーツ（上位5項目）】

		(MA%)				
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	10・20歳代 (n=12)	テニス 41.7	水泳/スキー、スノーボード	33.3	自転車・サイクリング/ソフトテニス	25.0
	30歳代 (n=26)	登山・ハイキング 42.3	ジョギング・マラソン 34.6	ウォーキング（散歩含む）/自転車・サイクリング 26.9	水泳/テニス	19.2
	40歳代 (n=31)	ウォーキング（散歩含む） 25.8	登山・ハイキング 22.6	水泳/ゴルフ/ジョギング・マラソン/釣り		19.4
	50歳代 (n=72)	ウォーキング（散歩含む） 41.7	水泳 25.0	ジョギング・マラソン 20.8	自転車・サイクリング 19.4	ゴルフ 15.3
	60歳代 (n=137)	ウォーキング（散歩含む） 53.3	登山・ハイキング 19.0	ゴルフ 18.2	水泳/釣り	14.6
	70歳以上 (n=145)	ウォーキング（散歩含む） 64.1	ゴルフ 21.4	釣り 13.8	登山・ハイキング/自転車・サイクリング	13.1
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
女性	10・20歳代 (n=12)	ヨガ・ピラティス 58.3	ジョギング・マラソン/スキー、スノーボード/バドミントン	33.3	ウォーキング（散歩含む）/水泳	25.0
	30歳代 (n=32)	ヨガ・ピラティス 59.4	ウォーキング（散歩含む） 43.8	水泳 37.5	ジョギング・マラソン/テニス/バドミントン	18.8
	40歳代 (n=65)	ヨガ・ピラティス 44.6	ウォーキング（散歩含む） 40.0	ダンス・エアロビクス 23.1	水泳 21.5	登山・ハイキング 20.0
	50歳代 (n=63)	ウォーキング（散歩含む） 36.5	ヨガ・ピラティス 28.6	水泳 25.4	登山・ハイキング 15.9	テニス/ダンス・エアロビクス/社交ダンス・フラダンス 12.7
	60歳代 (n=74)	ウォーキング（散歩含む） 58.1	ヨガ・ピラティス 23.0	登山・ハイキング 17.6	水泳/太極拳	16.2
	70歳以上 (n=91)	ウォーキング（散歩含む） 59.3	体操 17.6	水泳/グラウンド・ゴルフ	11.0	卓球 8.8

(3) スポーツの行事への参加経験

問25. 「スポーツ大会」「体育祭」「スポーツ教室」「講習会」などのイベント・行事に参加したことがありますか。(○は主なもの1つ)

【図表5-3 スポーツの行事への参加経験】



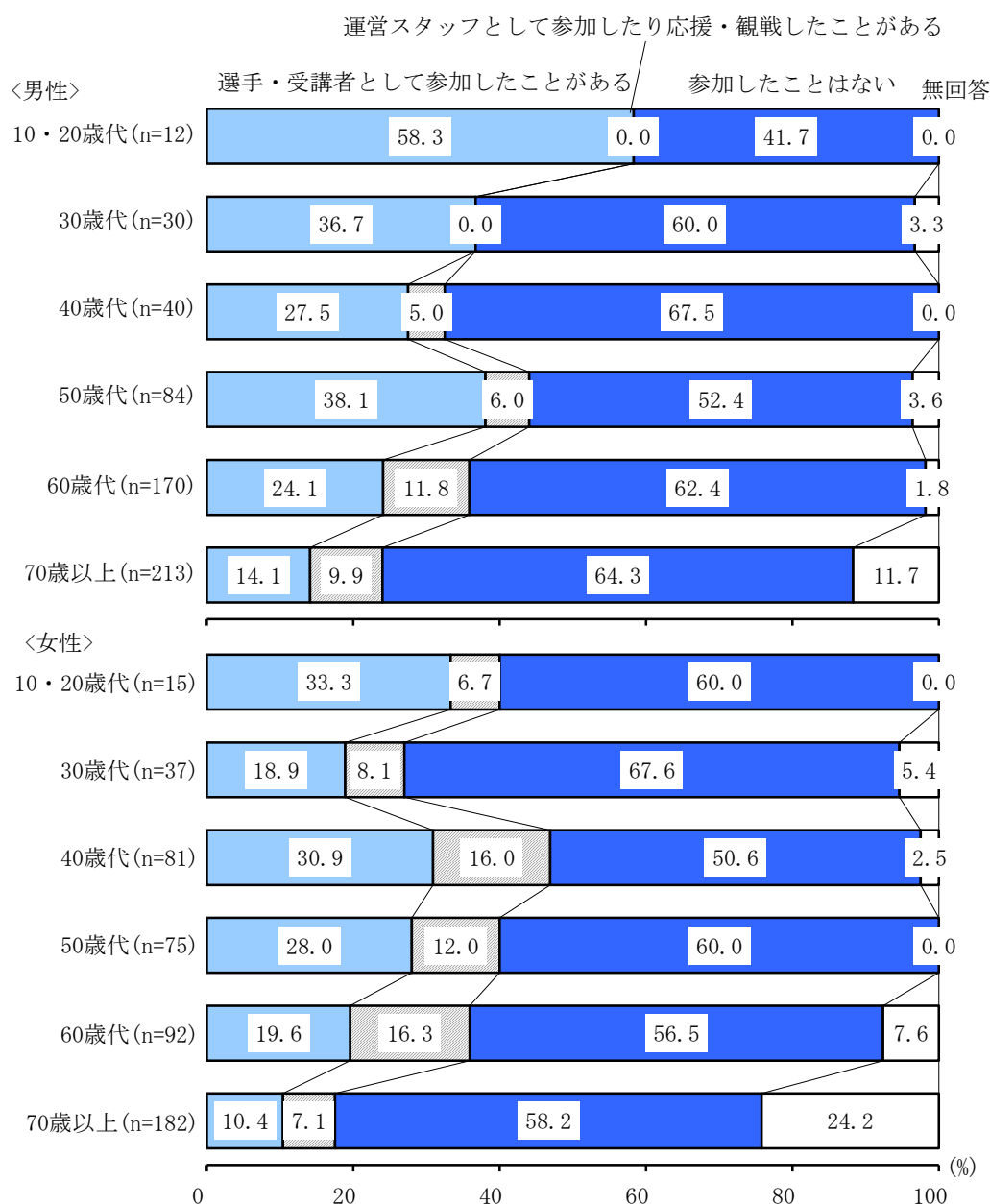
スポーツの行事への参加経験について、「参加したことはない」が59.6%を占めている。参加経験のある人では、「選手・受講者として参加したことがある」が22.0%、「運営スタッフとして参加したり応援・観戦したことがある」は10.0%となっている。(図表5-3)

性・年齢別でみると、男性では、「選手・受講者として参加したことがある」が、10・20歳代で母数は少ないが58.3%（7人）となっており、50歳代は38.1%、30歳代は36.7%と高く、「運営スタッフとして参加したり、応援・観戦したことがある」は、60歳代で11.8%、70歳以上で9.9%となっている。

女性では、「選手・受講者として参加したことがある」が、10・20歳代で母数は少ないが33.3%（5人）となっており、40歳代は30.9%、50歳代は28.0%と高く、「運営スタッフとして参加したり、応援・観戦したことがある」は、40歳代～60歳代で1割台を占めており、40歳代と60歳代が16%台となっている。

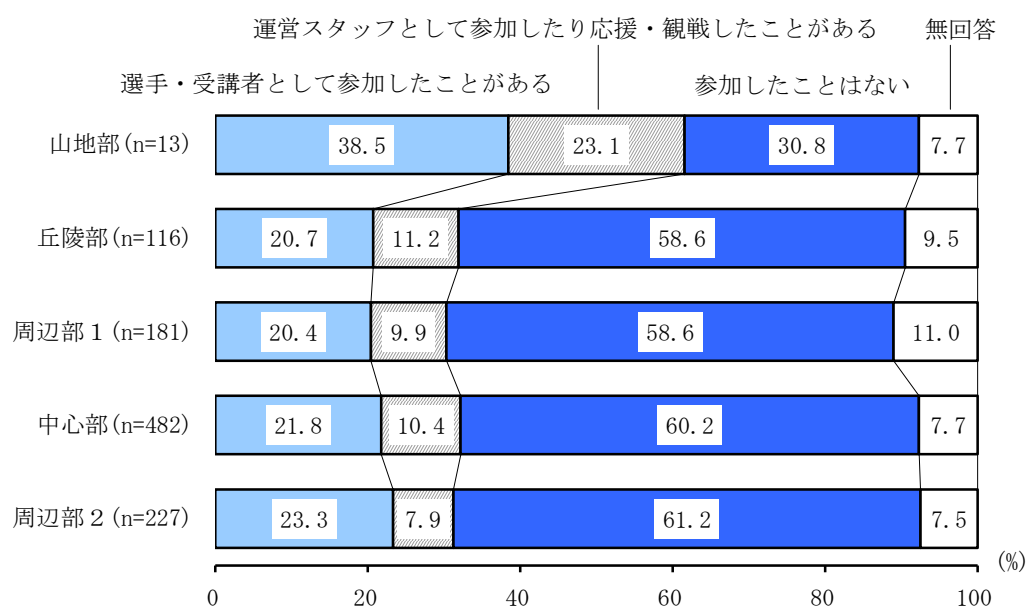
また、「選手・受講者として参加したことがある」は男性のほうが高く、「運営スタッフとして参加したり、観戦したことがある」では女性のほうが高い傾向にある。（図表5-3-1）

【図表5-3-1 性・年齢別 スポーツの行事への参加経験】



居住地区別でみると、「選手・受講者として参加したことがある」では、山地部の母数は少ないので一概に言えないが38.5%（5人）となっており、その他の地区は2割強を占め、そのうち周辺部2が23.3%と高くなっている。「運営スタッフとして参加したり応援・観戦したことがある」では、山地部が23.1%（3人）となっており、丘陵部や周辺部1、中心部では1割前後となっているが、周辺部2は7.9%と低くなっている。（図表5-3-2）

【図表5-3-2 居住地区別 スポーツの行事への参加経験】

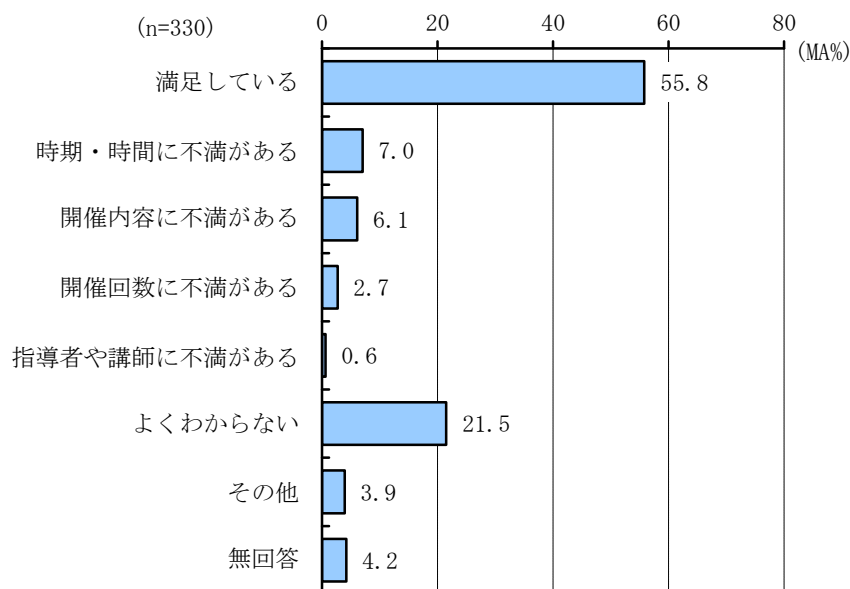


(4) スポーツの行事に対する満足度

【問25で「1. 選手・受講者として参加したことがある」「2. 運営スタッフとして参加したり応援・観戦したことがある」と回答した方にうかがいます。】

問26. 参加して、どのように感じていますか。(〇はいくつでも)

【図表5-4 スポーツの行事に対する満足度】

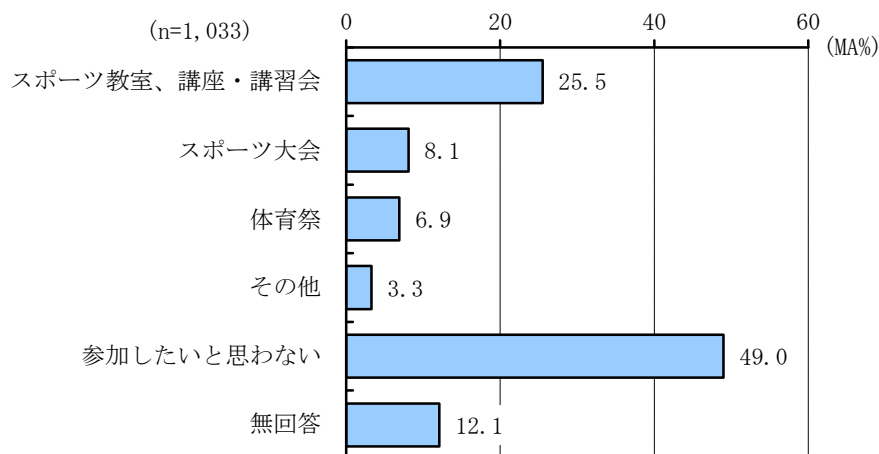


スポーツの行事に参加したことがある人に、行事に参加した満足度をたずねたところ、「満足している」が55.8%で最も多く、次いで「よくわからない」が21.5%となっている。不満がある内容としては、「時期・時間に不満がある」が7.0%、「開催内容に不満がある」が6.1%、「開催回数に不満がある」が2.7%となっている。(図表5-4)

(5) 参加してみたいスポーツの行事

問27. 今後、参加してみたいスポーツの行事はありますか。(〇はいくつでも)

【図表5-5 参加してみたいスポーツの行事】

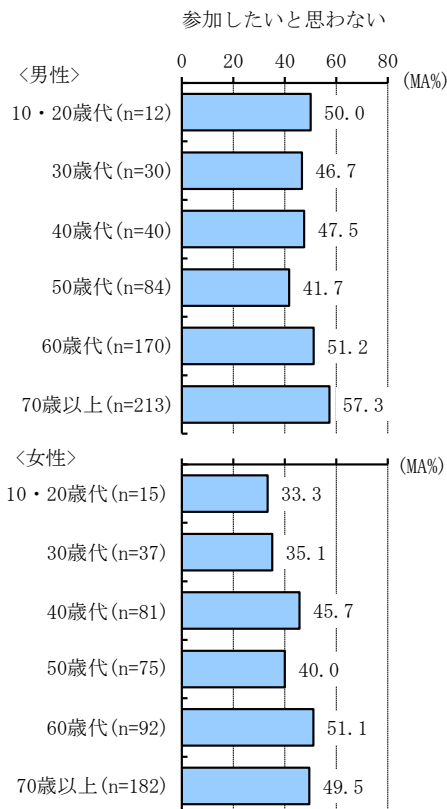
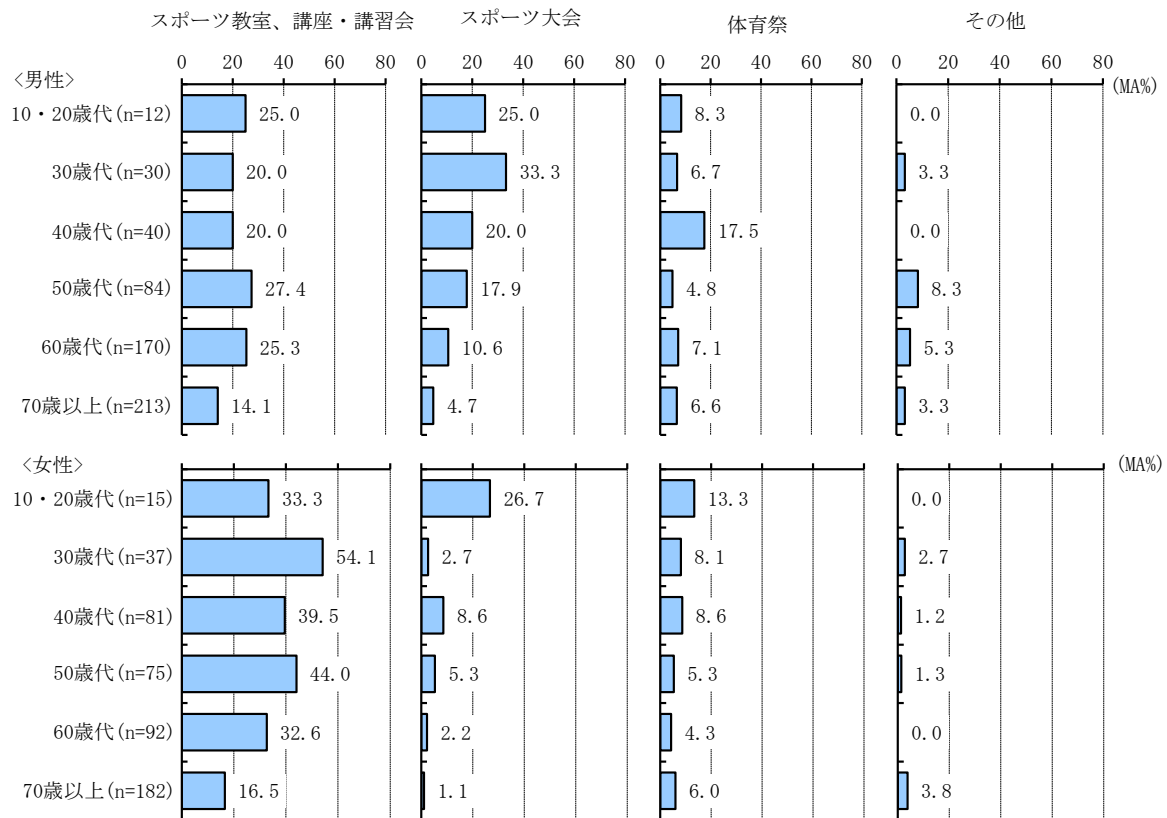


参加してみたいスポーツの行事については、「参加したいと思わない」が49.0%で最も多くなっている。参加してみたい人では、「スポーツ教室、講座・講習会」が25.5%、「スポーツ大会」が8.1%、「体育祭」が6.9%となっている。(図表5-5)

性・年齢別でみると、男性の参加してみたい人は、10・20歳代で母数が少ないが「スポーツ教室、講座・講習会」と「スポーツ大会」がともに25.0%（各3人）で最も多くなっている。30歳代は「スポーツ大会」が33.3%で最も多く、他の年代に比べ高くなっている。40歳代では「スポーツ教室、講座・講習会」と「スポーツ大会」がともに20.0%で最も多く、「体育館」が17.5%と他の年代に比べ高くなっている。50歳以上になると「スポーツ教室、講座・講習会」が最も多く、50歳代は27.4%、60歳代は25.3%と高くなっている。

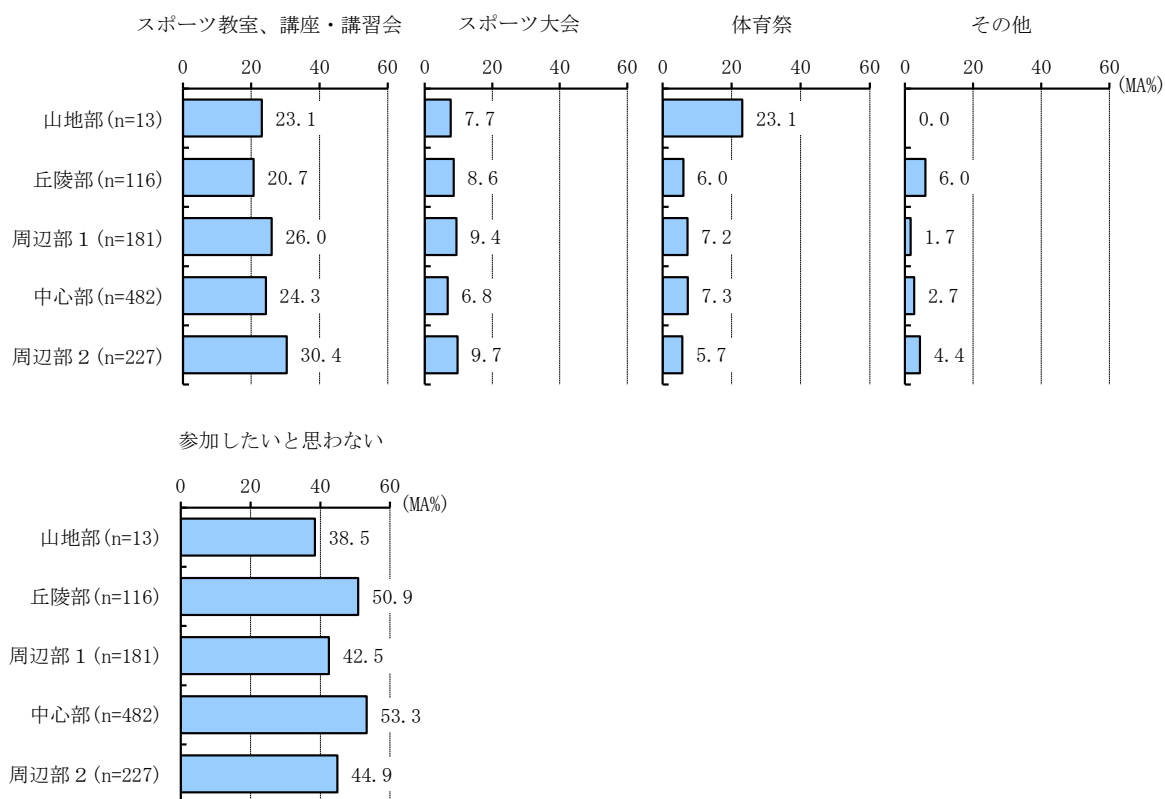
女性の参加してみたい人では、各年代で「スポーツ教室、講座・講習会」が最も多く、なかでも30歳代は54.1%、50歳代は44.0%と高くなっている。(図表5-5-1)

【図表5-5-1 性・年齢別 参加してみたいスポーツの行事】



居住地区別でみると、山地部は母数が少ないので一概には言えないが、「スポーツ教室、講座・講習会」と「体育祭」が同率で最も多くなっている。その他の地区では、「スポーツ教室、講座・講習会」が最も多く、なかでも周辺部2が30.4%と他の地区に比べ高くなっている。(図表5-5-2)

【図表5-5-2 居住地区別 参加してみたいスポーツの行事】

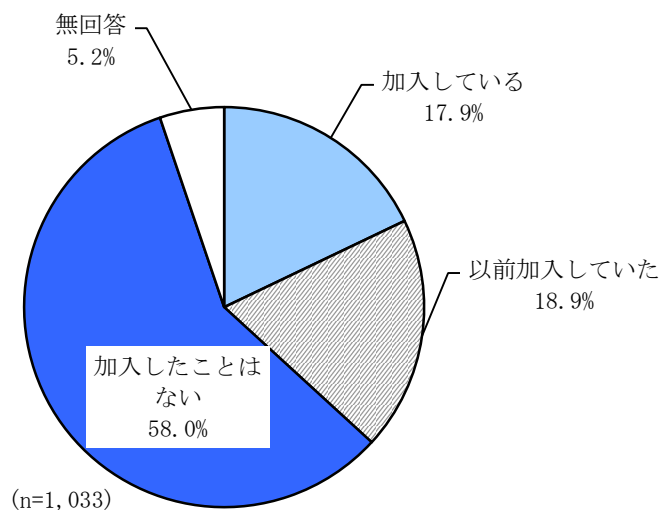


6 スポーツクラブや同好会等への加入状況について

(1) スポーツクラブや同好会への加入状況

問28. 運動やスポーツに関するクラブや同好会などに加入していますか。(○は1つ)

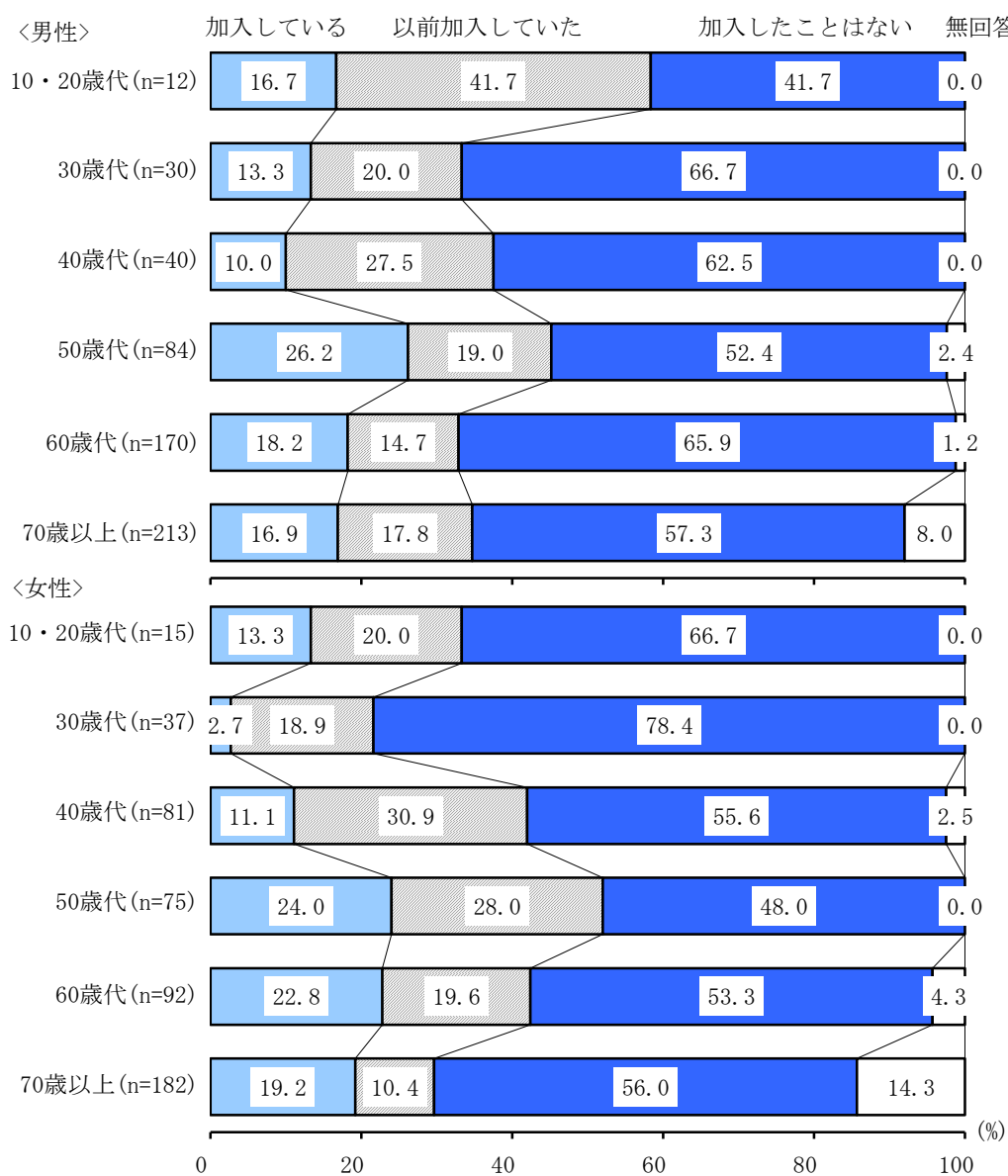
【図表6-1 スポーツクラブや同好会への加入状況】



スポーツクラブや同好会への加入状況について、「加入している」が17.9%、「以前加入していた」は18.9%となっており、「加入したことはない」では58.0%を占めている。(図表6-1)

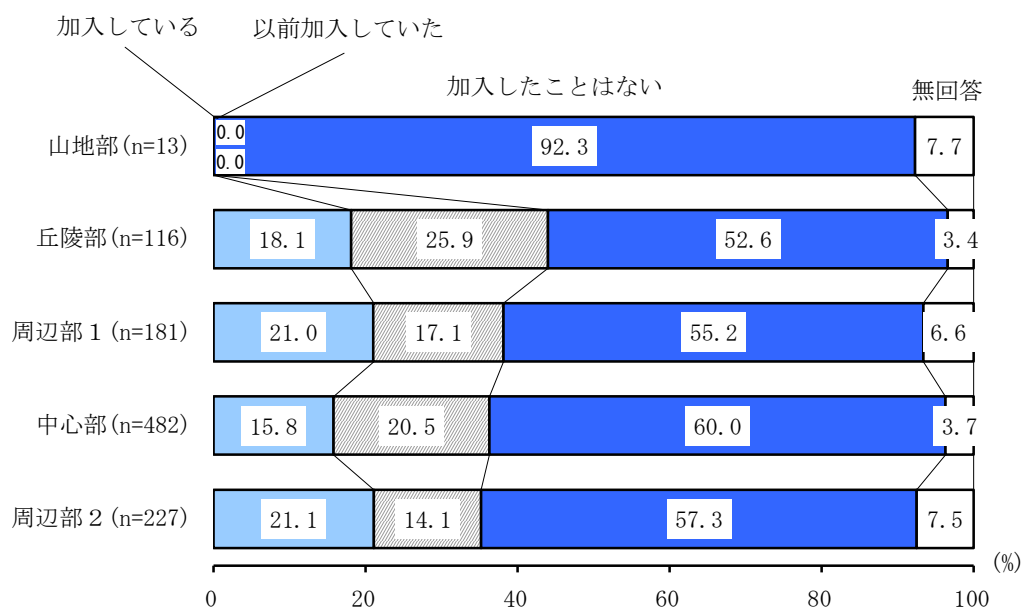
性・年齢別でみると、「加入している」は、男女ともに50歳代が最も高く、男性26.2%、女性24.0%となっている。60歳以上になると、男性は16~18%台、女性は2割前後を占めている。また、男女ともに10歳代~40歳代で、「加入している」より「以前加入していた」のほうが多くなっている。(図表6-1-1)

【図表6-1-1 性・年齢別 スポーツクラブや同好会への加入状況】



居住地区別でみると、「加入している」は、周辺部2が21.1%で最も高く、僅差で周辺部1が21.0%、これに次いで丘陵地が18.1%、中心部が15.8%となっている。また、「以前加入していた」では、丘陵部が25.9%、中心部が20.5%と高く、どちらの地区も「加入している」より多くなっている。(図表6-1-2)

【図表6-1-2 居住地区別 スポーツクラブや同好会への加入状況】

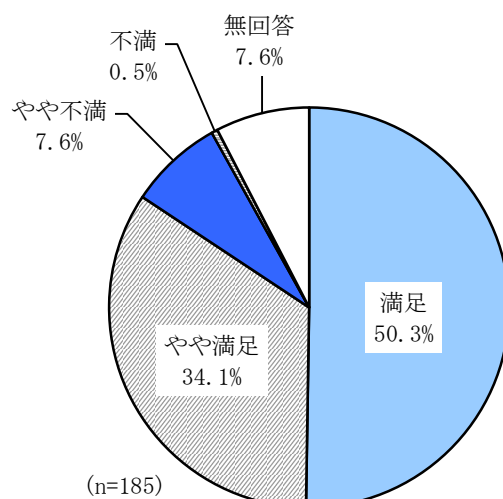


(2) クラブや同好会に対する満足度

【問28で「1. 加入している」と回答した方にお聞きします。】

問29. 加入しているクラブや同好会などに満足していますか。(○は1つ)

【図表6-2 クラブや同好会に対する満足度】

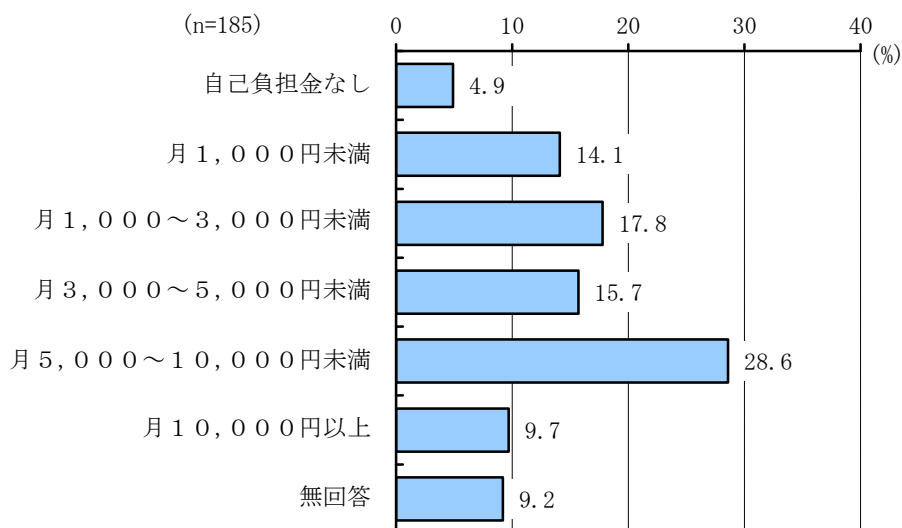


スポーツクラブや同好会に加入している人に、それらの満足度をたずねたところ、「満足」が50.3%で最も多く、次いで「やや満足」が34.1%となっており、両者を合わせた『満足』の割合は84.4%を占めている。(図表6-2)

(3) クラブや教室等加入のための許容負担額

問30. クラブや同好会、教室へ加入する費用として、1か月にどのくらいまでなら負担してもよいと考えていますか。(〇は1つ)

【図表6-3 クラブや教室等加入のための許容負担額】

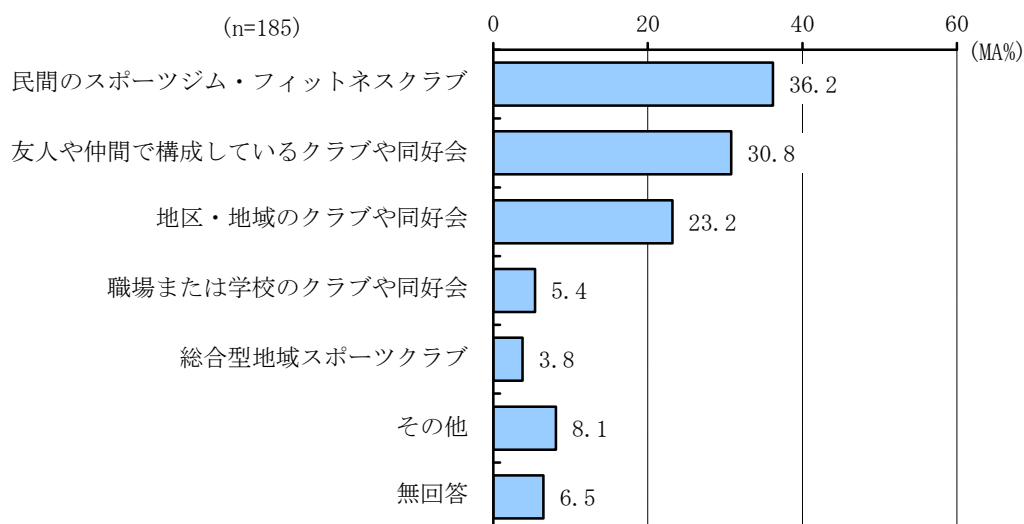


スポーツクラブや同好会に加入している人に、加入のための許容負担額をたずねたところ、「月5,000～10,000円未満」が28.6%で最も多く、次いで「月1,000～3,000円未満」が17.8%、「月3,000～5,000円未満」が15.7%となっている。(図表6-3)

(4) 加入しているクラブや同好会の種類

問31. どのようなクラブや同好会などに加入していますか。(〇はいくつでも)

【図表6-4 加入しているクラブや同好会の種類】



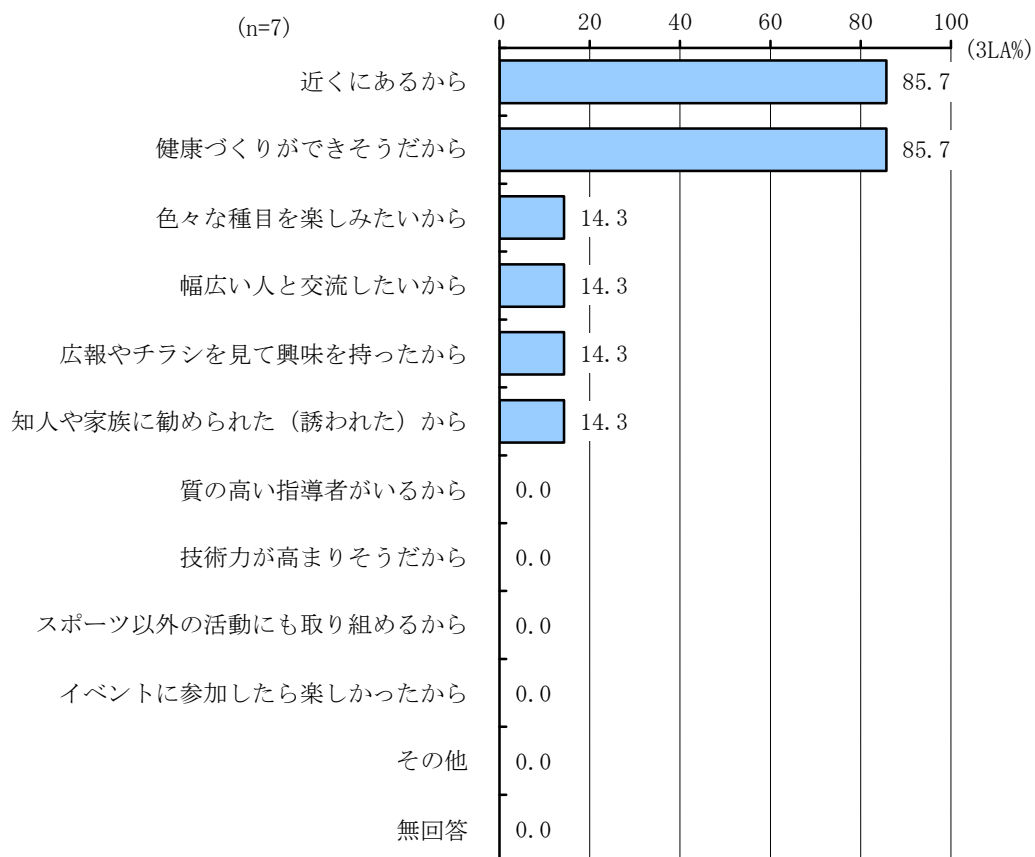
スポーツクラブや同好会に加入している人に、クラブや同好会の種類をたずねたところ、「民間のスポーツジム・フィットネスクラブ」が36.2%で最も多く、次いで「友人や仲間で作成しているクラブや同好会」が30.8%、「地区・地域のクラブや同好会」が23.2%となっており、「総合型地域スポーツクラブ」は3.8%と低くなっている。(図表6-4)

(5) 総合型地域スポーツクラブに入会した理由

【問31で「1. 総合型地域スポーツクラブ」と回答した方にかがいます。】

問32. 「総合型地域スポーツクラブ」に入会した理由は何ですか。(○は3つまで)

【図表6-5 総合型地域スポーツクラブに入会した理由】



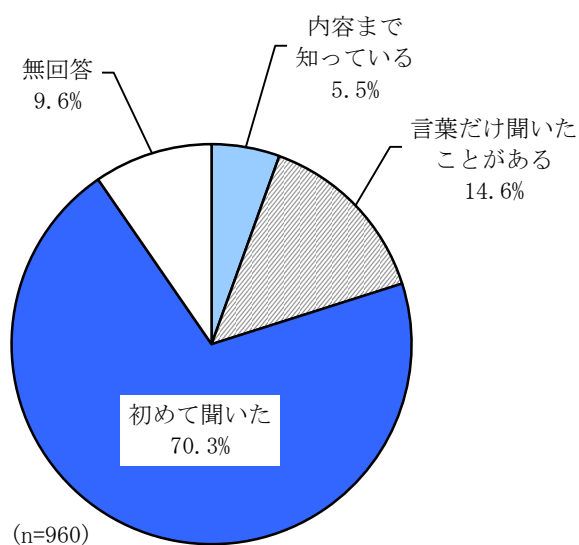
総合型地域スポーツクラブに加入している人(7人)に、入会した理由をたずねたところ、「近くにあるから」と「健康づくりができそうだから」がともに85.7%(各6人)となっている。(図表6-5)

(6) 総合型地域スポーツクラブの認知度

【問28で「2. 以前加入していた」「3. 加入したことはない」と回答した方、又は問31で「2.」から「6.」のいずれかに回答した方にうかがいます。】

問33. 国では、幅広い世代の人々が、興味関心・競技レベルに合わせて、様々なスポーツ機会を提供するため、「総合型地域スポーツクラブ」の育成に取り組んでいますが、このクラブを知っていますか。(○は1つ)

【図表6-6 総合型地域スポーツクラブの認知度】

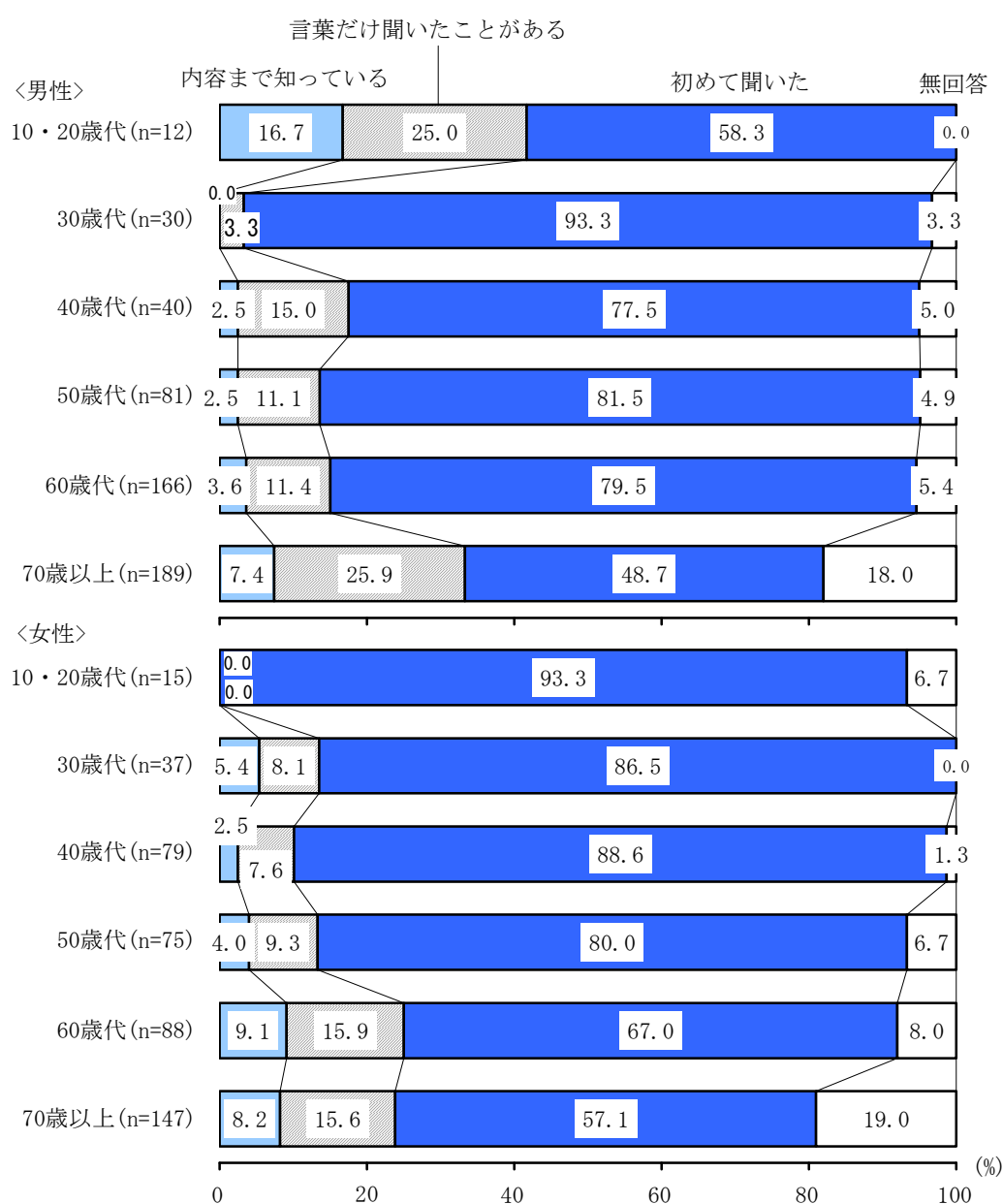


現在、スポーツクラブや同好会に加入していない人や、総合型地域スポーツクラブに入会していない人に、総合型地域スポーツクラブの認知度をたずねたところ、「初めて聞いた」が70.3%を占めており、「言葉だけ聞いたことがある」が14.6%、「内容まで知っている」は5.5%となっている。(図表6-6)

性・年齢別で見ると、男性は、10・20歳代で母数は少ないが「内容まで知っている」が16.7%（2人）、「言葉だけ聞いたことがある」は25.0%（3人）となっている。「内容まで知っている」は、30歳以上の年代で1割未満と低く、そのうち70歳以上が7.4%で高くなっている。「言葉だけ聞いたことがある」では、30歳代が3.3%、40歳代～60歳代は1割台となっており、70歳以上では25.9%と高くなっている。

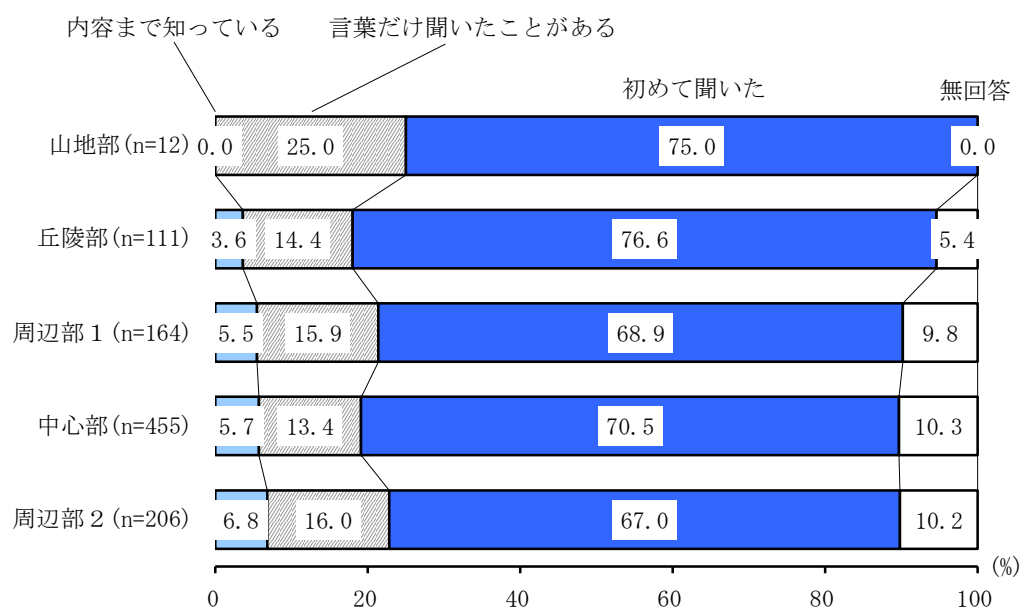
女性では、「内容まで知っている」は、60歳代が9.1%で最も高く、次いで70歳以上が8.2%となっている。「言葉だけ聞いたことがある」では、60歳以上の年代で15%台となっている。（図表6-6-1）

【図表6-6-1 性・年齢別 総合型地域スポーツクラブの認知度】



居住地区別でみると、「内容まで知っている」は、周辺部2が6.8%で最も高く、次いで中心部が5.7%、周辺部1が5.5%、丘陵部が3.6%となっている。「言葉だけ聞いたことがある」では、山地部の母数は少ないので一概に言えないが25.0%（3人）と高く、その他の地区では13～16%台を占めている。（図表6-6-2）

【図表6-6-2 居住地区別 総合型地域スポーツクラブの認知度】

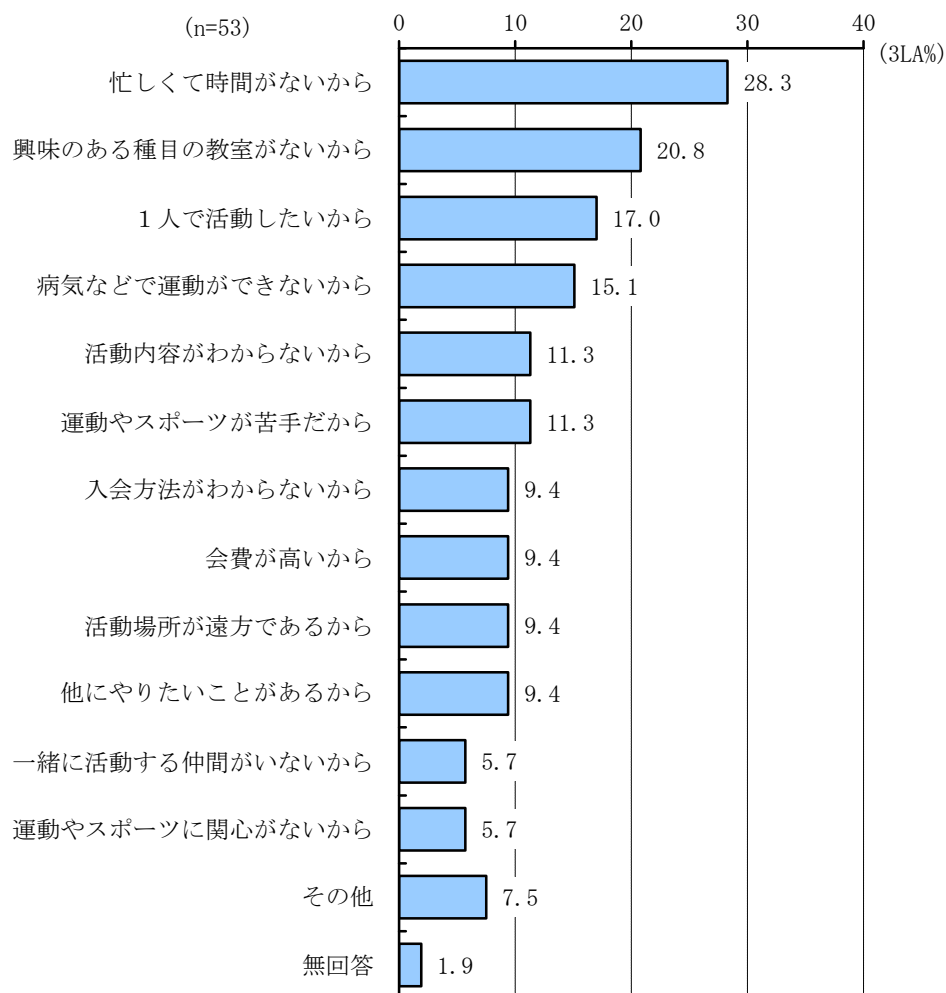


(7) 総合型地域スポーツクラブに入会していない理由

【問33で「1. 内容まで知っている」と回答した方にうかがいます。】

問34. 「総合型地域スポーツクラブ」に入会していない理由は何ですか。(〇は3つまで)

【図表6-7 総合型地域スポーツクラブに入会していない理由】

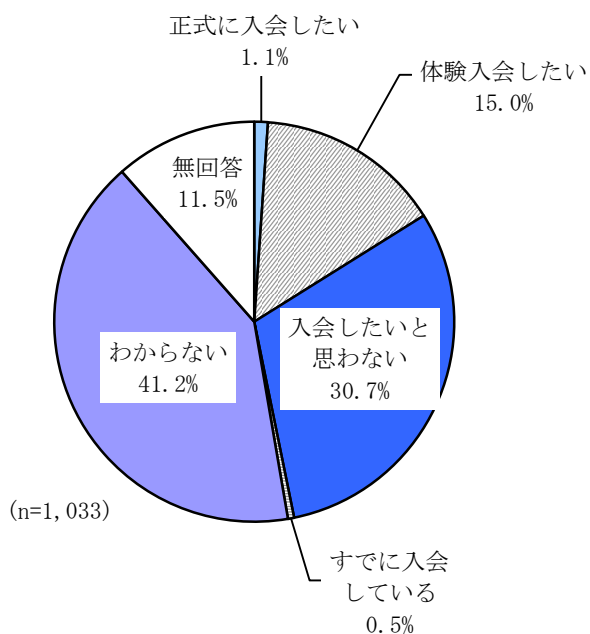


総合型地域スポーツクラブに入会していないが内容まで知っている人に、入会していない理由をたずねたところ、「忙しくて時間がないから」が28.3%で最も多く、次いで「興味のある種目の教室がないから」が20.8%、「1人で活動したいから」が17.0%と続いている。(図表6-7)

(8) 総合型地域スポーツクラブへの入会意向

問35. あなたは、今後、「総合型地域スポーツクラブ」に入会したいと思いますか。
(○は1つ)

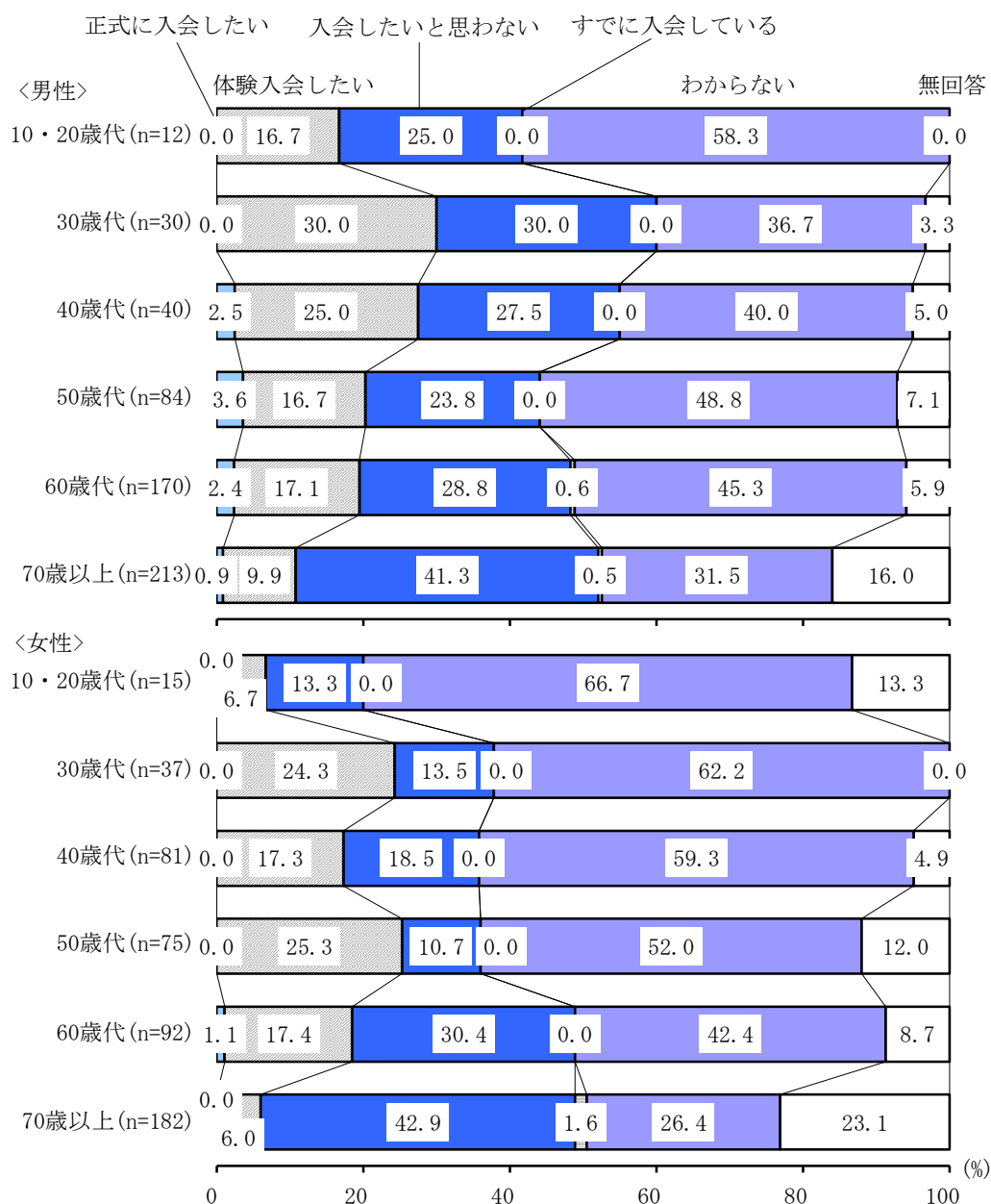
【図表6-8 総合型地域スポーツクラブへの入会意向】



総合型地域スポーツクラブへの入会意向については、「わからない」が41.2%で最も多く、次いで「入会したいと思わない」が30.7%、「体験入会したい」が15.0%、「正式に入会したい」は1.1%となっている。(図表6-8)

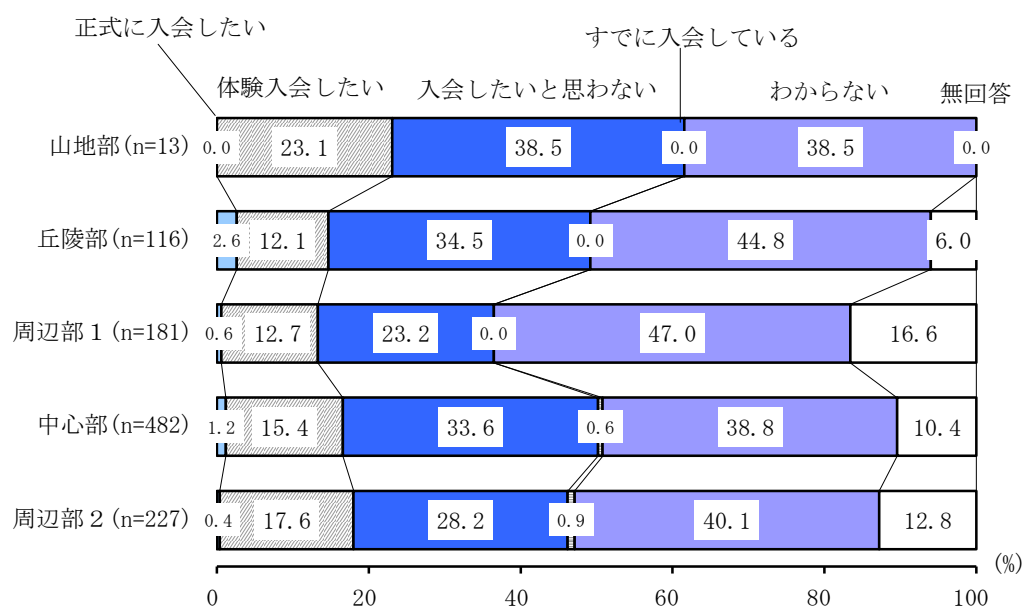
性・年齢別でみると、「正式に入会したい」が、男性は50歳代で3.6%、40歳代で2.5%、60歳代で2.4%となっており、女性では60歳代の1.1%のみとなっている。「体験入会したい」は、男性で30歳代が30.0%、40歳代が25.0%となっており、女性では50歳代が25.3%、30歳代が24.3%となっている。一方、「入会したいとは思わない」では、男女とも70歳以上が4割台を占めている。(図表6-8-1)

【図表6-8-1 性・年齢別 総合型地域スポーツクラブへの入会意向】



居住地区別でみると、「正式に入会したい」は、丘陵部が2.6%で最も高く、次いで中止部が1.2%となっている。「体験入会したい」では、山地部は母数が少ないので一概に言えないが23.1%（3人）と高く、周辺部2は17.6%、中心部は15.4%、丘陵部と周辺部1は12%台となっている。一方、「入会したいと思わない」は、山地部や丘陵部、中心部で3割台と高くなっている。（図表6-8-2）

【図表6-8-2 居住地区別 総合型地域スポーツクラブへの入会意向】

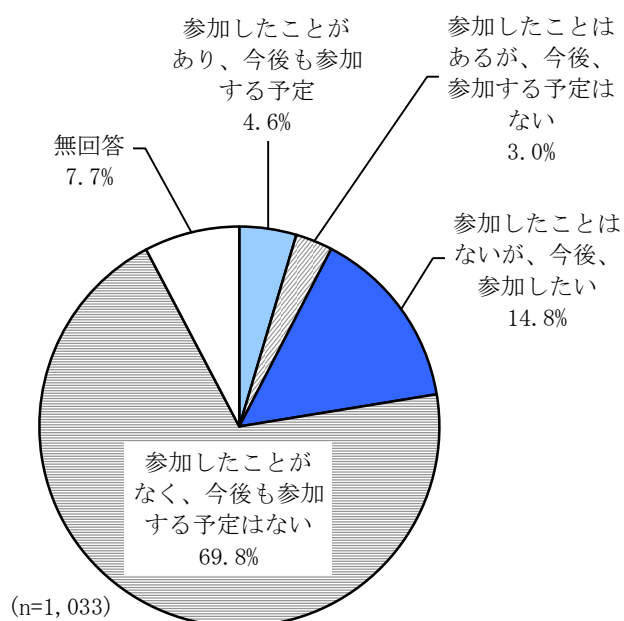


7 スポーツに関わるボランティア活動について

(1) スポーツに関わるボランティア活動への参加経験

問36. 過去1年間に運動・スポーツに関わるボランティア活動に参加したことがありますか。(〇は1つ)

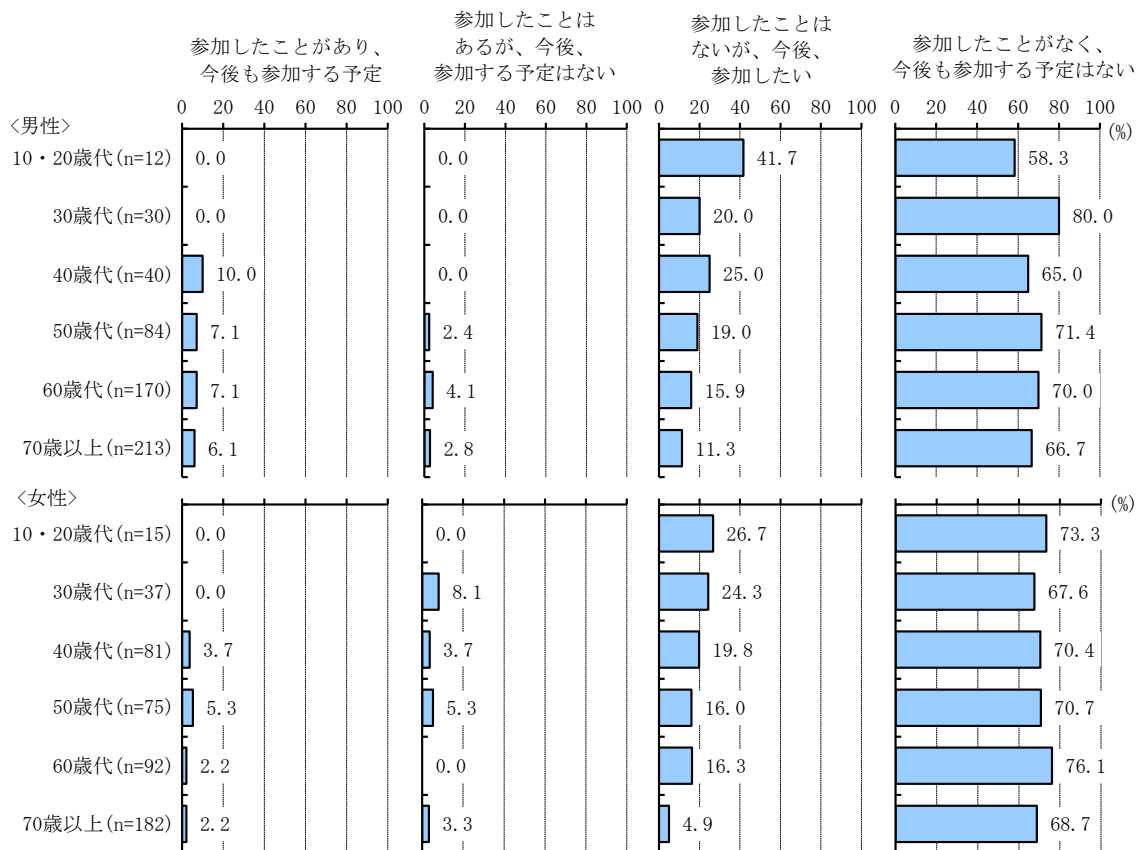
【図表7-1 スポーツに関わるボランティア活動への参加経験】



スポーツに関わるボランティア活動への参加経験について、「参加したことがなく、今後も参加する予定はない」が69.8%で最も多く、次いで「参加したことはないが、今後、参加したい」が14.8%となっている。「参加したことがあり、今後も参加する予定」が4.6%、「参加したことはあるが、今後、参加する予定はない」は3.0%となっており、両者を合わせた参加経験のある人は、7.6%となっている。(図表7-1)

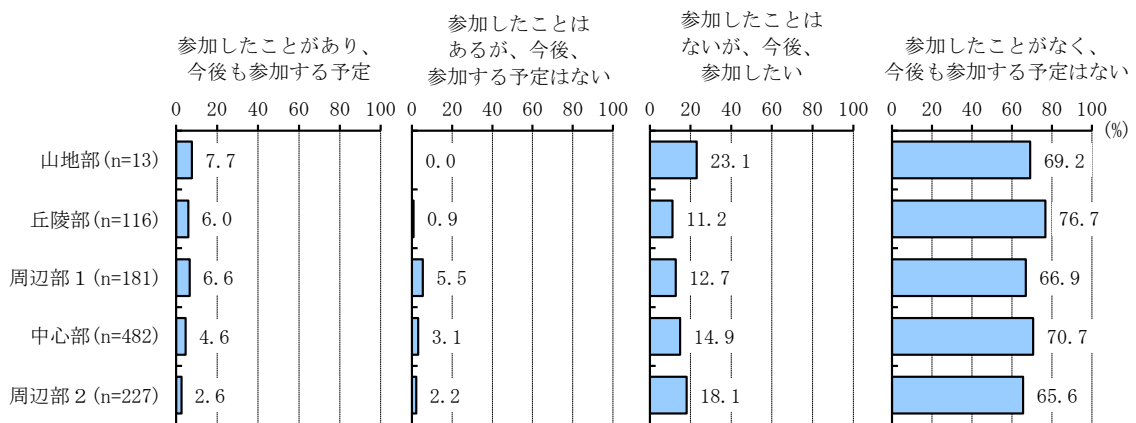
性・年齢別でみると、男女ともに各年代で「参加したことがなく、今後も参加する予定はない」が過半数を占めているが、「参加したことはないが、今後、参加したい」では若い年代ほど割合が高くなっている。また、「参加したことがあり、今後も参加する予定」では女性より男性のほうが高くなっている。(図表7-1-1)

【図表7-1-1 性・年齢別 スポーツに関わるボランティア活動への参加経験】



居住地区別でみると、いずれの地区も「参加したことがなく、今後も参加する予定はない」が過半数を占めている。「参加したことはないが、今後、参加したい」では、山地部は母数が少ないので一概に言えないが23.1%（3人）と高くなっており、周辺部2が18.1%と他の地区に比べ高くなっている。（図表7-1-2）

【図表7-1-2 居住地区別 スポーツに関わるボランティア活動への参加経験】

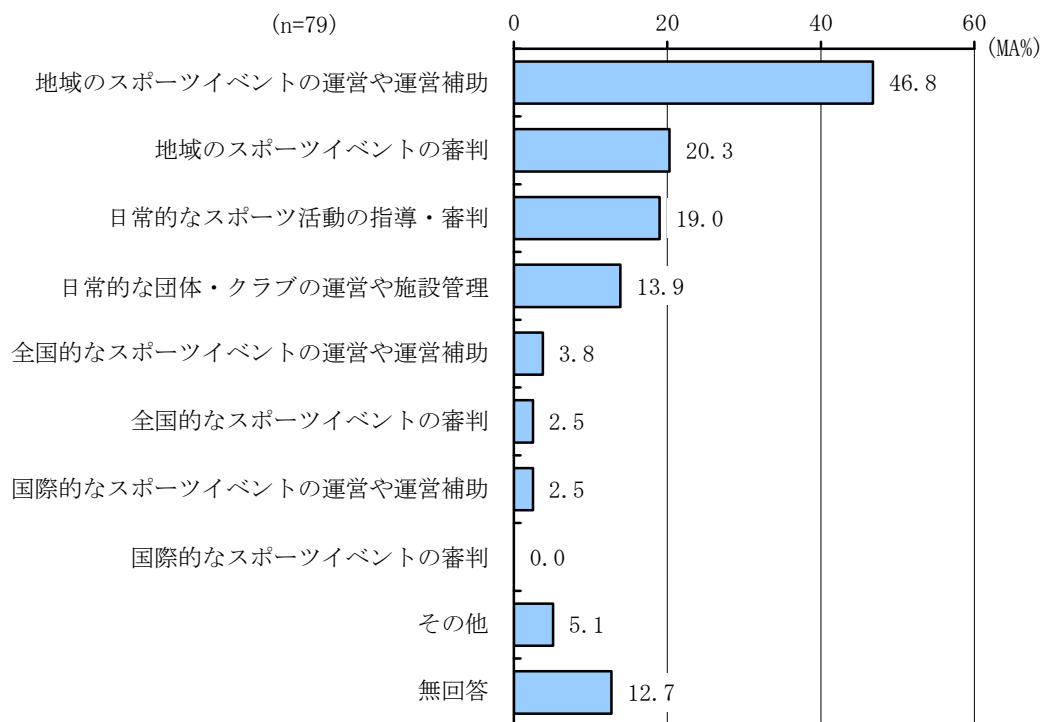


(2) 参加経験のあるボランティア活動

【問36で「参加したことがある」と回答した方にうかがいます。】

問37. 参加したことがあるボランティア活動は何ですか。(〇はいくつでも)

【図表7-2 参加経験のあるボランティア活動】

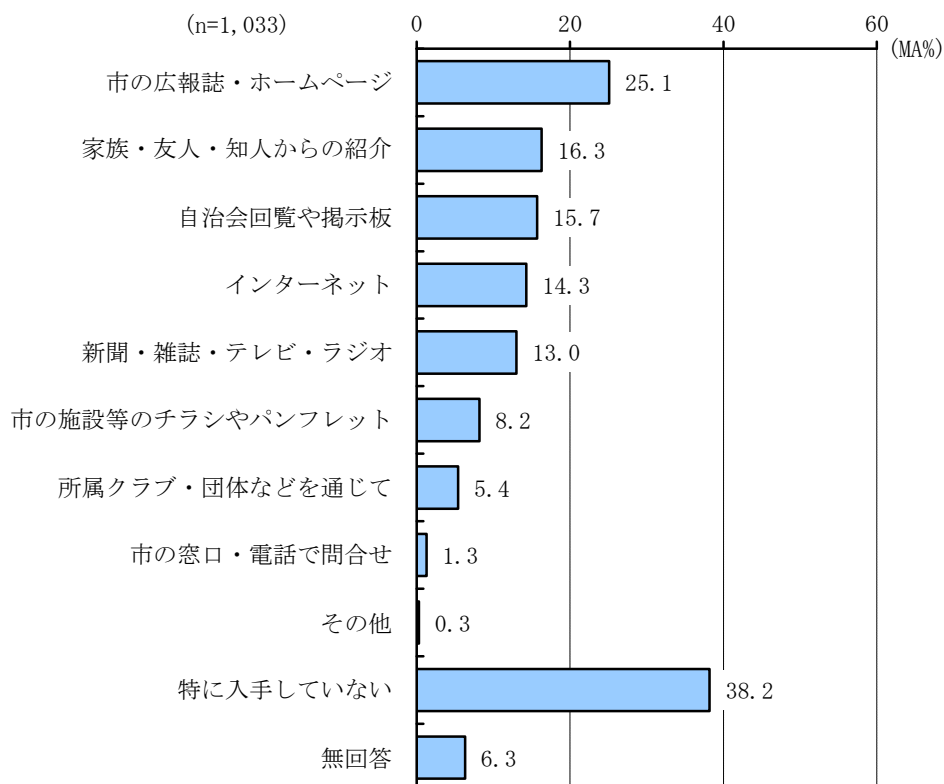


スポーツに関わるボランティア活動の参加経験がある人に、経験したボランティア活動をたずねたところ、「地域のスポーツイベントの運営や運営補助」が46.8%で最も多く、次いで「地域のスポーツイベントの審判」が20.3%、「日常的なスポーツ活動の指導・審判」が19.0%、「日常的な団体・クラブの運営や施設管理」が13.9%となっている。(図表7-2)

8 運動やスポーツに関する情報の入手先

問38. 運動やスポーツに参加するための情報をどのようにして入手していますか。
(〇はいくつでも)

【図表8 運動やスポーツに関する情報の入手先】

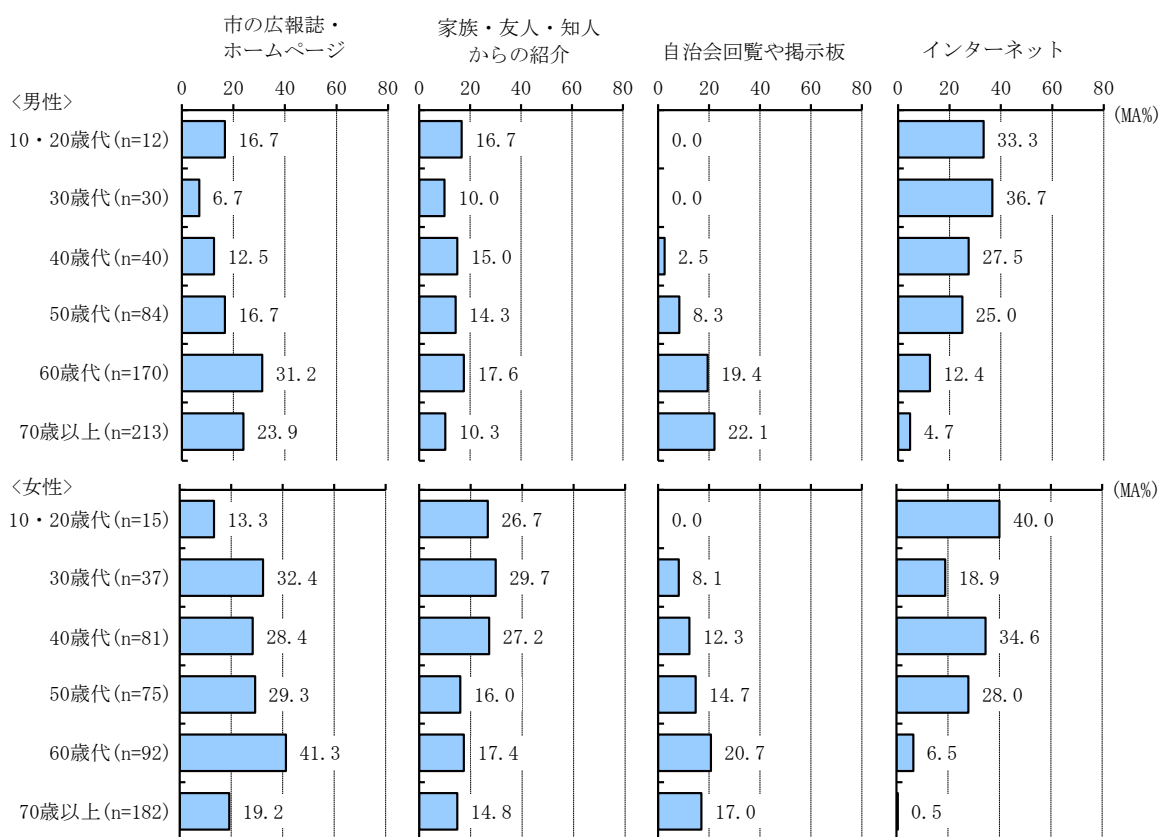


運動やスポーツに関する情報の入手先については、「特に入手していない」が38.2%で最も多くなっている。入手している人では、「市の広報誌・ホームページ」が25.1%で最も多く、次いで「家族・友人・知人からの紹介」が16.3%、「自治会回覧板や掲示板」が15.7%、「インターネット」が14.3%、「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」が13.0%と続いている。(図表8)

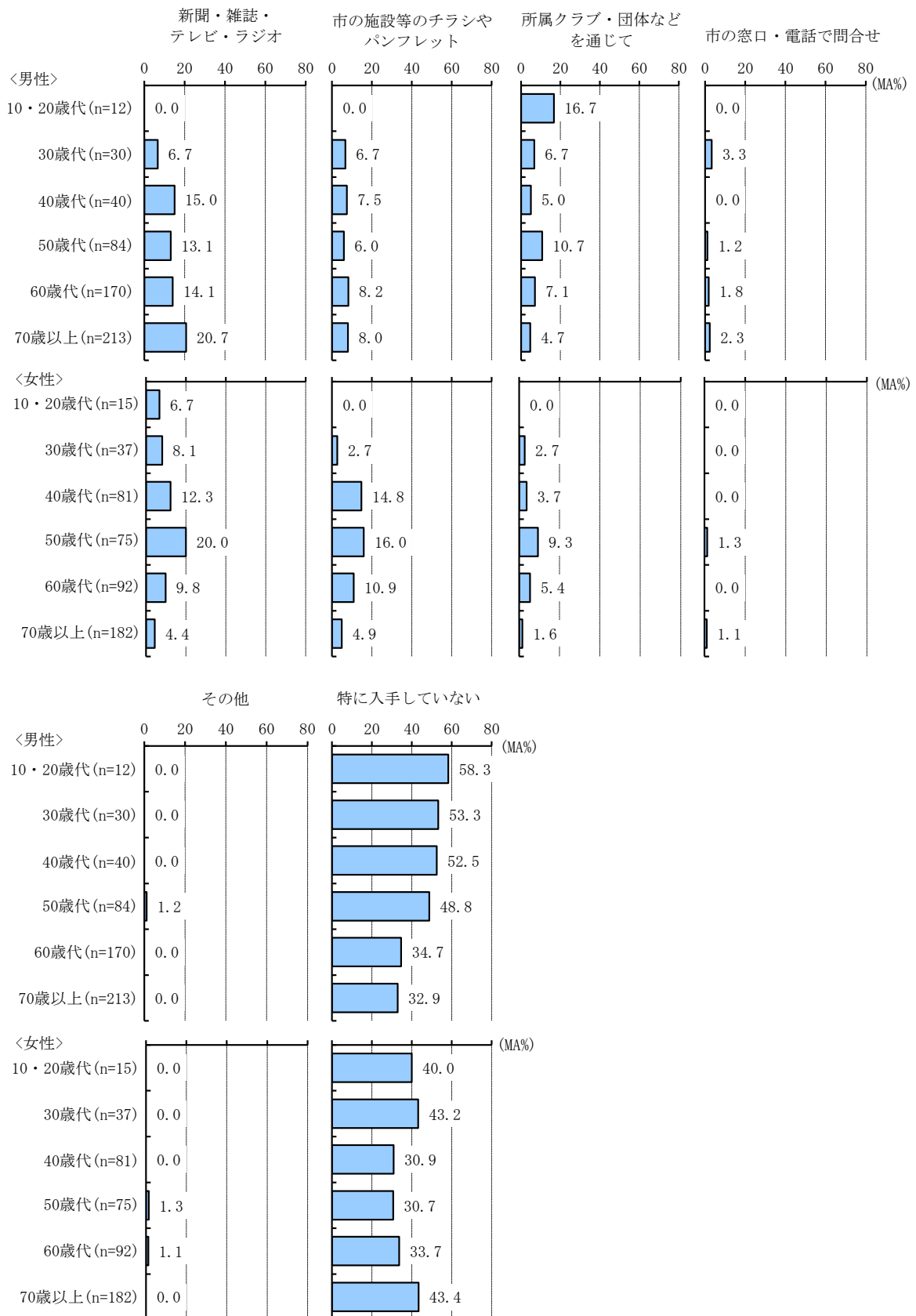
性・年齢別でみると、男性は、10歳代～50歳代で「インターネット」が2～3割台で最も多くなっており、他の情報入手先の割合が低くなっている。60歳以上になると「市の広報誌・ホームページ」が最も多く、特に60歳代は31.2%と高くなっている。また、「自治会回覧や掲示板」では、60歳以上の年代で2割前後となっており、「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」では、70歳以上が20.7%で他の年代に比べ高くなっている。

女性では、10・20歳代と40歳代は「インターネット」、30歳代と50歳以上の年代では「市の広報誌・ホームページ」が、それぞれ最も多くなっている。また、「市の広報誌・ホームページ」では、30歳代～50歳代で3割前後、60歳代で41.3%と高くなっている。「家族・友人・知人からの紹介」では、10歳代～40歳代が3割弱に対し、50歳以上になると1割台に低下している。「インターネット」では、10歳代～50歳代で多くなっているが、30歳代はそのうちの年代では低くなっている。「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」では、50歳代が20.0%で他の年代に比べ高くなっている。(図表8-1)

【図表8-1 性・年齢別 運動やスポーツに関する情報の入手先①】

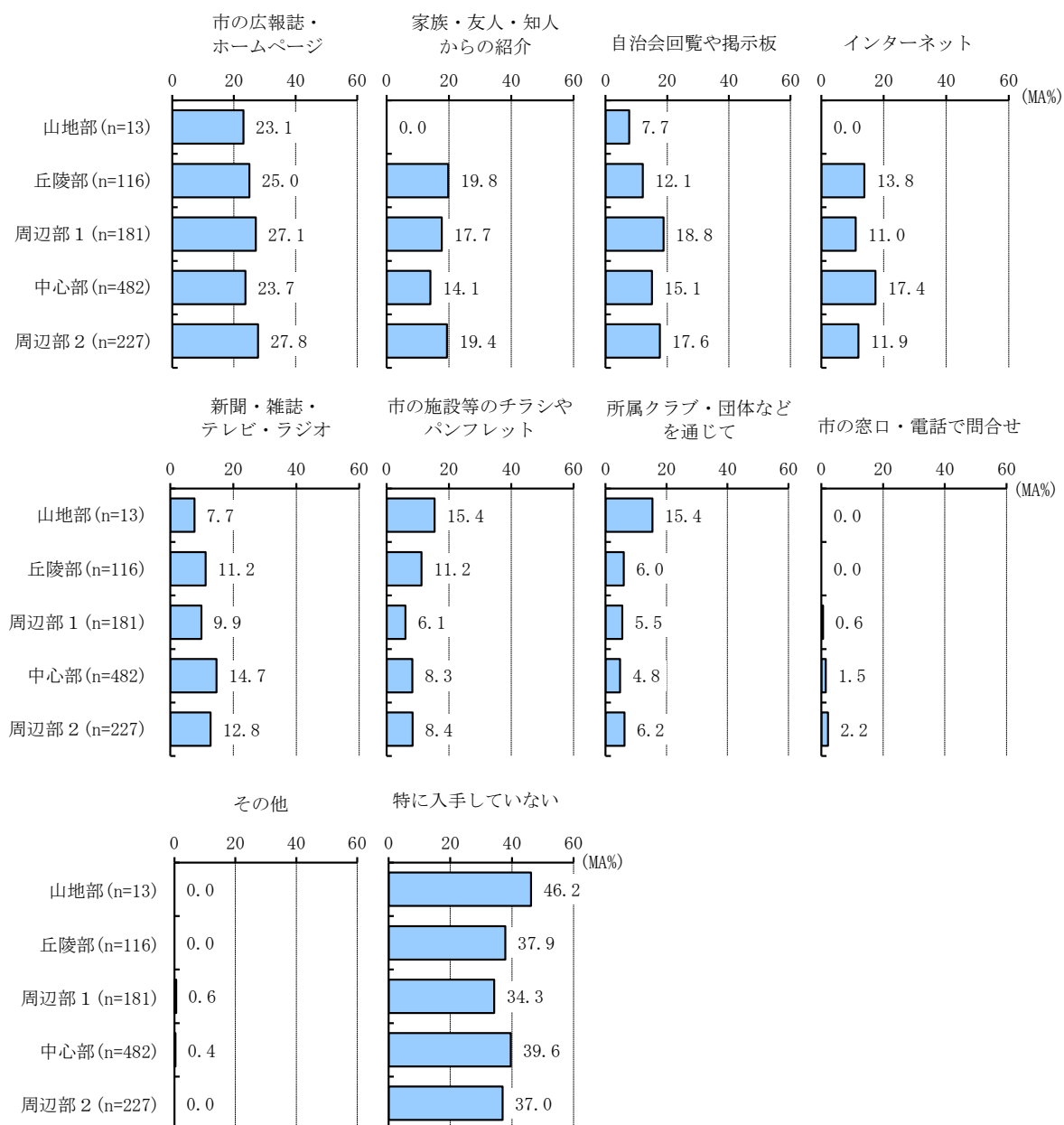


【図表8-1 性・年齢別 運動やスポーツに関する情報の入手先②】



居住地区別でみると、いずれの地区も「市の広報誌・ホームページ」が2割台で最も多くなっている。これに次いで、山地部は「市の施設等のチラシやパンフレット」と「所属クラブ・団体などを通じて」がともに15.4%（2人）、丘陵部と周辺部2は「家族・友人・知人からの紹介」でともに19%台、周辺部1は「自治会回覧や掲示版」が18.8%、中心部では「インターネット」が17.4%で、それぞれ多くなっている。（図表8-2）

【図表8-2 居住地区別 運動やスポーツに関する情報の入手先】

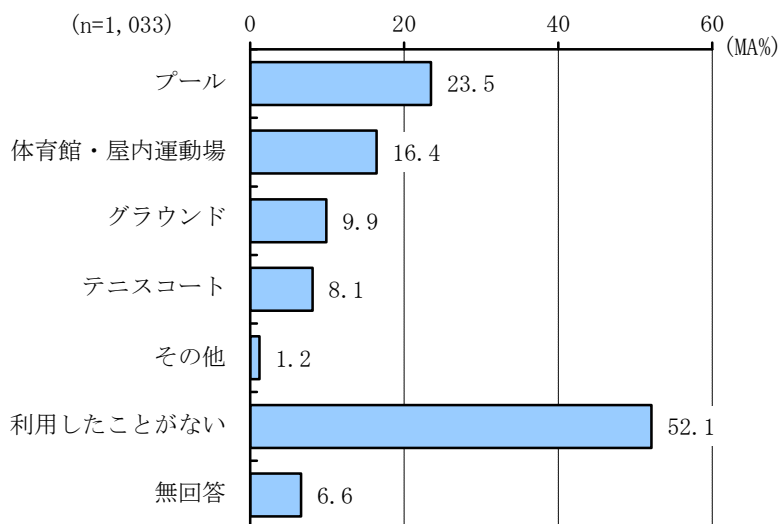


9 市が管理・運営する公共のスポーツ施設について

(1) 公共スポーツ施設の利用状況

問39. 今まで、市が管理・運営する公共スポーツ施設（学校体育施設を除く）を利用されたことがある場合、次のうち、どの施設を利用されましたか。
(○はいくつでも)

【図表9-1 公共スポーツ施設の利用状況】



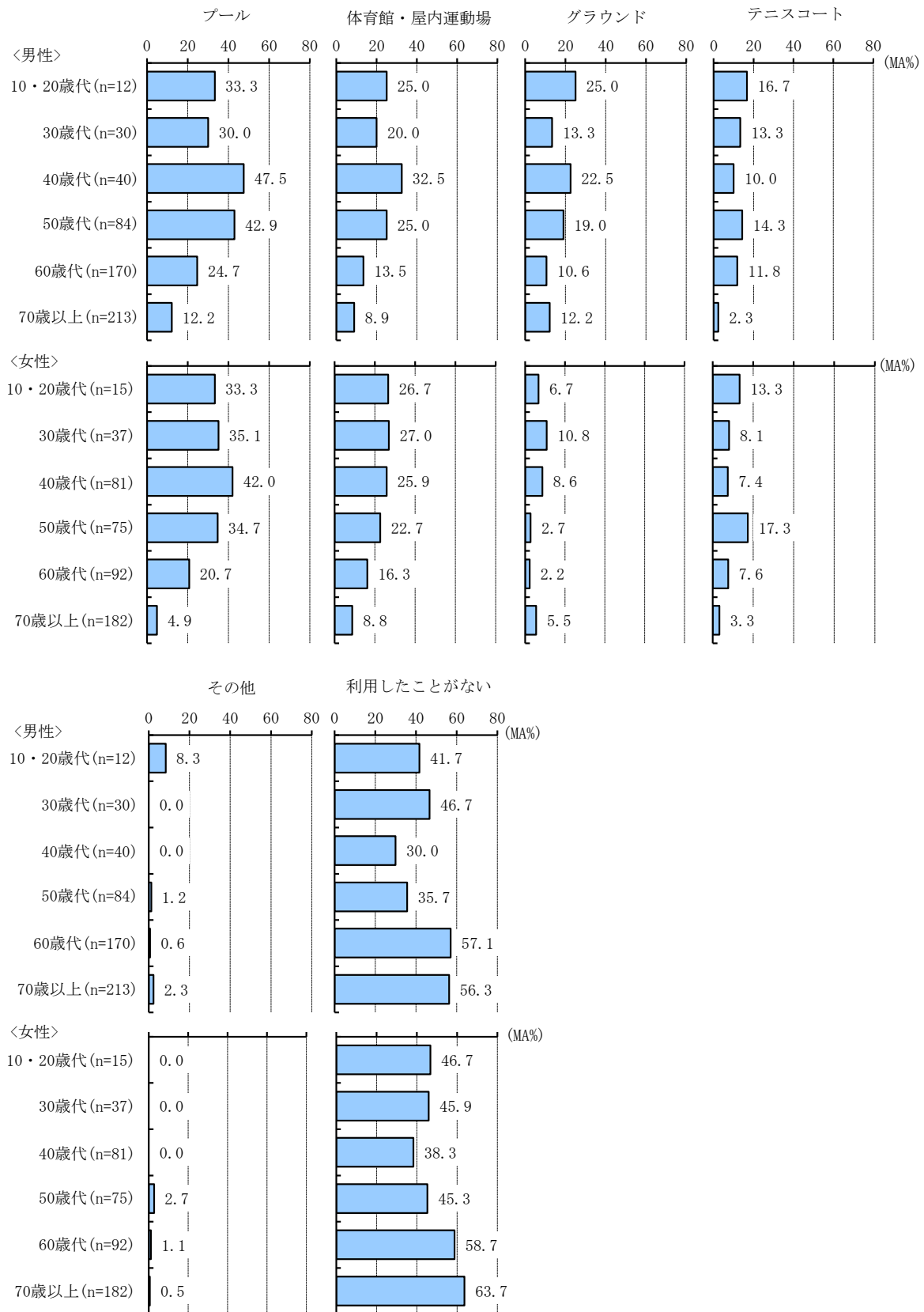
公共スポーツ施設の利用状況については、「利用したことがない」が52.1%を占めている。利用したことがある人では、「プール」が23.5%で最も多く、次いで「体育館・屋内運動場」が16.4%、「グラウンド」が9.9%、「テニスコート」が8.1%となっている。(図表9-1)

性・年齢別でみると、男性は、10・20歳代の母数が少ないので一概には言えないが、各年代で「プール」が最も多く、70歳以上では「グラウンド」も同率で最も多くなっている。また、「プール」や「体育館・屋内運動場」、「グラウンド」では、40歳代と50歳代の割合が他の年代に比べ高くなっている。

女性では、10歳代～60歳代で「プール」が最も多く、なかでも40歳代は42.0%と高くなっている。70歳以上になると「体育館・屋内運動場」が最も多くなっているが、年代が上がるほど低下傾向がみられる。また、「テニスコート」では50歳代が17.3%と他の年代に比べ高くなっている。

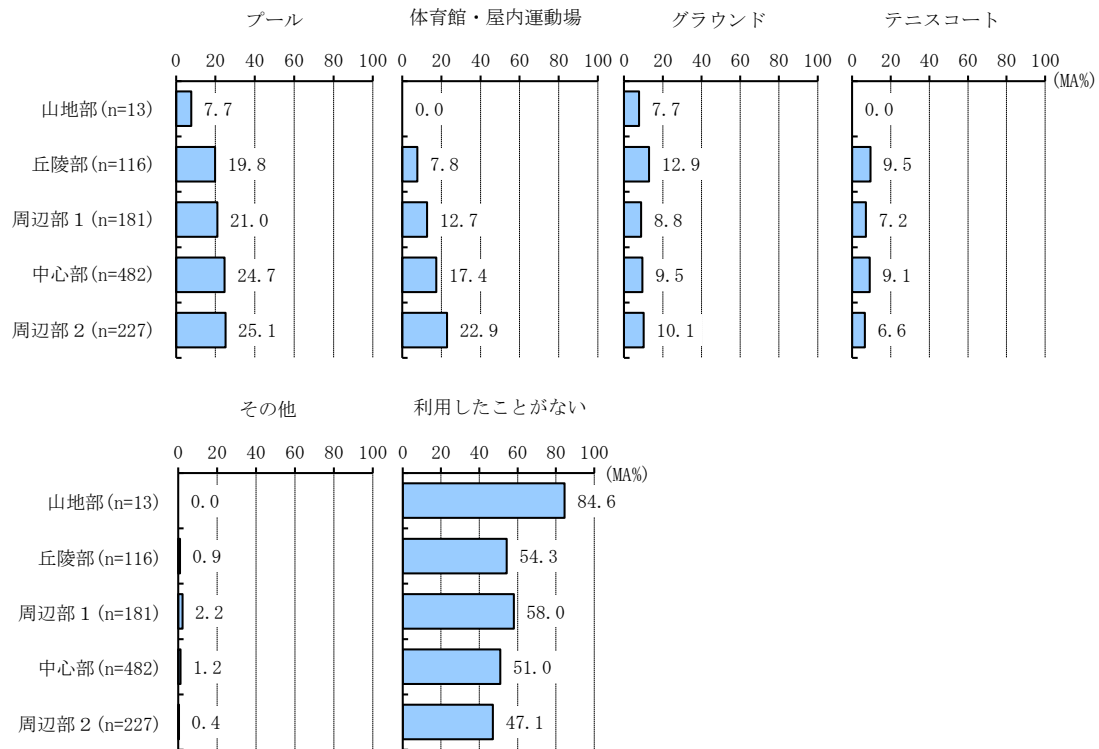
一方、「利用したことがない」では、男女ともに40歳代が3割台で最も低く、60歳以上になると6割前後と高くなっている。(図表9-1-1)

【図表9-1-1 性・年齢別 公共スポーツ施設の利用状況】



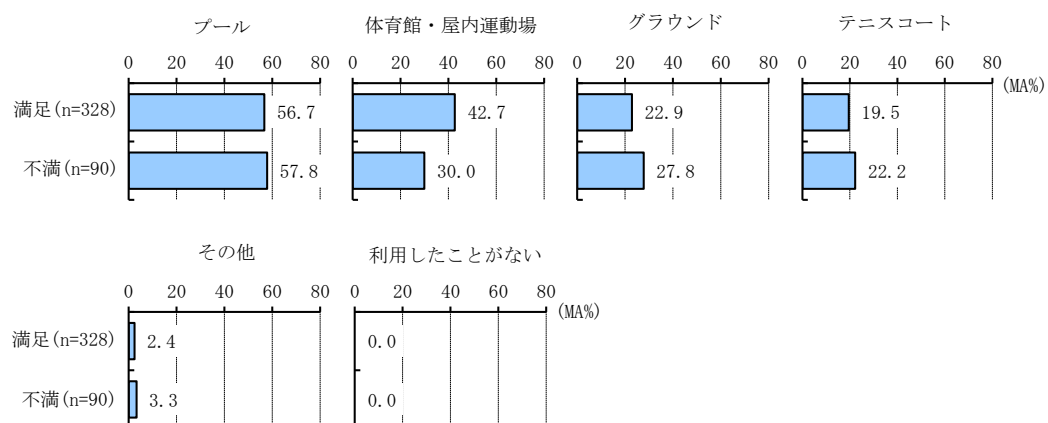
居住地区別でみると、いずれの地区も「プール」が最も多く、なかでも中心部と周辺部2は25%前後と高くなっている。山地部では「グラウンド」も同率で最も多くなっている。これに次いで、丘陵部は「グラウンド」が12.9%となっており、その他の地区は「体育館・屋内運動場」が多く、なかでも周辺部2は22.9%と高くなっている。(図表9-1-2)

【図表9-1-2 居住地区別 公共スポーツ施設の利用状況】



公共スポーツ施設に対する満足度別でみると、満足・不満に関わらず「プール」が5割台で最も多くなっている。「体育館・屋内運動場」では、満足な利用者が42.7%となっており、不満のある利用者(30.0%)に比べ12.7ポイント高くなっている。一方、「グラウンド」では4.9ポイント、「テニスコート」では2.7ポイント、不満のある利用者のほうが高くなっている。(図表9-1-3)

【図表9-1-3 公共スポーツ施設に対する満足度別 公共スポーツ施設の利用状況】

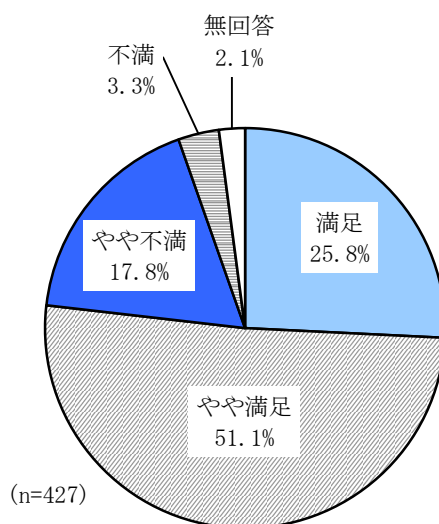


(2) 公共スポーツ施設に対する満足度

【問39で「1～5（利用したことがある）」と回答した方にうかがいます。】

問40. 公共スポーツ施設を利用して、全般にどの程度満足していますか。（○は1つ）

【図表9-2 公共スポーツ施設に対する満足度】



公共スポーツ施設を利用したことがある人に、それらの満足度をたずねたところ、「やや満足」が51.1%で最も多く、次いで「満足」が25.8%となっており、満足な利用者の割合は76.9%を占めている。一方、「やや不満」と「不満」を合わせた不満のある利用者の割合は21.1%となっている。（図表9-2）

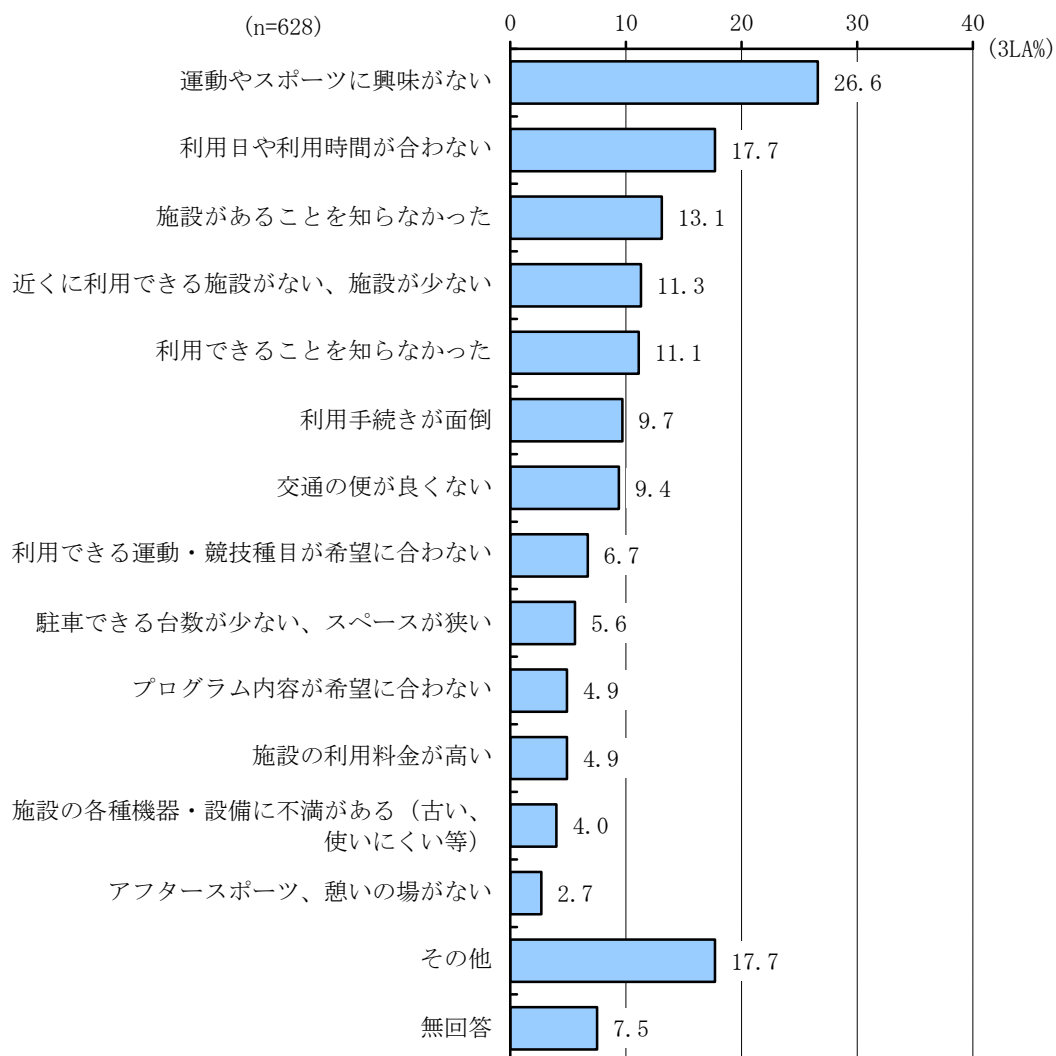
(3) 公共スポーツ施設を利用しない理由や不満点

【問39で「6. 利用したことがない」と回答した方、又は問40で「3. やや不満」「4. 不満」のいずれかを回答した方にうかがいます。】

問41. 利用しない理由、又は満足できないところはどのようなことですか。

(○は3つまで)

【図表9-3 公共スポーツ施設を利用しない理由や不満点】

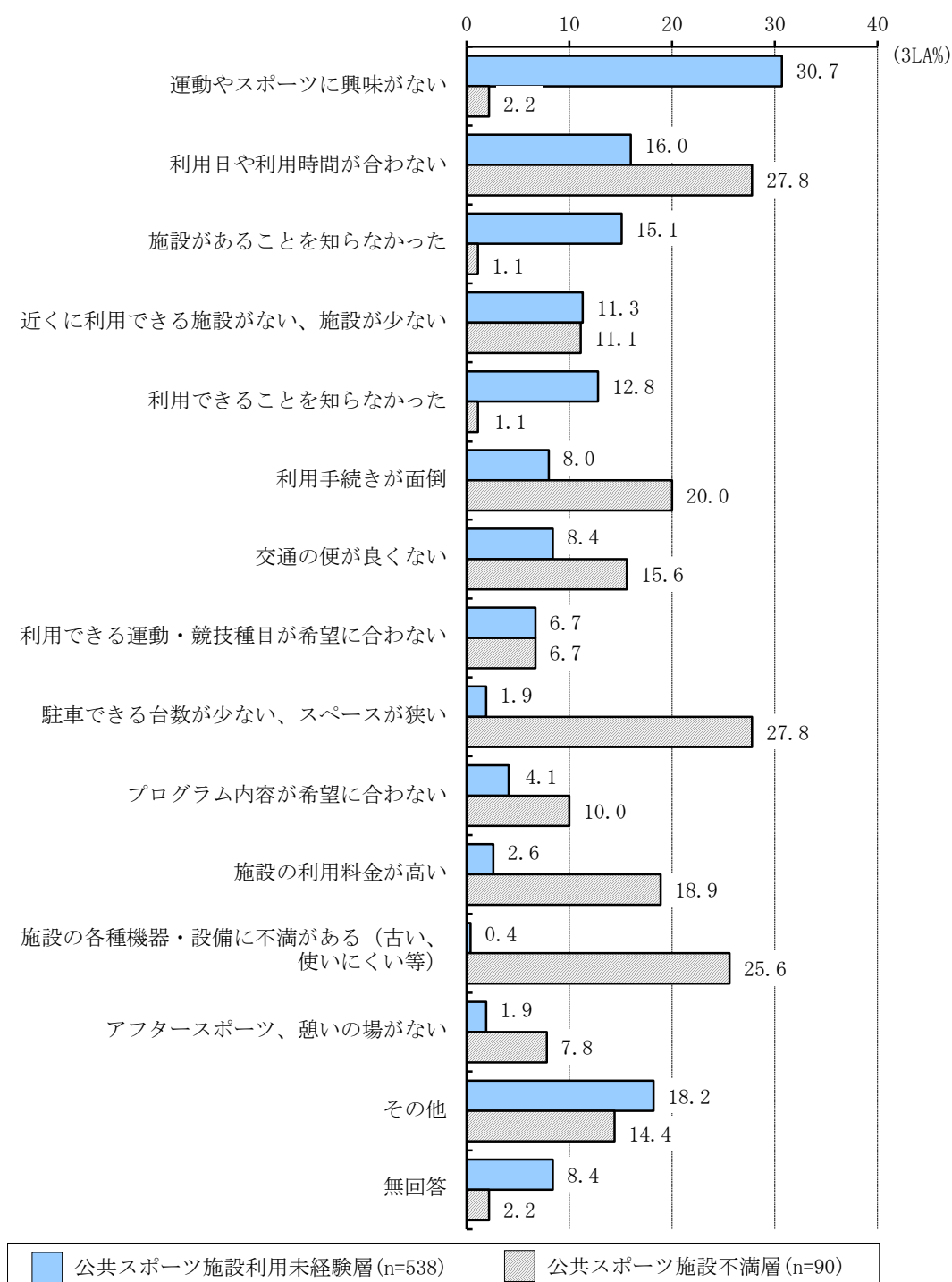


公共スポーツ施設を利用したことがない人や、施設利用に不満のある人に、利用しない理由や不満点をたずねたところ、「運動やスポーツに興味がない」が26.6%で最も多く、次いで「利用日や利用時間が合わない」が17.7%、「施設があることを知らなかった」が13.1%、「近くに利用できる施設がない、施設が少ない」が11.3%、「利用できることを知らなかった」が11.1%となっている。(図表9-3)

施設未利用・不満別でみると、公共スポーツ施設利用未経験層は、「運動やスポーツに興味がない」が30.7%で最も多く、次いで「利用日や利用時間が合わない」が16.0%、「施設があることを知らなかった」が15.1%、「利用できることを知らなかった」が12.8%となっている。

公共スポーツ施設不満層では、「利用日や利用時間が合わない」と「駐車できる台数が少ない、スペースが狭い」がともに27.8%で最も多く、次いで「施設の各種機器・設備に不満がある（古い、使いにくい等）」が25.6%、「利用手続きが面倒」が20.0%、「施設の利用料金が高い」が18.9%と続いている。（図表9-3-1）

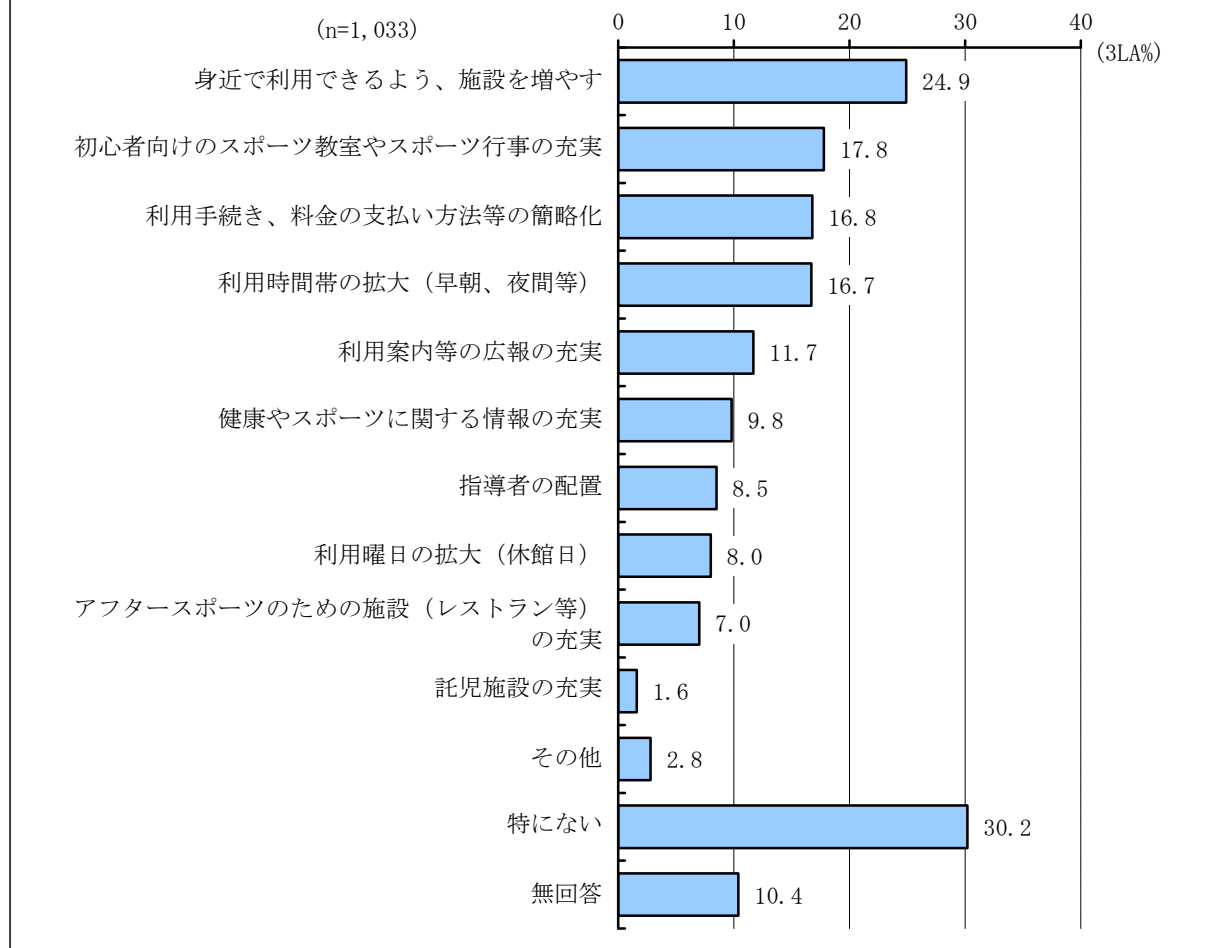
【図表9-3-1 施設未利用・不満別 公共スポーツ施設を利用しない理由や不満点】



(4) 公共スポーツ施設に対する要望

問42. 公共スポーツ施設に対して、何か望むことがありますか。(〇は3つまで)

【図表9-4 公共スポーツ施設に対する要望】

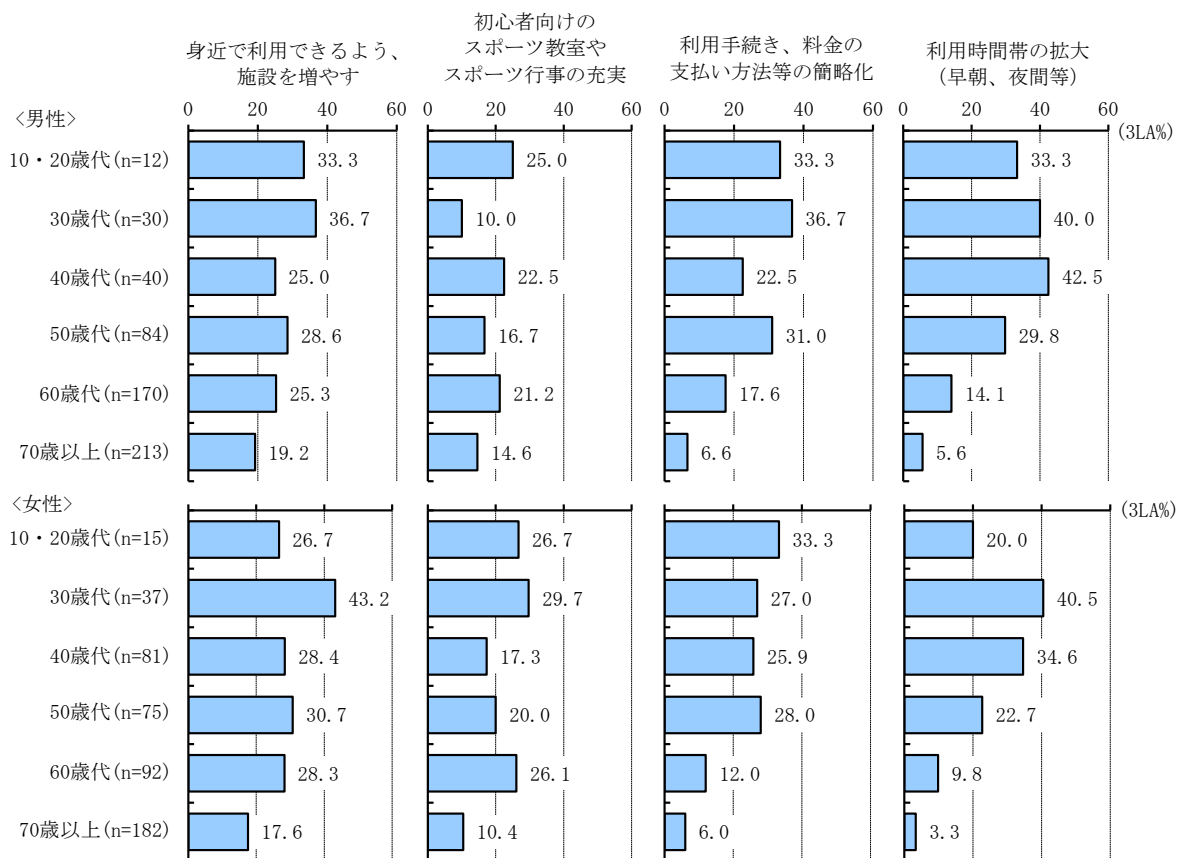


公共スポーツ施設に対する要望については、「身近で利用できるよう、施設を増やす」が24.9%で最も多く、次いで「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」が17.8%、「利用手続き、料金の支払い方法等の簡略化」が16.8%、「利用時間帯の拡大 (早朝、夜間等)」が16.7%と続いている。(図表9-4)

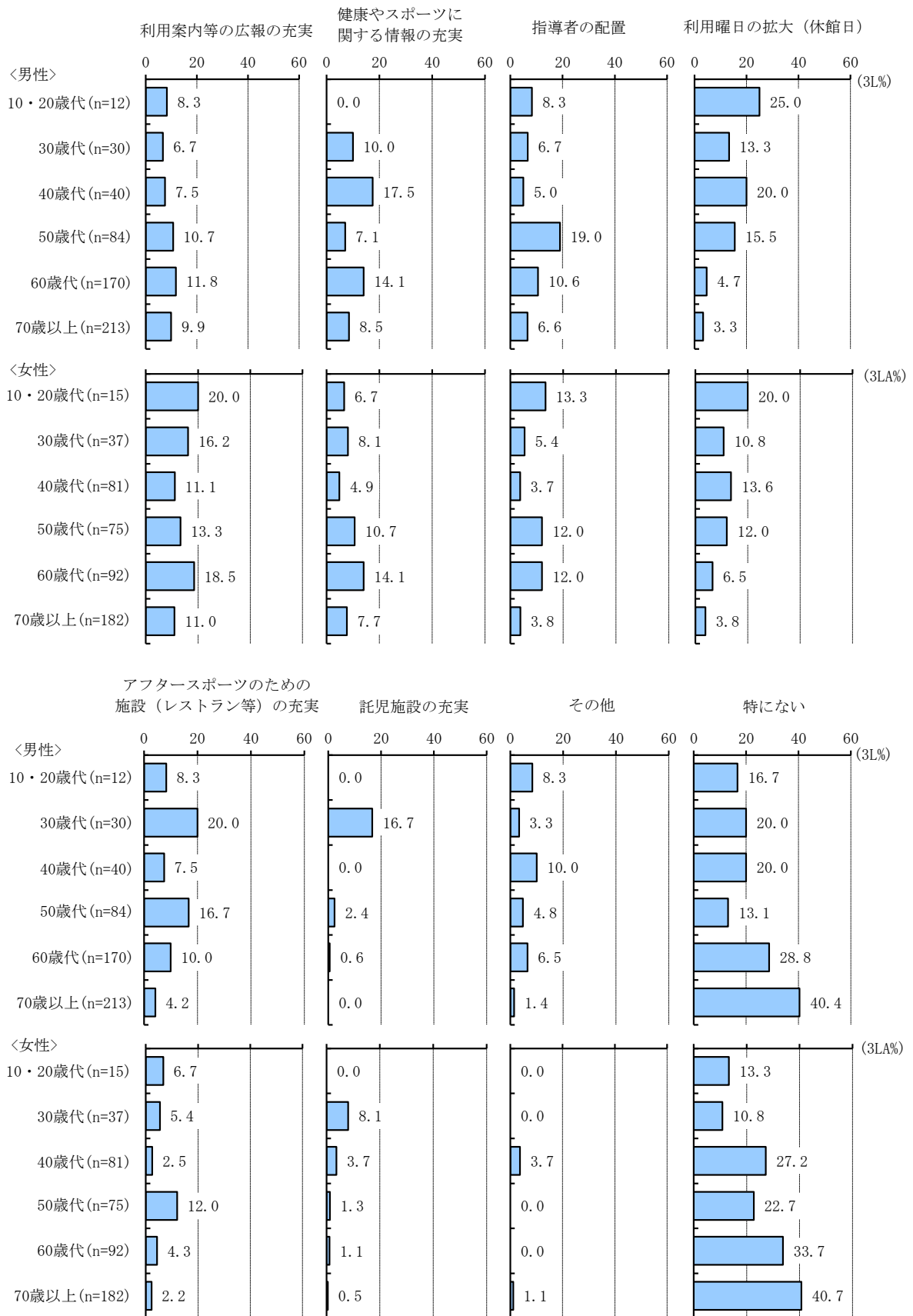
性・年齢別でみると、男性は、30歳代～40歳代で「利用時間帯の拡大（早朝、夜間等）」が4割台と最も多く、また、30歳代は「アフタースポーツのための施設（レストラン等）の充実」（20.0%）と「託児施設の充実」（16.7%）、40歳代では「健康やスポーツに関する情報の充実」（17.5%）と「利用曜日の拡大（休館日）」（20.0%）が、それぞれ他の年代に比べ高くなっている。50歳代は「利用手続き、料金の支払い方法等の簡略化」が31.0%で最も多く、「指導者の配置」（19.0%）が他の年代に比べ高くなっている。60歳以上になると「身近で利用できるよう、施設を増やす」が最も多く、次いで「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」と続いている。

女性では、10・20歳代で母数は少ないが「利用手続き、料金の支払い方法等の簡略化」（33.3%・5人）が最も多く、40歳代では「利用時間帯の拡大（早朝、夜間等）」（34.6%）が最も多くなっている。30歳代と50歳代以上の年代では「身近で利用できるよう、施設を増やす」が最も多くなっており、なかでも30歳代は43.2%と高くなっている。また、30歳代では「利用時間帯の拡大（早朝、夜間等）」も40.5%と多く、「託児施設の充実」（8.1%）は他の年代に比べ高くなっている。50歳代では「アフタースポーツのための施設（レストラン等）の充実」（12.0%）、60歳代では「健康やスポーツに関する情報の充実」（14.1%）が、それぞれ他の年代に比べ高くなっている。（図表9-4-1）

【図表9-4-1 性・年齢別 公共スポーツ施設に対する要望①】

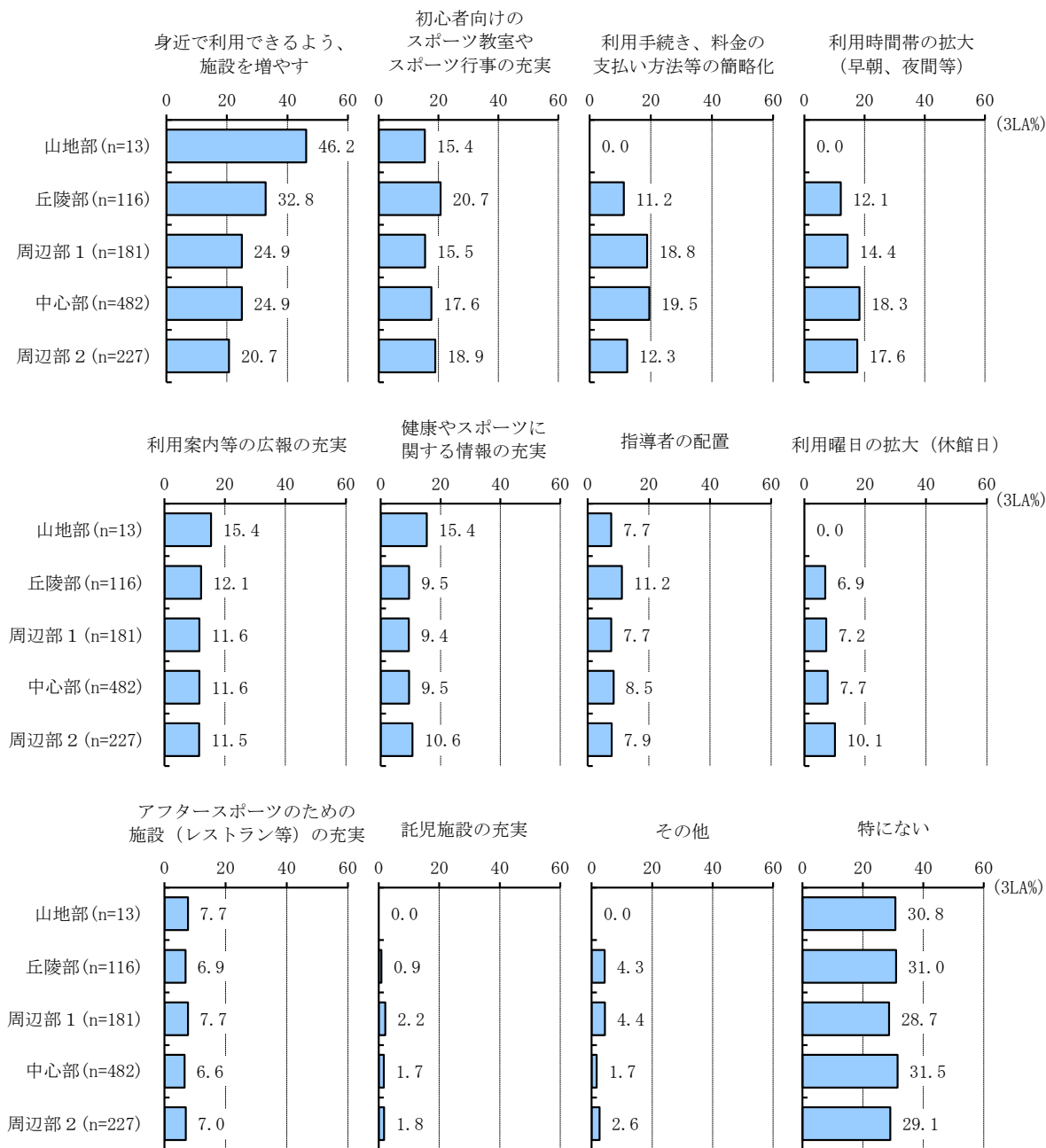


【図表9-4-1 性・年齢別 公共スポーツ施設に対する要望②】



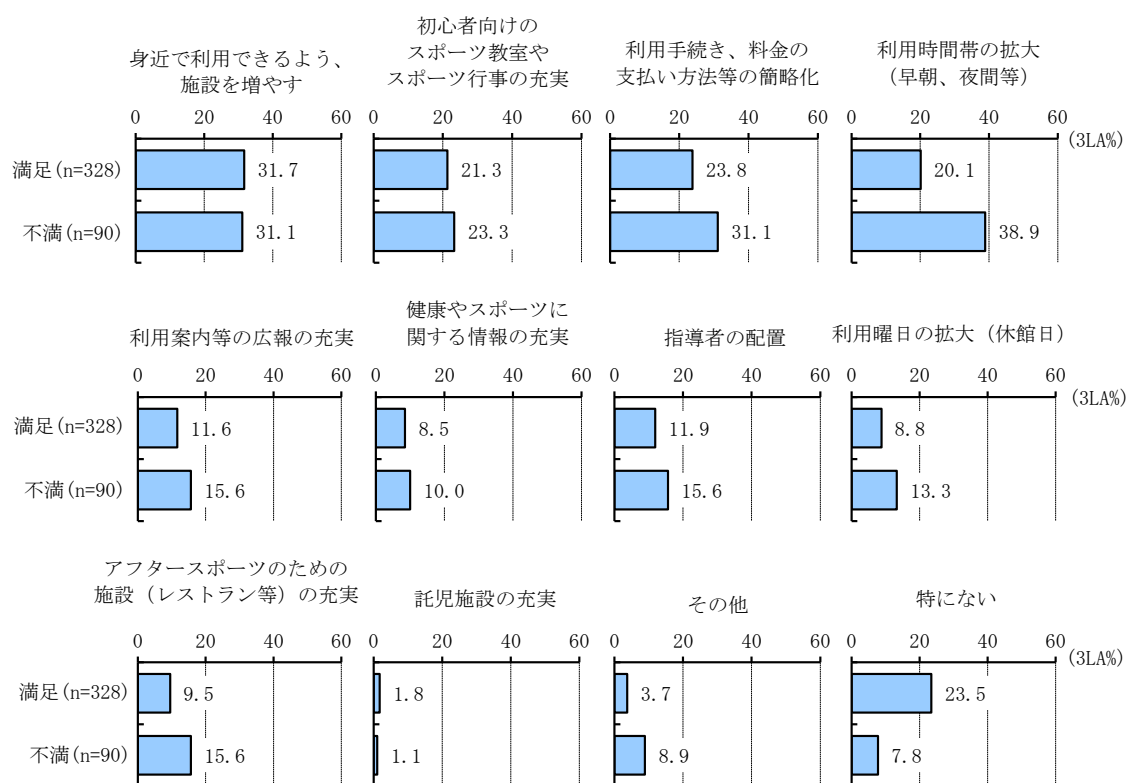
居住地別でみると、いずれの地区も「身近で利用できるよう、施設を増やす」が最も多く、山地部は母数が少ないので一概に言えないが46.2%（6人）と高くなっており、丘陵部も32.8%と他の地区に比べ高くなっている。また、「利用手続き、料金の支払い等の簡略化」は周辺部1と中心部が、「利用時間帯の拡大（早朝、夜間等）」では中心部と周辺部2が、それぞれ2割弱となっており、他の地区に比べ高くなっている。（図表9-4-2）

【図表9-4-2 居住地別 公共スポーツ施設に対する要望】



公共スポーツ施設に対する満足度別でみると、不満のある利用者では、「利用時間帯の拡大（早朝、夜間等）」が38.9%で最も多く、次いで「身近で利用できるよう、施設を増やす」と「利用手続き、料金の支払い方法等の簡略化」がともに31.1%と続いている。また、満足な利用者と比較すると、「利用時間帯の拡大（早朝、夜間等）」は18.8ポイント、「利用手続き、料金の支払い方法等の簡略化」は7.3ポイント、「アフタースポーツのための施設（レストラン等）の充実」は6.1ポイント、「利用曜日の拡大（休館日）」は4.5ポイント、「利用案内等の広報の充実」は4.0ポイント高くなっている。（図表9-4-3）

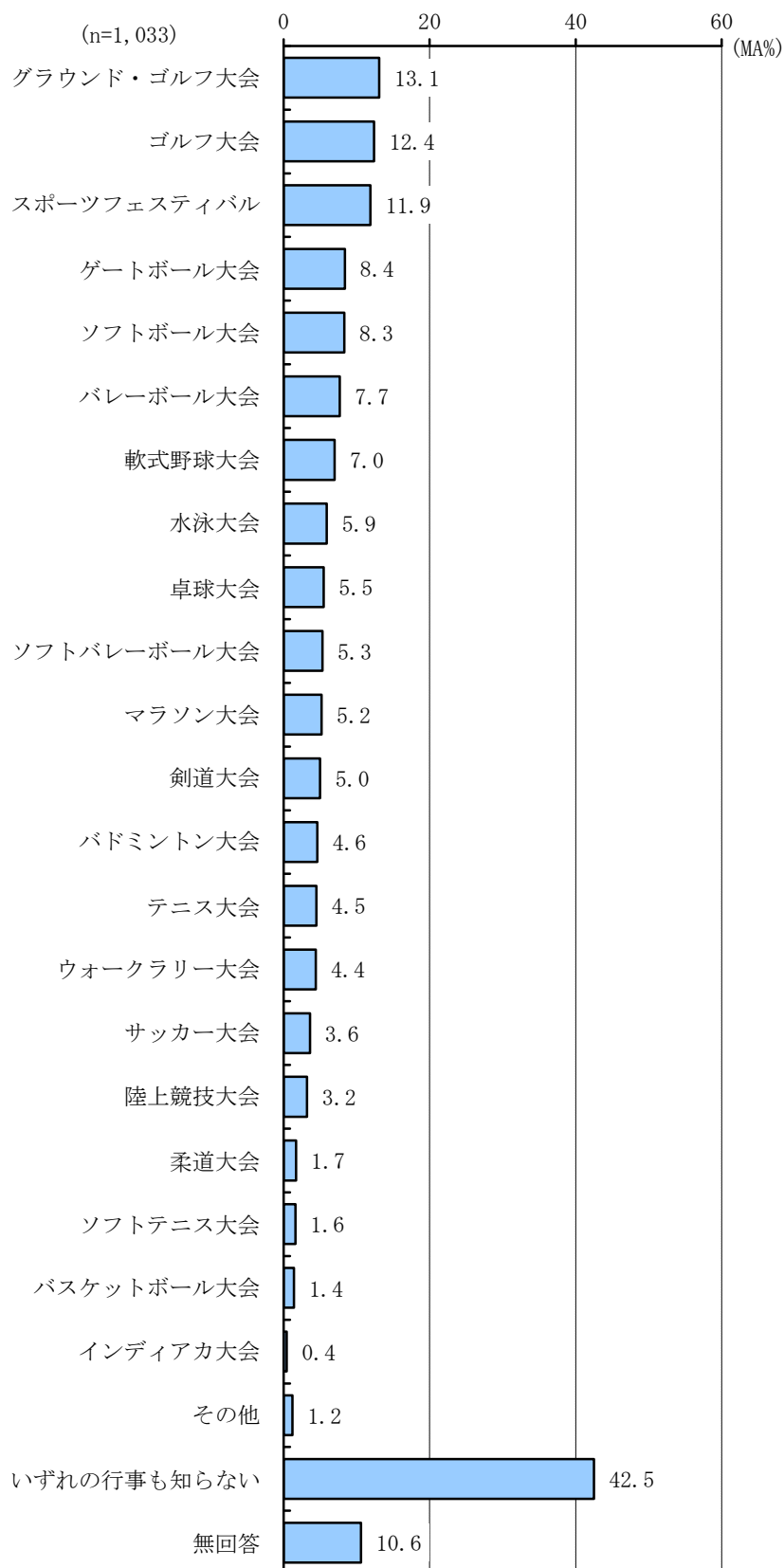
【図表9-4-3 公共スポーツ施設に対する満足度別 公共スポーツ施設に対する要望】



10 茨木市内で行われるスポーツ行事の認知状況

問43. 茨木市内で行われるスポーツ行事で知っているものに○印をつけてください。
(○はいくつでも)

【図表10 茨木市内で行われるスポーツ行事の認知度】



茨木市内で行われるスポーツ行事の認知度については、「いずれの行事も知らない」が42.5%を占めている。行事を知っている人では、「グラウンド・ゴルフ大会」が13.1%で最も多く、次いで「ゴルフ大会」が12.4%、「スポーツフェスティバル」が11.9%、「ゲートボール大会」が8.4%、「ソフトボール大会」が8.3%と続いている。(図表10)

性・年齢別で見ると、男性の各年代の第1位は、10・20歳代が「ウォークラリー大会」で16.7%（2人）、30歳代が「ソフトボール大会」や「軟式野球大会」、「卓球大会」で各6.7%、40歳代が「水泳大会」で15.0%、50歳代が「スポーツフェスティバル」で22.6%、60歳代が「ゴルフ大会」で23.5%、70歳以上は「グラウンド・ゴルフ大会」で25.4%となっている。また、「ソフトボール大会」や「軟式野球大会」、「ゴルフ大会」も上位に挙がっている。

女性の各年代の第1位では、10・20歳代が「バスケットボール大会」で13.3%（2人）、30歳代が「バドミントン大会」で8.1%、40歳代と60歳代が「スポーツフェスティバル」で各々13.6%、18.5%、50歳代が「ソフトバレーボール大会」で10.7%、70歳以上が「グラウンド・ゴルフ大会」で17.0%となっている。また、30歳代～50歳代では「剣道大会」と「バドミントン大会」、50歳以上になると「バレーボール大会」、60歳以上になると「ゲートボール大会」が、それぞれ上位に挙がっている。(図表10-1)

【図表10-1 性・年齢別 茨木市内で行われるスポーツ行事の認知度】

(MA%)

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	
男性	10・20歳代 (n=12)	ウォークラリー大会 16.7	グラウンド・ゴルフ大会／スポーツフェスティバル／サッカー大会／陸上競技大会 ソフトテニス大会			8.3	
	30歳代 (n=30)	ソフトボール大会／軟式野球大会／卓球大会			スポーツフェスティバル／バレーボール大会／水泳大会／ソフトバレーボール大会／マラソン大会／剣道大会	6.7 3.3	
	40歳代 (n=40)	水泳大会 15.0	軟式野球大会 12.5	スポーツフェスティバル 10.0	ソフトボール大会／マラソン大会 7.5		
	50歳代 (n=84)	スポーツフェスティバル 22.6	ソフトボール大会 14.3	ゴルフ大会／水泳大会		バレーボール大会 ／軟式野球大会 11.9 10.7	
	60歳代 (n=170)	ゴルフ大会 23.5	スポーツフェスティバル 14.1	軟式野球大会 13.5	グラウンド・ゴルフ大会 12.4	ソフトボール大会 11.2	
	70歳以上 (n=213)	グラウンド・ゴルフ大会 25.4	ゴルフ大会 23.0	ゲートボール大会 12.2	スポーツフェスティバル 10.8	ソフトボール大会 10.3	
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	
女性	10・20歳代 (n=15)	バスケットボール大会 13.3	グラウンド・ゴルフ大会／ゲートボール大会／バレーボール大会／卓球大会／サッカー大会／陸上競技大会			6.7	
	30歳代 (n=37)	バドミントン大会 8.1	ソフトボール大会／剣道大会／テニス大会／サッカー大会／陸上競技大会				5.4
	40歳代 (n=81)	スポーツフェスティバル 13.6	軟式野球大会 9.9	剣道大会 8.6	ゴルフ大会 7.4	グラウンド・ゴルフ大会 ／ソフトボール大会／水泳大会 ／卓球大会／マラソン大会 ／バドミントン大会 ／サッカー大会 6.2	
	50歳代 (n=75)	ソフトバレーボール大会 10.7	バレーボール大会／剣道大会／バドミントン大会			スポーツフェスティバル 9.3 8.0	
	60歳代 (n=92)	スポーツフェスティバル 18.5	ゲートボール大会／バレーボール大会		17.4 16.3	水泳大会 12.0	
	70歳以上 (n=182)	グラウンド・ゴルフ大会 17.0	ゲートボール大会 12.1	スポーツフェスティバル 8.8	バレーボール大会 8.2	卓球大会 7.1	

居住地区別でみると、山地部と中心部は「グラウンド・ゴルフ大会」、丘陵部と周辺部1は「ゴルフ大会」、周辺部2では「スポーツフェスティバル」が、それぞれ第1位となっている。また、丘陵部は「軟式野球大会」（12.1%）、周辺部2では「バレーボール大会」（12.8%）が上位に挙げられている。（図表10-2）

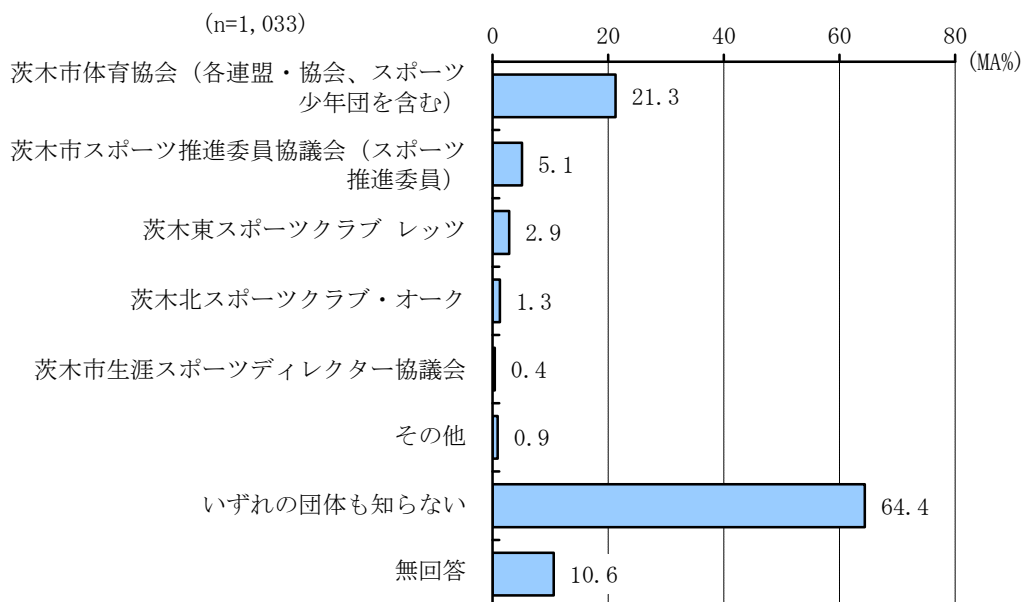
【図表10-2 居住地区別 茨木市内で行われるスポーツ行事の認知度】

	(MA%)				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
山地部 (n=13)	グラウンド・ゴルフ大会 23.1	ゲートボール大会／ゴルフ大会 15.4		スポーツフェスティバル 7.7	
丘陵部 (n=116)	ゴルフ大会 16.4	スポーツフェスティバル／グラウンド・ゴルフ大会 14.7		ソフトボール大会 12.9	軟式野球大会 12.1
周辺部1 (n=181)	ゴルフ大会 17.7	グラウンド・ゴルフ大会 13.3	スポーツフェスティバル 12.2	ソフトボール大会 8.8	ゲートボール大会 8.3
中心部 (n=482)	グラウンド・ゴルフ大会 12.4	ゴルフ大会 10.2	スポーツフェスティバル 9.8	ゲートボール大会 9.3	ソフトボール大会 7.9
周辺部2 (n=227)	スポーツフェスティバル 15.0	グラウンド・ゴルフ大会 12.8	バレーボール大会 11.5	ゴルフ大会 11.0	ゲートボール大会 9.3

11 茨木市内のスポーツ団体の認知状況

問44. 茨木市内で活動しているスポーツに関する団体で知っているものに○印をつけてください。(○はいくつでも)

【図表11 茨木市内のスポーツ団体の認知度】



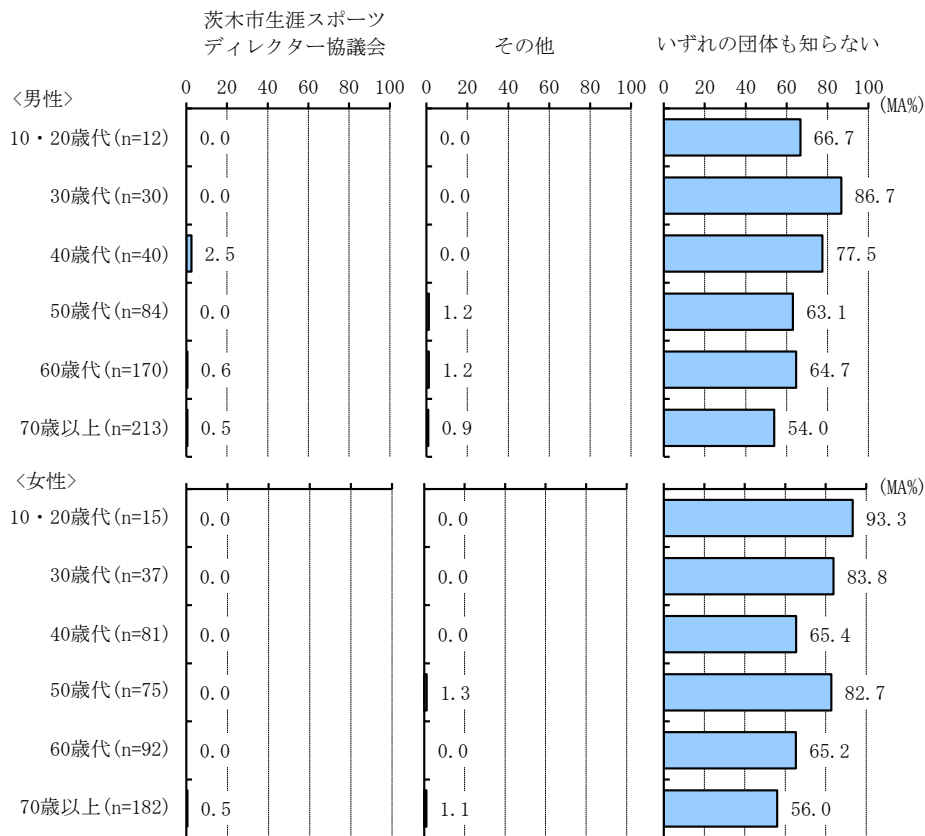
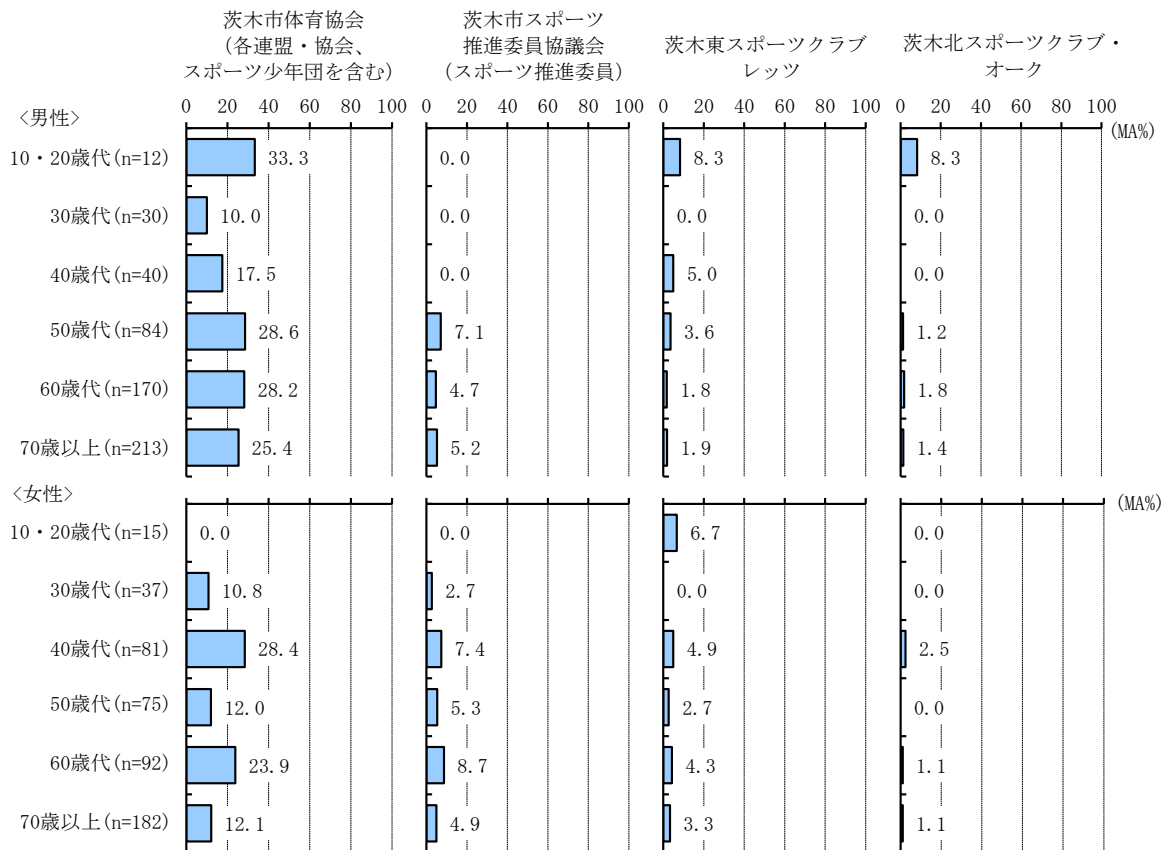
茨木市内のスポーツ団体の認知度については、「いずれの団体も知らない」が64.4%を占めている。団体を知っている人では、「茨木市体育協会（各連盟・協会、スポーツ少年団を含む）」が21.3%で最も多く、次いで「茨木市スポーツ推進委員協議会（スポーツ推進委員）」が5.1%、「茨木東スポーツクラブ レッツ」が2.9%と続いている。（図表11）

性・年齢別でみると、男性は、各年代で「茨木市体育協会（各連盟・協会、スポーツ少年団を含む）」が最も多く、特に50歳以上の年代は2割台と高くなっている。しかし、「いずれの団体も知らない」は、各年代で過半数を占めており、特に30歳代が86.7%、40歳代は77.5%と高くなっている。

女性では、10・20歳代で母数は少ないが「茨木東スポーツクラブ レッツ」が最も多くなっており、30歳以上の年代では「茨木市体育協会（各連盟・協会、スポーツ少年団を含む）」が最も多く、なかでも40歳代が28.4%、60歳代は23.9%と高くなっている。

しかし、男女ともに「いずれの団体も知らない」が各年代で過半数を占めており、なかでも男性では30歳代と40歳代が7～8割台と高く、女性は10・20歳代、30歳代、50歳代で8～9割台と高くなっている。（図表11-1）

【図表11-1 性・年齢別 茨木市内のスポーツ団体の認知度】

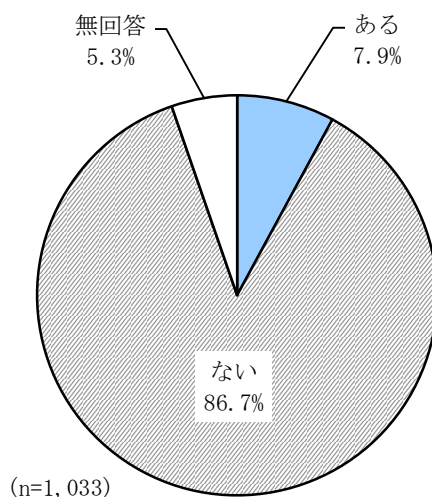


12 学校体育施設の利用状況について

(1) 茨木市内の学校体育施設の利用経験

問45. この1年間に、茨木市内の学校体育施設（小・中学校の体育館や運動場）を運動・スポーツ活動で利用したことがありますか。（○は1つ）

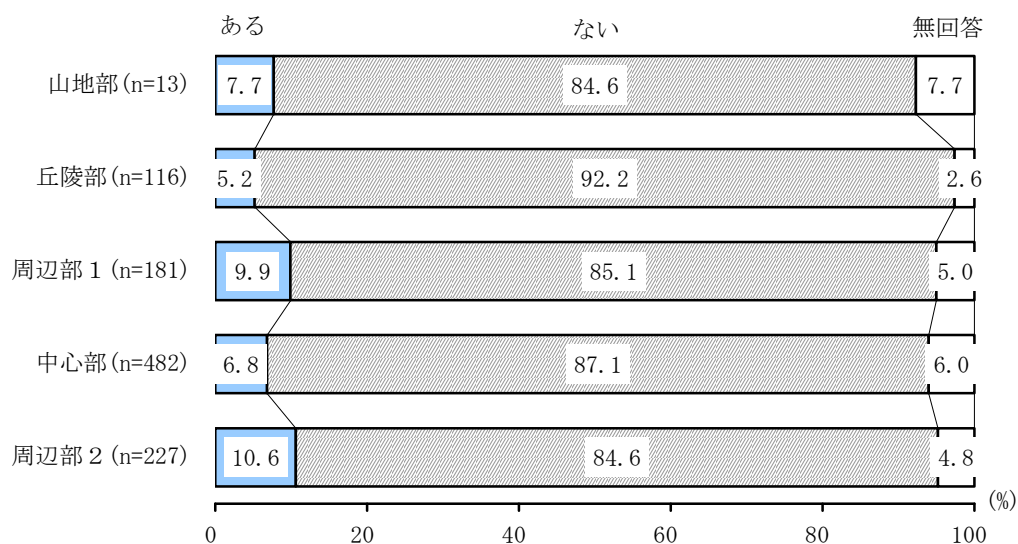
【図表12-1 茨木市内の学校体育施設の利用経験】



茨木市内の学校体育施設を利用したことがあるかについて、「ある」が7.9%に対し、「ない」は86.7%を占めている。（図表12-1）

居住地区別でみると、利用したことがある人は、周辺部2が10.6%で最も高く、次いで周辺部1が9.9%、山地部が7.7%（1人）、中心部が6.8%、丘陵部は5.2%となっている。（図表12-1-1）

【図表12-1-1 居住地区別 茨木市内の学校体育施設の利用経験】

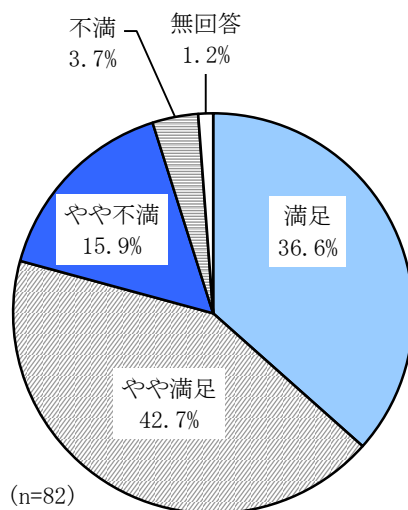


(2) 学校体育施設に対する満足度

【問45で「1. ある」と回答した方にお聞きします。】

問46. 学校体育施設を利用して、全般に満足していますか。(○は1つ)

【図表12-2 学校体育施設に対する満足度】



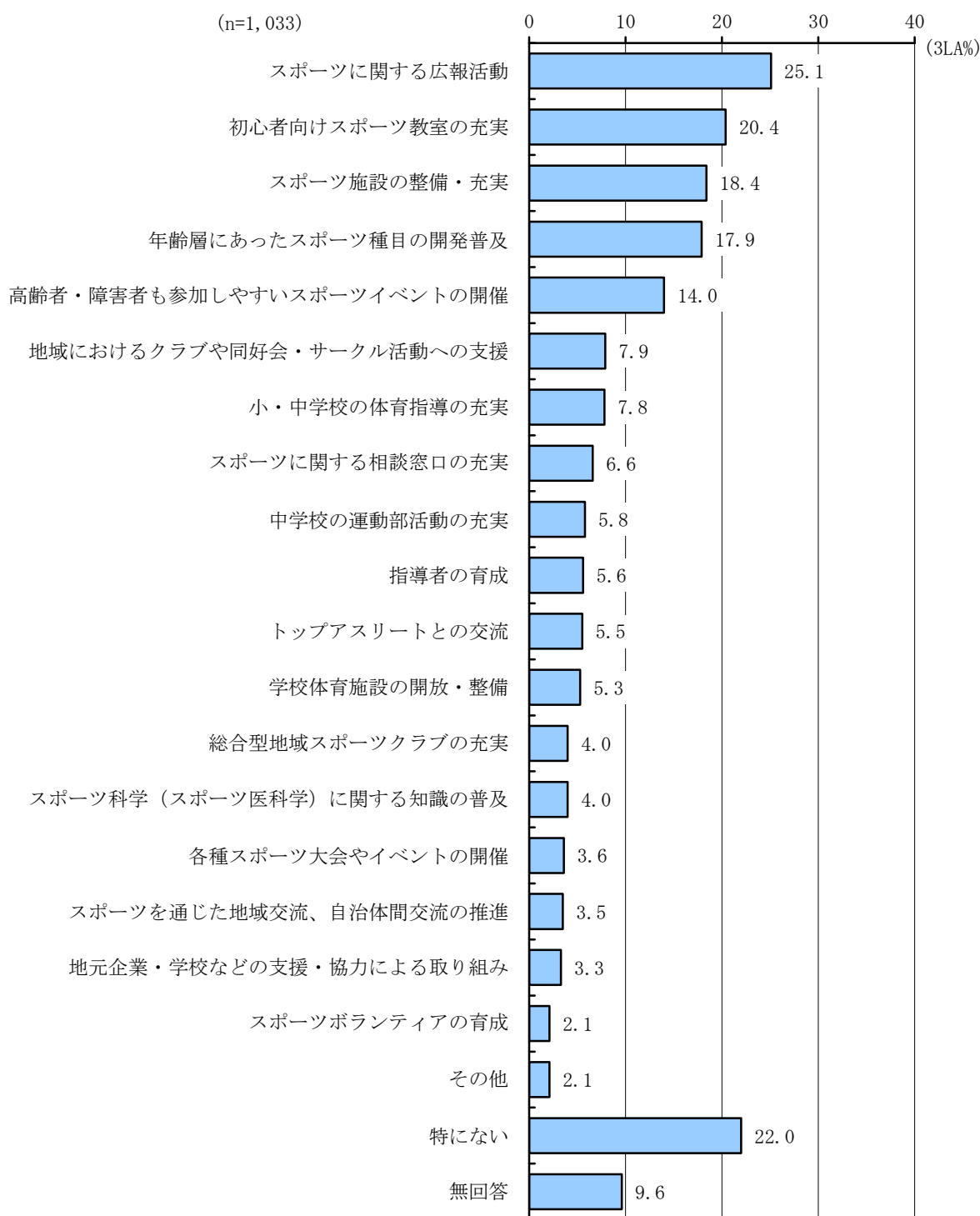
学校体育施設を利用したことがある人に、満足度をたずねたところ、「やや満足」が42.7%で最も多く、次いで「満足」が36.6%となっており、両者を合わせた『満足』の割合は79.3%を占めている。(図表12-2)

13 茨木市における今後のスポーツ振興について

(1) スポーツ活動が盛んになるために必要な施策

問47. 今後、茨木市におけるスポーツ活動がますます盛んになるために、どのような施策に取り組むべきだと思いますか。(〇は3つまで)

【図表13-1 スポーツ活動が盛んになるために必要な施策】

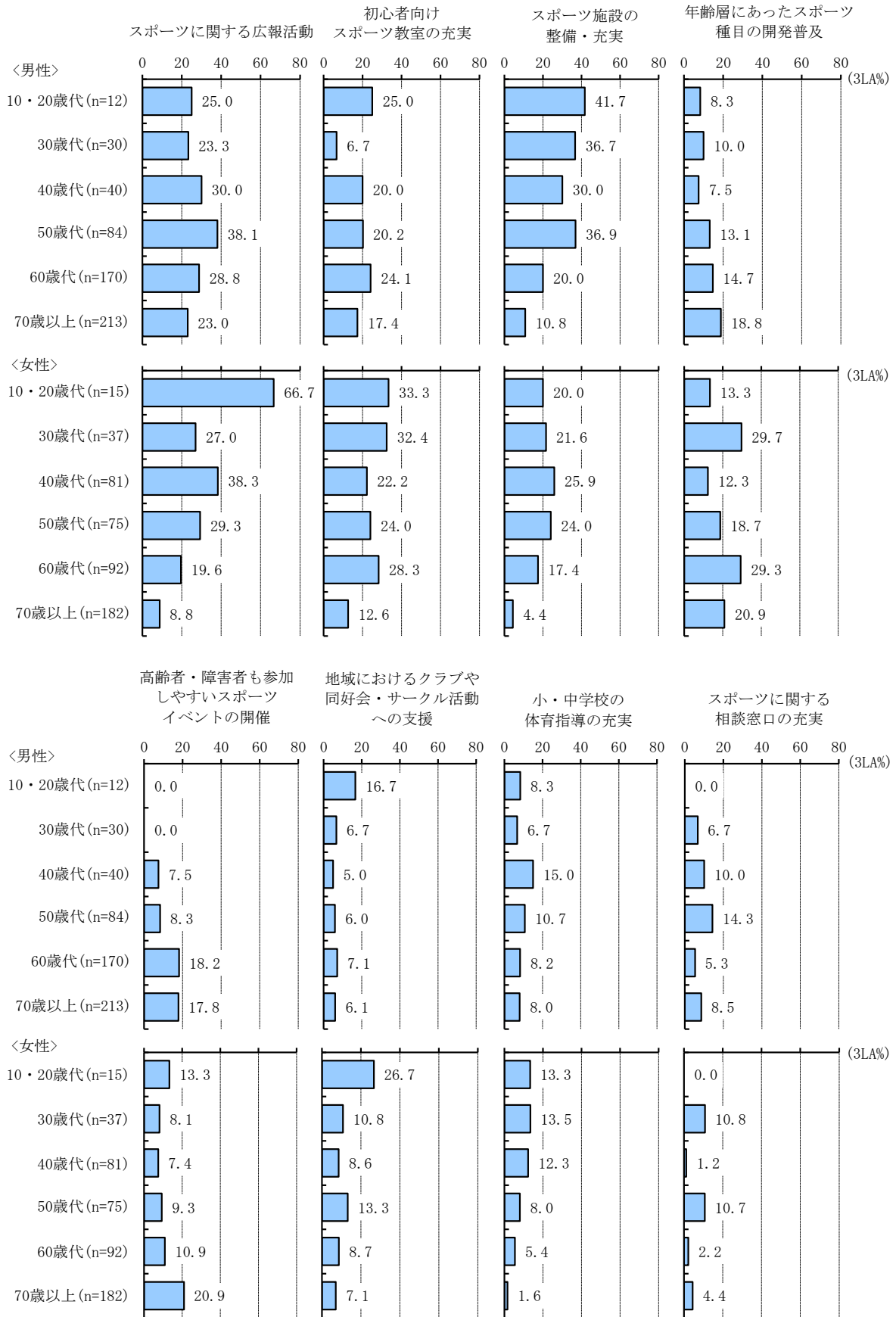


スポーツ活動が盛んになるために必要な施策については、「スポーツに関する広報活動」が25.1%で最も多く、次いで「初心者向けスポーツ教室の充実」が20.4%、「スポーツ施設の整備・充実」が18.4%、「年齢層にあったスポーツ種目の開発普及」が17.9%、「高齢者・障害者も参加しやすいスポーツイベントの開催」が14.0%と続いている。(図表13-1)

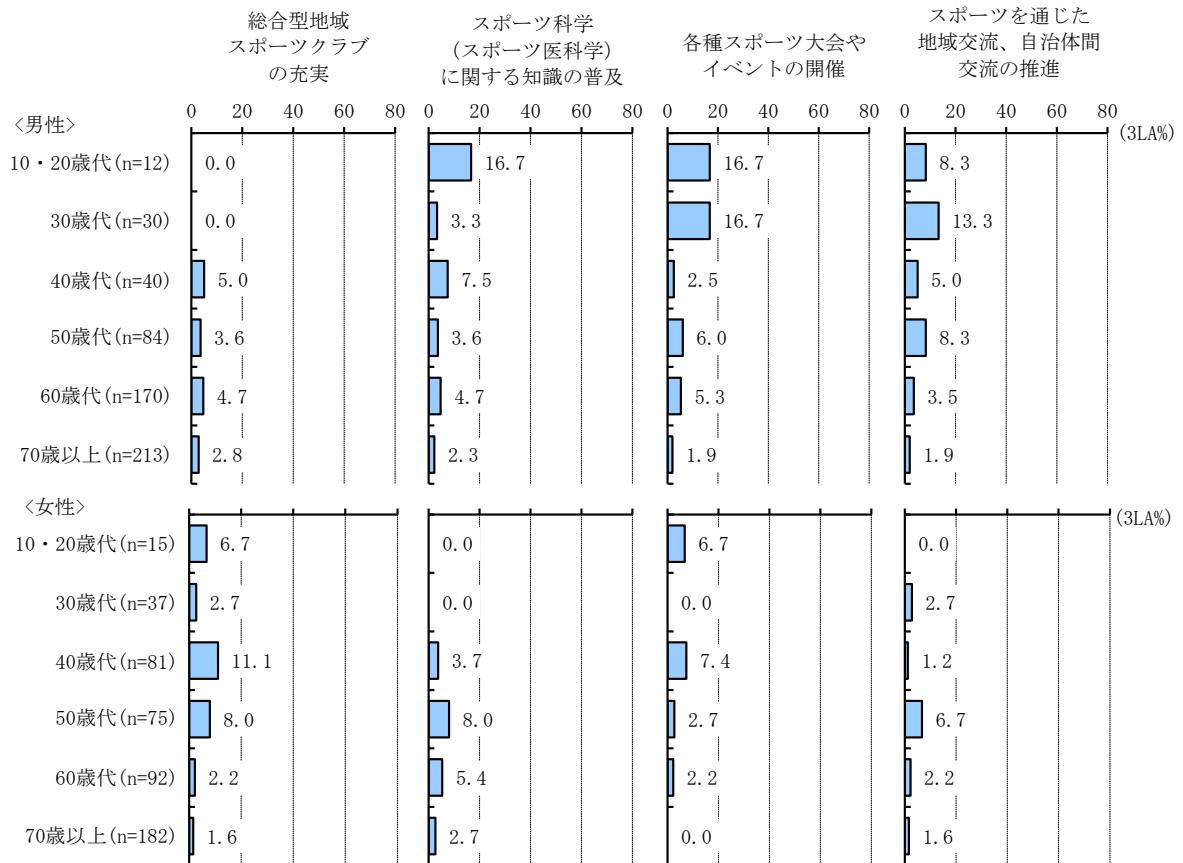
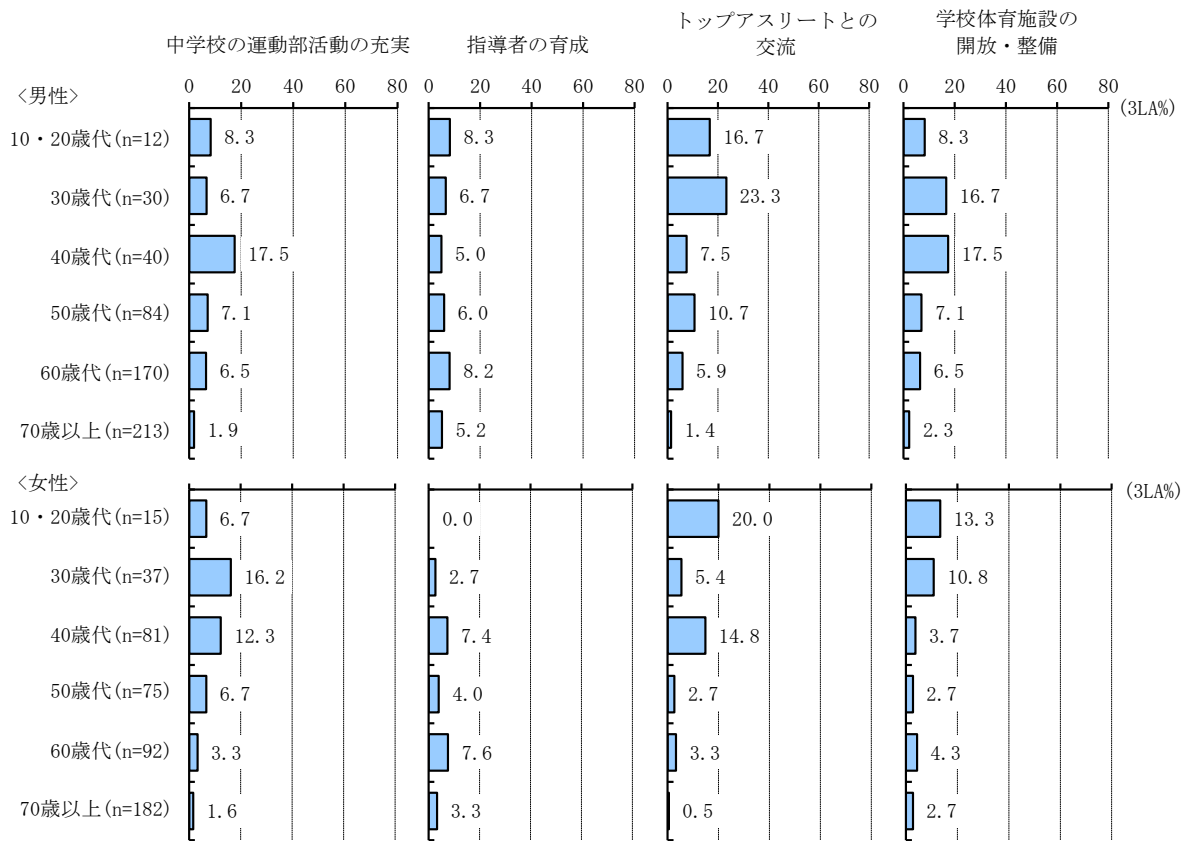
性・年齢別でみると、男性は、10・20歳代の母数が少ないので一概には言えないが、10歳代～40歳代で「スポーツ施設の整備・充実」が3～4割台と最も多く、40歳代では「スポーツに関する広報活動」(30.0%)も同率で最も多くなっている。また、30歳代では「トップアスリートとの交流」(23.3%)や「各種スポーツ大会やイベントの開催」(16.7%)、「スポーツを通じた地域交流、自治体間交流の推進」(13.3%)が他の年代に比べ高く、40歳代では「小・中学校の体育指導の充実」(15.0%)や「中学校の運動部活動の充実」(17.5%)、「地元企業・学校などの支援・協力による取り組み」(10.0%)が他の年代に比べ高くなっている。さらに、「学校体育施設の開放・整備」では、30歳代と40歳代が16～17%台で他の年代に比べ高くなっている。50歳以上の年代では、「スポーツに関する広報活動」が2～3割台で最も多く、特に50歳代は38.1%と高くなっている。また、50歳代では「スポーツ施設の整備・充実」は36.9%と多く、「スポーツに関する相談窓口の充実」(14.3%)では他の年代に比べ高くなっている。60歳代では「初心者向けスポーツ教室の充実」(24.1%)、70歳以上では「年齢層にあったスポーツ種目の開発普及」(18.8%)が、それぞれ2番目に多くなっており、60歳以上になると「高齢者・障害者も参加しやすいスポーツイベントの開催」が17～18%台と高くなっている。

女性では、10・20歳代で母数は少ないが「スポーツに関する広報活動」が66.7%(10人)で最も多くなっている。30歳代では「初心者向けスポーツ教室の充実」(32.4%)が最も多く、次いで「年齢層にあったスポーツ種目の開発普及」(29.7%)となっており、「学校体育施設の開放・整備」(10.8%)と「地元企業・学校などの支援・協力による取り組み」(8.1%)は他の年代に比べ高くなっている。40歳代と50歳代では、「スポーツに関する広報活動」が最も多く、特に40歳代は38.3%と高くなっている。また、40歳代は「トップアスリートとの交流」(14.8%)と「各種スポーツ大会やイベントの開催」(7.4%)、50歳代では「スポーツを通じた地域交流、自治体間交流の推進」(6.7%)が、それぞれ他の年代に比べ高くなっている。さらに、「小・中学校の体育指導の充実」と「中学校の運動部活動の充実」は30歳代と40歳代で高く、「地域におけるクラブや同好会・サークル活動への支援」と「スポーツに関する相談窓口の充実」は30歳代と50歳代で高くなっており、「総合型地域スポーツクラブの充実」では40歳代と50歳代で高くなっている。60歳以上になると「年齢層にあったスポーツ種目の開発普及」が最も多く、70歳以上では「高齢者・障害者も参加しやすいスポーツイベントの開催」も同率で最も多くなっている。(図表13-1-1)

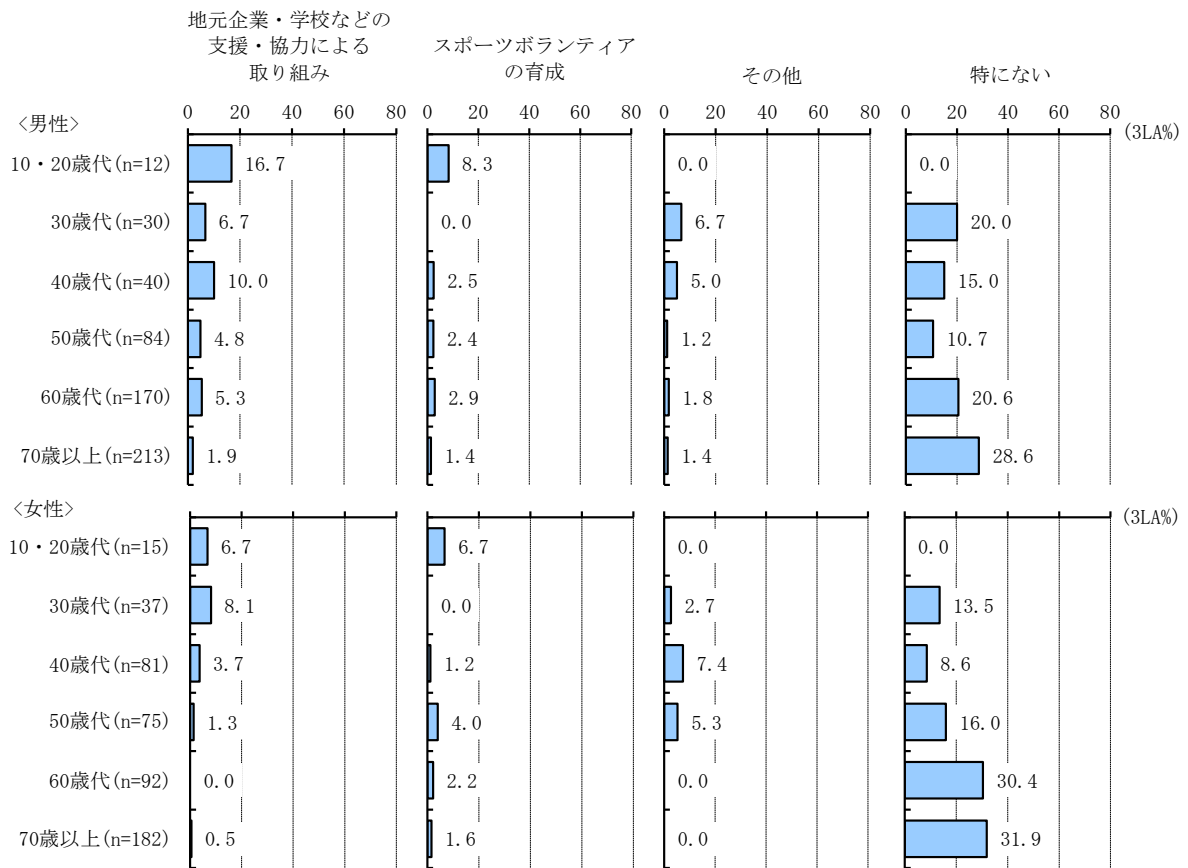
【図表13-1-1 性・年齢別 スポーツ活動が盛んになるために必要な施策①】



【図表13-1-1 性・年齢別 スポーツ活動が盛んになるために必要な施策②】

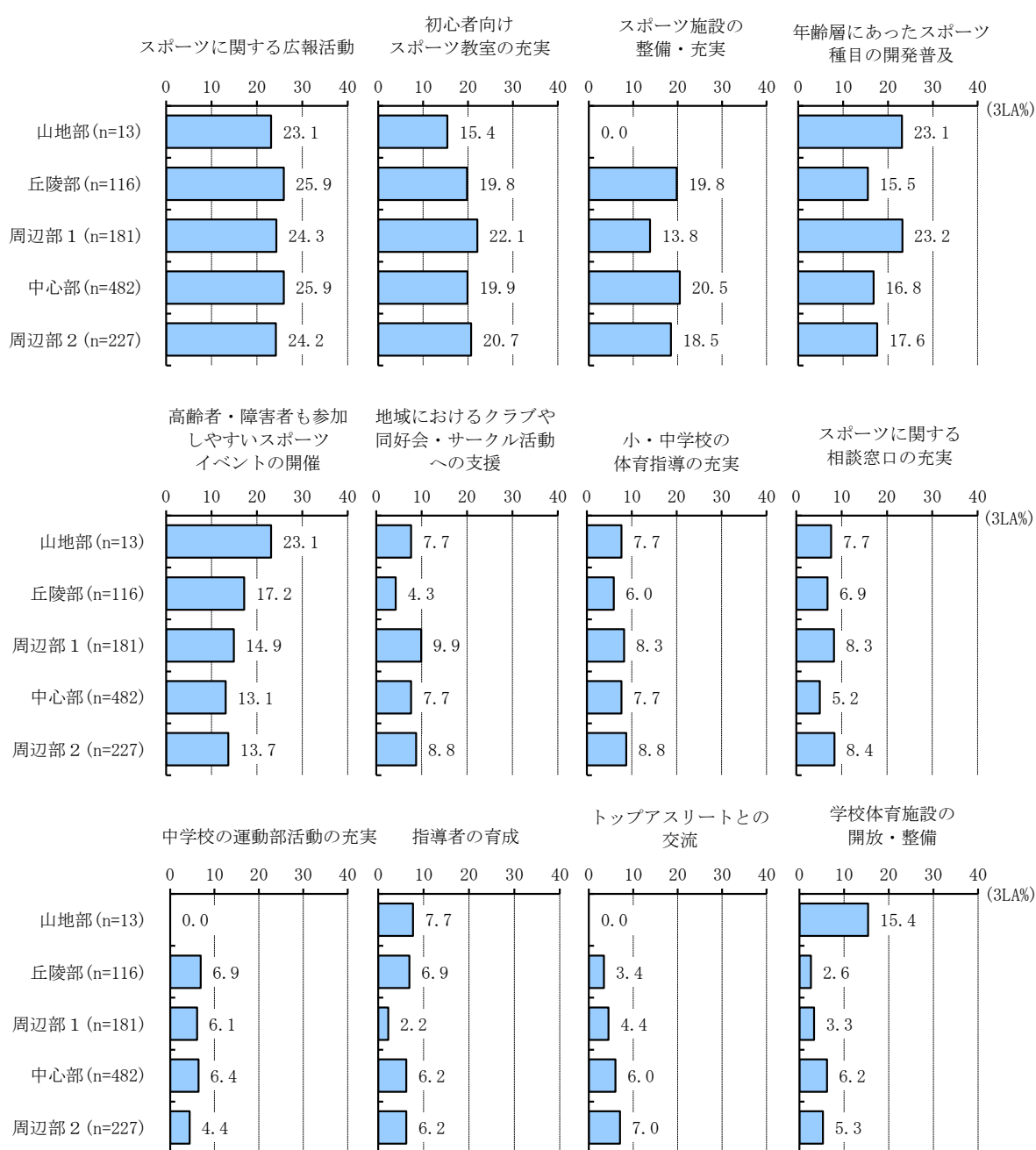


【図表13-1-1 性・年齢別 スポーツ活動が盛んになるために必要な施策③】

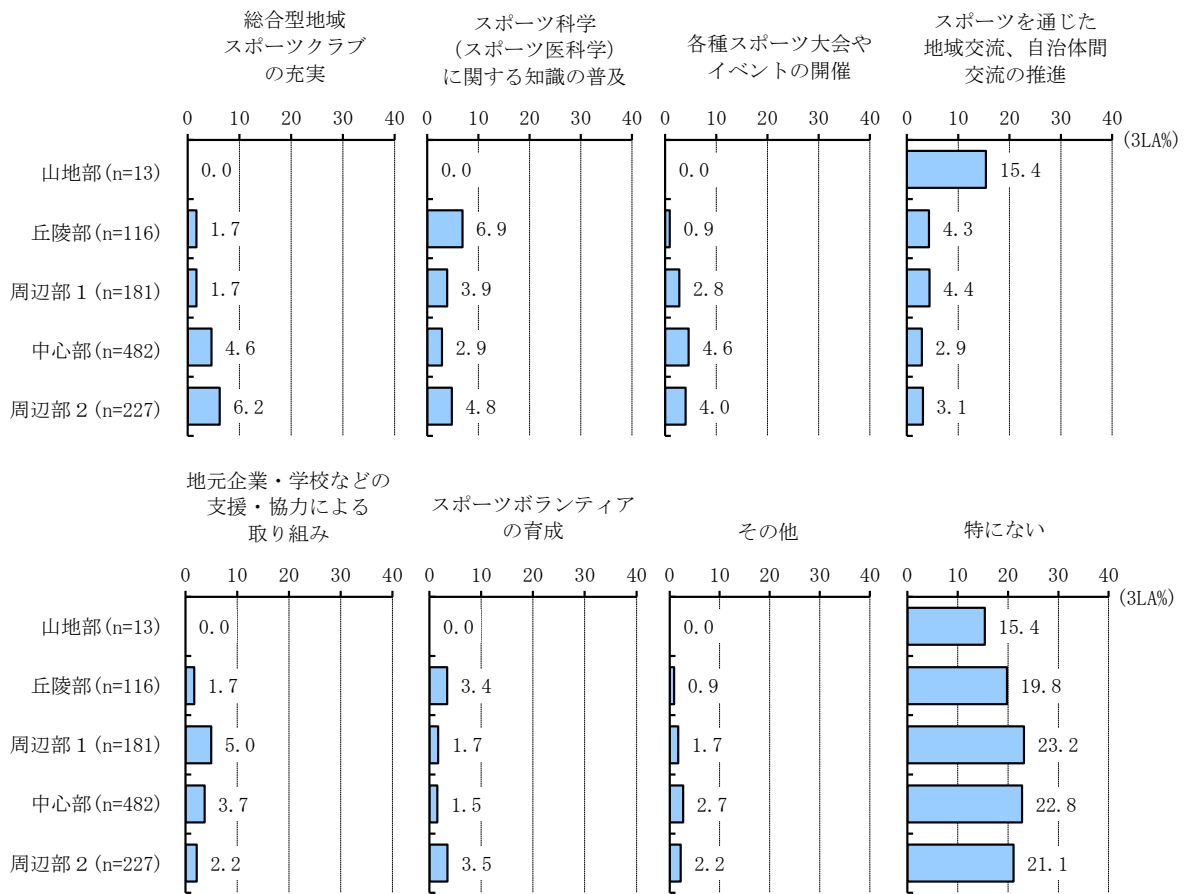


居住地区別でみると、いずれの地区も「スポーツに関する広報活動」が最も多く、山地部では母数が少ないので一概に言えないが「年齢層にあったスポーツ種目の開発普及」や「高齢者・障害者も参加しやすいスポーツイベントの開催」も同率で最も多くなっている。また、「年齢層にあったスポーツ種目の開発普及」では周辺部1(23.2%)、「高齢者・障害者も参加しやすいスポーツイベントの開催」では丘陵部(17.2%)が、それぞれ他の地区に比べ高くなっている。(図表13-1-2)

【図表13-1-2 居住地区別 スポーツ活動が盛んになるために必要な施策①】



【図表13-1-2 居住地区別 スポーツ活動が盛んになるために必要な施策②】

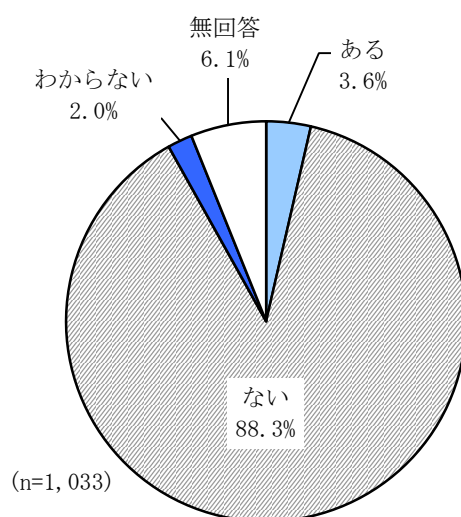


14 障害のある人となない人のスポーツによる交流について

(1) 障害のある人となない人がスポーツをする機会への参加経験

問48. 障害のある人となない人が、一緒にスポーツをする機会に参加したことがありますか。(○は1つ)

【図表14-1 障害のある人となない人がスポーツをする機会への参加経験】

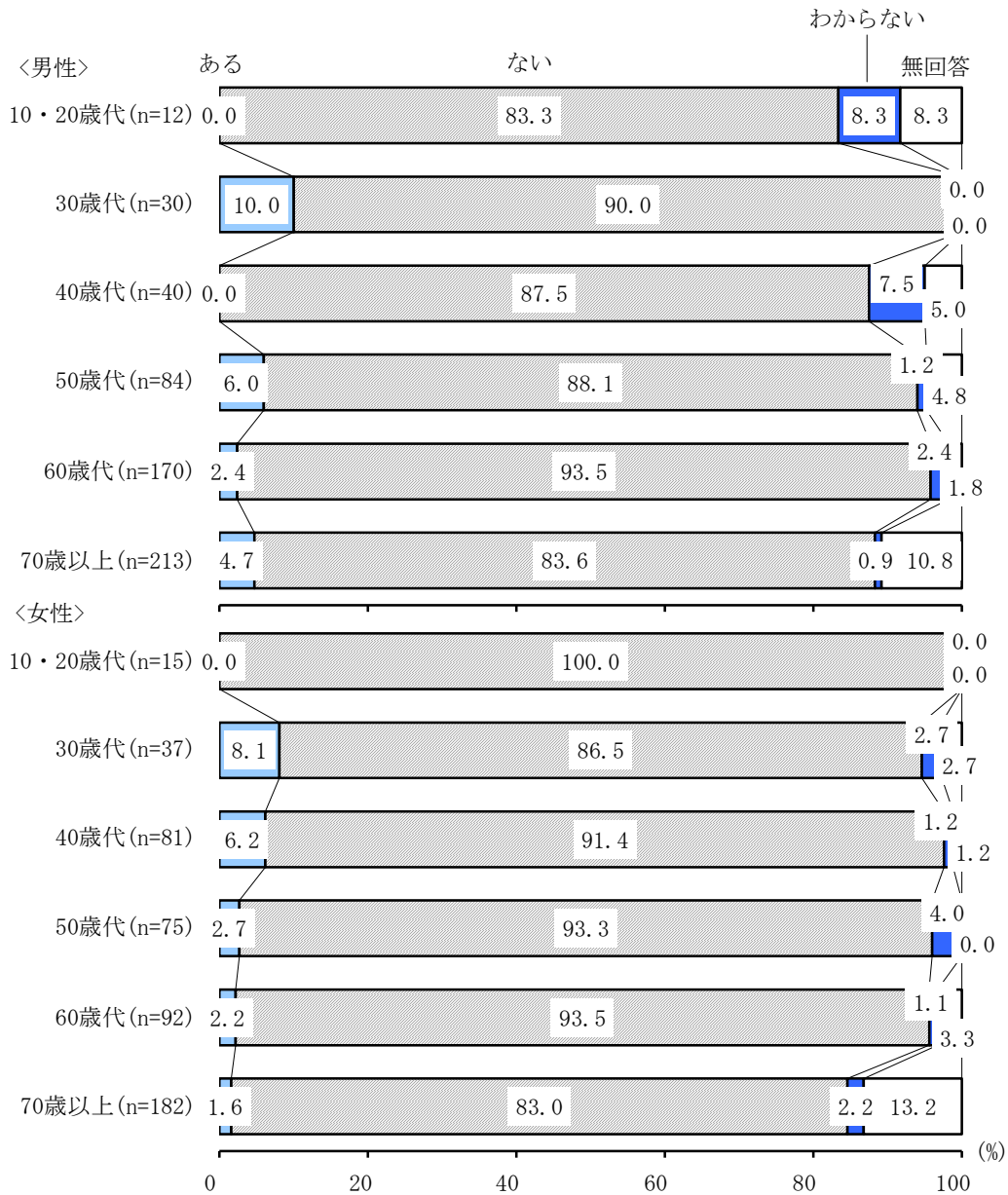


障害のある人となない人が、一緒にスポーツをする機会に参加したことがあるかについて、「ある」が3.6%に対し、「ない」は88.3%を占めている。(図表14-1)

性・年齢別で見ると、男性で参加したことがある人は、30歳代が10.0%で最も高く、次いで50歳代が6.0%、70歳以上が4.7%、60歳代が2.4%となっている。

女性で参加したことがある人は、30歳代が8.1%で最も高く、次いで40歳代が6.2%、50歳代が2.7%、60歳代が2.2%、70歳以上が1.6%となっている。(図表14-1-1)

【図表14-1-1 性・年齢別 障害のある人とない人がスポーツをする機会への参加経験】



(2) 障害のある人とない人が一緒に行ったスポーツ

【問48で「1. ある」と回答した方にうかがいます。】

問49. どのようなスポーツをしましたか。次の（ ）の中に具体的にご記入ください。

【図表14-2 障害のある人とない人が一緒に行ったスポーツ】

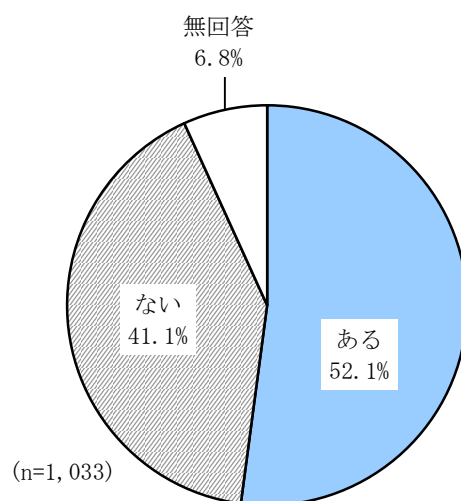
種目 (n=37)	件数
ジョギング・マラソン	8
卓球	5
グラウンド・ゴルフ	4
ウォーキング (散歩含む)	各 3
ボウリング	
水泳	各 2
ゴルフ	
バレーボール	
ソフトバレーボール	
バスケットボール	
ダンス・エアロビクス	
社交ダンス・フラダンス	
サッカー	各 1
フットサル	
テニス	
ソフトテニス	
バドミントン	
空手道	
登山・ハイキング	
パークゴルフ	
ペタンク	
フライングディスク	
グライダー	
運動会・スポーツレクリエーション	
消防訓練大会	

障害のある人とない人が一緒にスポーツをする機会に参加したことがある人 (37人) に、一緒に行ったスポーツの種目をたずねたところ、「ジョギング・マラソン」が8人で最も多く、「卓球」が5人、「グラウンド・ゴルフ」が4人、「ウォーキング (散歩含む)」と「ボウリング」がともに3人と続いている。(図表14-2)

(3) 障害のある人のスポーツの観戦経験

問50. 障害のある人のスポーツを観戦（テレビを含む）したことがありますか。
(○は1つ)

【図表14-3 障害のある人のスポーツの観戦経験】

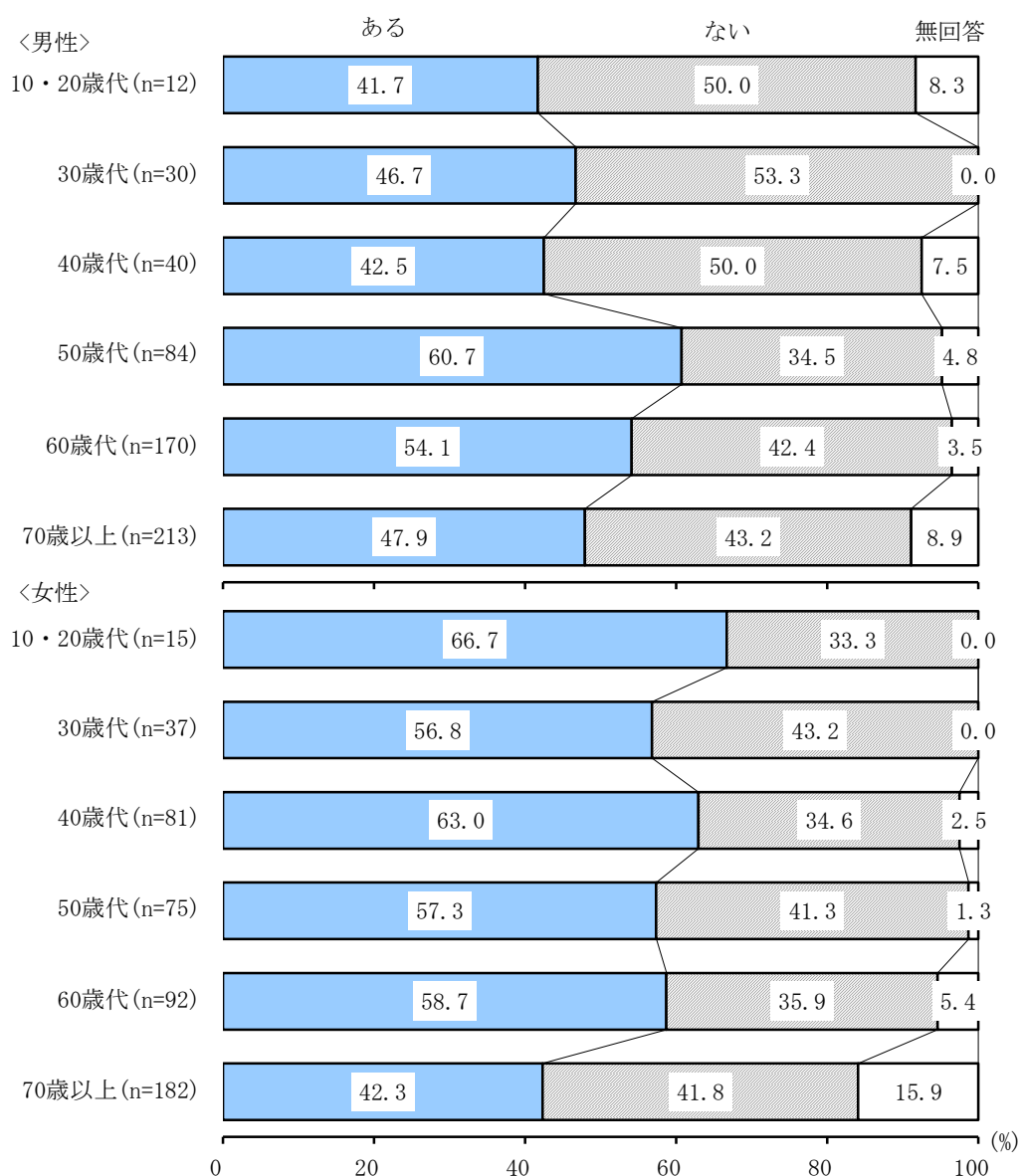


障害のある人のスポーツを観戦したことがあるかについて、「ある」が52.1%を占めており、「ない」は41.1%となっている。(図表14-3)

性・年齢別で見ると、男性で観戦経験のある人は、50歳代が60.7%で最も高く、次いで60歳代が54.1%、70歳以上が47.9%となっており、10歳代～40歳代も4割台を占めている。

女性で観戦経験のある人は、10・20歳代で母数は少ないが66.7%（10人）となっており、40歳代は63.0%、30歳代や50歳代、60歳代は6割弱で、それぞれ過半数を占めているが、70歳以上は42.3%と他の年代に比べ低くなっている。（図表14-3-1）

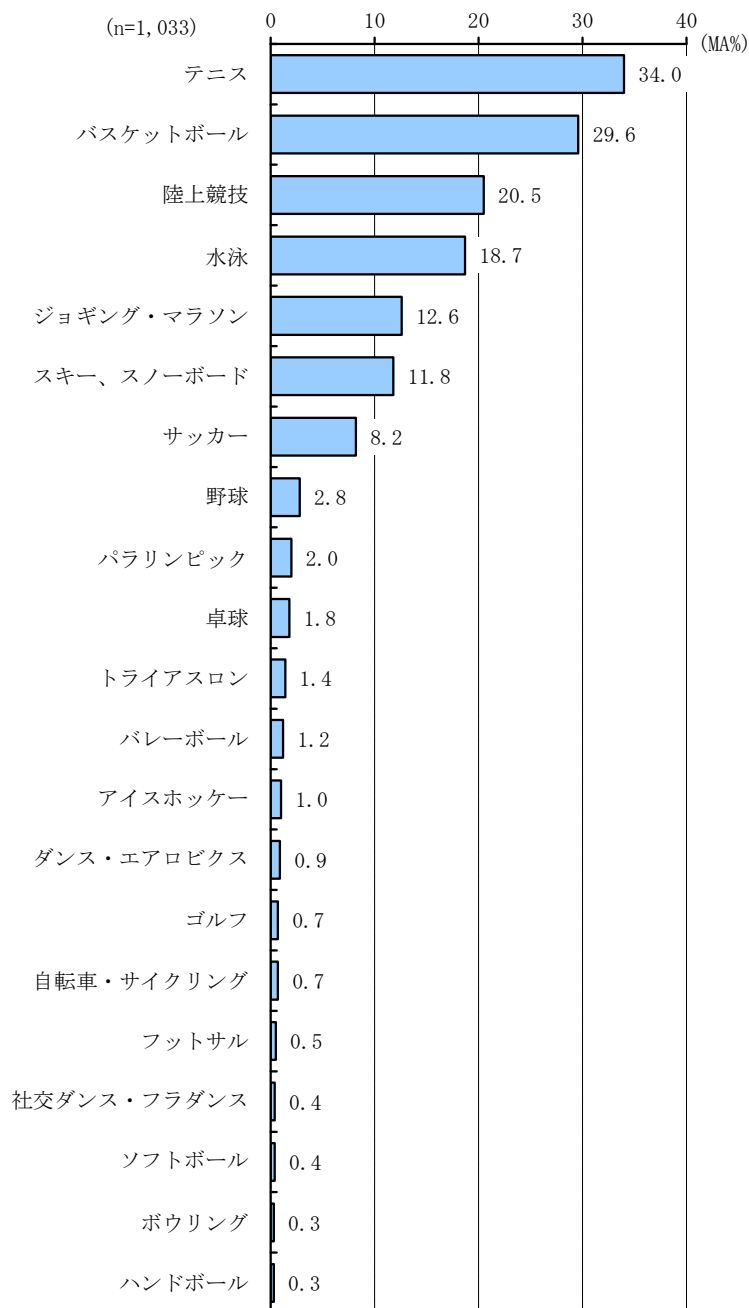
【図表14-3-1 性・年齢別 障害のある人のスポーツの観戦経験】



(4) 障害のある人のスポーツで知っている種目

問51. 障害のある人のスポーツで知っているスポーツを次の（ ）の中にご記入ください。

【図表14-4 障害のある人のスポーツで知っている種目（上位20項目）】



障害のある人のスポーツで知っている種目については、「テニス」が34.0%で最も多く、次いで「バスケットボール」が29.6%、「陸上競技」が20.5%、「水泳」が18.7%、「ジョギング・マラソン」が12.6%と続いている。(図表14-4)

資料

スポーツに関する市民意識調査票

スポーツに関する市民意識調査

市民の皆様には、日頃から市政の推進にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、本市では、より多くの皆様がスポーツに親しんでいただけるよう、スポーツ振興に関する基本計画の策定に向けた取り組みを進めています。

このたび、市民の皆様の健康や運動・スポーツについての現状とご意見をお聞きして、計画策定時の参考とするため、アンケート調査を行います。

ご協力をお願いする方々につきましては、市内にお住まいの18歳以上の方の中から、2,000人を無作為に選ばせていただきました。

ご記入いただきました内容につきましては、調査目的以外には使用しません。

また、個人情報の保護に十分な注意をはらい、調査結果は統計的に処理し、回答いただいた方々にご迷惑をおかけすることは一切ありませんので、率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成 27 年 7 月

茨木市長 木本保平

◆ ご記入のお願い ◆

- ※ ご回答は、あて名のご本人にご記入をお願いいたします。ご家族の方による代筆記入でも構いません。
- ※ ご回答は、あてはまる番号に○印をつけてください。○の数は設問によって異なりますので、その指示に従ってご回答ください。
- ※ 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内にそってご回答ください。
- ※ 「その他」にあてはまる場合は、() 内になるべく具体的にご記入ください。
- ※ ご記入いただいたアンケートは、無記名のまま同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに、平成 27 年 8 月 12 日 (水) までにポストにご投函ください。

なお、このアンケートに関するお問い合わせは、次の連絡先までお願いいたします。

茨木市 市民文化部 スポーツ推進課
電 話 072-620-1608
所在地 茨木市駅前三丁目8番13号

1. あなたご自身のことについて

【すべての方にうかがいます。】

問1. あなたの性別は。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2. あなたの年齢は。(○は1つ)

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1. 10歳代 | 4. 40歳代 | 7. 70歳代 |
| 2. 20歳代 | 5. 50歳代 | 8. 80歳代 |
| 3. 30歳代 | 6. 60歳代 | 9. 90歳以上 |

問3. 現在のあなたの職業は。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 正社員・フルタイム | 5. 年金受給者 |
| 2. パート・アルバイト | 6. 学生 |
| 3. 自営業（家業手伝い含む） | 7. 無職・求職中 |
| 4. 専業主婦・主夫 | 8. その他（具体的に： _____） |

問4. あなたがお住まいの町名をご記入ください。(番地は不要です)

茨木市 _____ （町・丁目）

問5. あなたには障害がありますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1. ある | 2. ない | 3. わからない |
|-------|-------|----------|

→【問5で「1. ある」と回答した方にうかがいます。】

問6. どのような障害ですか。(該当するものに○をつけてください)

- | | | |
|----------|---------|---------------|
| 1. 視覚障害 | 4. 内部障害 | 7. 発達障害 |
| 2. 聴覚障害 | 5. 知的障害 | 8. その他 |
| 3. 肢体不自由 | 6. 精神障害 | （具体的に： _____） |

2. あなたの健康や生きがいについて

【すべての方にうかがいます。】

問7. あなたは、ご自分の健康状態についてどのように感じていますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 健康 | 3. あまり健康でない |
| 2. どちらかといえば健康 | 4. 健康でない(病気療養中等) |

問8. 健康や体力づくりのために心がけていることは何ですか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 食生活に気をつける |
| 2. 睡眠や休養を十分にとる |
| 3. 運動やスポーツをする |
| 4. 日常生活の中でできるだけ身体を動かす機会を増やす(⇒例:近ければ車を利用せず歩く、エレベーターやエスカレーターはなるべく使わない等) |
| 5. 規則正しい生活をする |
| 6. 酒やたばこを控える |
| 7. その他(具体的に: _____) |
| 8. 特に心がけていることはない |

問9. 現在、健康診査(診断)や受診の際に、医師などから運動に関して指導されていることがありますか。(○は1つ)

- | |
|---------------------------|
| 1. 運動をするように指導されている |
| 2. 現在の運動(量)を続けるように指導されている |
| 3. 運動を控えるように指導されている |
| 4. 健康診査(診断)等を受けたことがない |
| 5. 指導されていない |

問10. あなたは現在、どのようなことに生きがいを感じますか。(○は3つまで)

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 1. 仕事 | 9. 子ども・孫・親などの家族・家庭 |
| 2. 趣味的活動 | 10. 友人など家族以外の人との交流 |
| 3. 運動・スポーツ活動 | 11. 社会・地域活動(ボランティア含む) |
| 4. 自分自身の健康づくり | 12. ひとりで気ままに過ごすこと |
| 5. 学習活動 | 13. 自分自身の内面の充実 |
| 6. 旅行 | 14. その他 |
| 7. 自然とのふれあい | (具体的に: _____) |
| 8. 配偶者・結婚生活 | |

3. スポーツや運動に対する意識について

【すべての方にうかがいます。】

問11. あなたは運動・スポーツに関心がありますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 関心がある | 3. どちらかといえば関心がない |
| 2. どちらかといえば関心がある | 4. 関心がない |

問12. よく観戦(テレビを含む)するスポーツは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------|-------------------------|
| 1. マラソン・駅伝 | 12. ラグビー |
| 2. 陸上競技 | 13. バレーボール |
| 3. 体操 | 14. バasketボール |
| 4. ダンス | 15. 野球(プロ・高校・メジャーリーグ等) |
| 5. フィギュアスケート | 16. ソフトボール |
| 6. 水泳 | 17. サッカー(Jリーグ・海外プロ・女子等) |
| 7. ボウリング | 18. フットサル |
| 8. ゴルフ | 19. 格闘技(ボクシング・総合格闘技等) |
| 9. テニス | 20. 大相撲 |
| 10. バドミントン | 21. その他(具体的に:) |
| 11. 卓球 | 22. 特にない |

4. スポーツや運動の実施状況について

【すべての方にうかがいます。】

問13. あなたは、自分自身の現在の運動量をどう思いますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------------|
| 1. 足りている | 3. 病気などで運動ができない |
| 2. 不足である | 4. わからない |

問14. あなたは、ふだん運動やスポーツをどの程度していますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 週に3日以上 | → 問16へ進んでください |
| 2. 週に1～2日 | |
| 3. 月に1～3日 | |
| 4. 3か月に1～2日 | |
| 5. 年に1～3日 | |
| 6. 全くしていない | |

→【問14で「4. 3か月に1～2日」「5. 年に1～3日」「6. 全くしていない」のいずれかを回答した方にうかがいます。】

問15. 運動やスポーツをあまりしていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|---|
| 1. きっかけや機会がない | |
| 2. 仕事や家事、育児等で時間がない | |
| 3. 病気やけが、体調不良 | |
| 4. 体力的な面(高齢者等) | |
| 5. 希望する内容がない | |
| 6. 一緒にする仲間がいない | |
| 7. 指導者がいない | |
| 8. 場所(施設等)が近くにない | |
| 9. 経済的な面 | |
| 10. 苦手・下手 | |
| 11. 興味・関心がない | |
| 12. 他にやりたいことがある | |
| 13. 施設が使いにくい(具体的に: |) |
| 14. その他(具体的に: |) |
| 15. 特に理由はない | |

→ 問23へ進んでください

【問 14 で「1.」～「3.」のいずれか（月 1 回以上運動やスポーツをしている）を回答した方にうかがいます。】

問16. 現在行っている運動やスポーツを次の（ ）の中にご記入ください。

- （種目名：<記入例> ジョギング)
- （種目名：)
- （種目名：)
- （種目名：)
- （種目名：)
- （種目名：)

問17. 運動やスポーツを行っている目的は何ですか。（○はいくつでも）

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 楽しみや嗜好、趣味 | 8. 技術力の向上 |
| 2. いきがいづくり | 9. 気分転換、ストレス解消 |
| 3. 家族や友人・知人との交流 | 10. 達成感や満足感の獲得、メンタル強化 |
| 4. 美容、ダイエット | 11. 病気やけがの治療・リハビリテーション |
| 5. 運動不足解消 | 12. その他（具体的に：) |
| 6. 健康の維持、増進 | 13. 特に理由はない |
| 7. 体力（筋力・持久力・柔軟性など）の向上 | |

問18. 運動やスポーツを行う場合、どのように取り組んでおられますか（取り組みたいですか）。（○は1つ）

- | |
|-------------------------|
| 1. 競技スポーツとして、本格的に取り組む |
| 2. 生涯スポーツとして、楽しみながら取り組む |

「競技スポーツ」と「生涯スポーツ」と

競技スポーツは、統一のルールにより相手と競うスポーツで、生涯スポーツは、人生を通して自分の健康や楽しみのためにするスポーツです。

問 19. 運動やスポーツをよく行う時間帯はいつですか。（○はいくつでも）

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 平日の早朝 (9 時以前) | 9. 平日の夜 (18 時～21 時頃) |
| 2. 土・日の早朝 (9 時以前) | 10. 土・日の夜 (18 時～21 時頃) |
| 3. 平日の午前 (9 時～12 時頃) | 11. 平日の夜遅く (21 時以降) |
| 4. 土・日の午前 (9 時～12 時頃) | 12. 土・日の夜遅く (21 時以降) |
| 5. 平日の午後 (12 時～15 時頃) | 13. 特に決まっていない |
| 6. 土・日の午後 (12 時～15 時頃) | 14. その他 |
| 7. 平日の夕方 (15 時～18 時頃) | (具体的に： 曜日 時～ 時頃) |
| 8. 土・日の夕方 (15 時～18 時頃) | |

問 20. 主に誰と運動やスポーツをしていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 一人で | 5. 職場や学校の仲間と |
| 2. 友人や知人と | 6. 地域の人と (自治会や老人会など) |
| 3. 家族と | 7. その他 (具体的に:) |
| 4. サークル・クラブのメンバーと | |

問21. ふだん、どこで運動やスポーツをしていますか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 学校の体育施設 (体育館・運動場) |
| 2. 公立の体育施設 (体育館・球技場など) |
| 3. 体育施設以外の公共施設 (公民館・コミュニティセンターなど) |
| 4. 民間のスポーツ施設 (テニスコート・スポーツクラブ・フィットネスクラブなど) |
| 5. 公園、河川敷 |
| 6. 自宅 (室内・庭など) |
| 7. その他 (具体的に:) |

**問22. あなたには、ふだん運動やスポーツをする際、指導してくれる人はいますか。
(○は1つ)**

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

5. 今後の運動やスポーツに対する意向について

【すべての方にうかがいます。】

問23. 今後、運動やスポーツをやってみたい（続けていきたい）と思いますか。
(○は1つ)

1. 今行っている運動やスポーツを今後も続けていきたい
2. 今行っている運動やスポーツを続けながら、別のスポーツもやってみたい
3. 今行っているものとは別の運動やスポーツをやってみたい
4. 今後、始めてみたい
5. やりたいとは思わない → 問25へ進んでください

→【問23で「1.」～「4.」のいずれかを回答した方にうかがいます。】

問24. 今後、やってみたいと思う運動やスポーツは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1. ウォーキング（散歩含む） | 26. スキー、スノーボード |
| 2. ジョギング・マラソン | 27. アイススケート |
| 3. 体操 | 28. アイスホッケー |
| 4. ダンス・エアロビクス | 29. 剣道 |
| 5. 社交ダンス・フラダンス | 30. 少林寺拳法 |
| 6. ヨガ・ピラティス | 31. なぎなた |
| 7. 太極拳 | 32. 跆拳道（テコンドー） |
| 8. ボディービル・筋力トレーニング | 33. 柔道 |
| 9. 水泳 | 34. 空手道 |
| 10. ボウリング | 35. 弓道 |
| 11. ゴルフ | 36. 相撲 |
| 12. 野球 | 37. ゲートボール |
| 13. ソフトボール | 38. グラウンド・ゴルフ |
| 14. ラグビー | 39. 綱引き |
| 15. サッカー | 40. 釣り |
| 16. フットサル | 41. カヌー |
| 17. 陸上競技 | 42. 登山・ハイキング |
| 18. バレーボール | 43. 自転車・サイクリング |
| 19. ソフトバレーボール | 44. 乗馬 |
| 20. バスケットボール | 45. カローリング |
| 21. ハンドボール | 46. サーフィン・ウインドサーフィン |
| 22. テニス | 47. スキューバダイビング・スキンドайビング |
| 23. ソフトテニス | 48. スケートボード・インラインスケート |
| 24. バドミントン | 49. その他 |
| 25. 卓球 | (具体的に:) |

問25. 「スポーツ大会」「体育祭」「スポーツ教室」「講習会」などのイベント・行事に参加したことがありますか。(○は主なもの1つ)

- | | |
|--|--------------------------|
| 1. 選手・受講者として参加したことがある
2. 運営スタッフとして参加したり応援・観戦したことがある | 3. 参加したことはない
└─→ 問27へ |
|--|--------------------------|

「スポーツ大会」「体育祭」とは？

「スポーツ大会」とは、種目ごとの実施など競技性の高いスポーツ行事を指し、「体育祭」とは、学校や地域等で実施される、ある集団の基本的に全員参加型のスポーツ行事を指しています。

→【問25で「1. 選手・受講者として参加したことがある」「2. 運営スタッフとして参加したり応援・観戦したことがある」と回答した方にうかがいます。】

問26. 参加して、どのように感じていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 満足している | 5. 時期・時間に不満がある |
| 2. 開催内容に不満がある | 6. よくわからない |
| 3. 指導者や講師に不満がある | 7. その他 |
| 4. 開催回数に不満がある | (具体的に:) |

問27. 今後、参加してみたいスポーツの行事はありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. スポーツ大会 | 4. その他 |
| 2. 体育祭 | (具体的に:) |
| 3. スポーツ教室、講座・講習会 | 5. 参加したいと思わない |

6. スポーツクラブや同好会等への加入状況について

【すべての方にうかがいます。】

問28. 運動やスポーツに関するクラブや同好会などに加入していますか。(〇は1つ)

1. 加入している

2. 以前加入していた

3. 加入したことはない

→ 問 33 へ進んでください

→【問 28 で「1. 加入している」と回答した方にお聞きします。】

問 29. 加入しているクラブや同好会などに満足していますか。(〇は1つ)

1. 満足

2. やや満足

3. やや不満

4. 不満

→ 問 30. クラブや同好会、教室へ加入する費用として、1か月にどのくらいまでなら負担してもよいと考えていますか。(〇は1つ)

1. 自己負担金なし

4. 月 3,000～5,000 円未満

2. 月 1,000 円未満

5. 月 5,000～10,000 円未満

3. 月 1,000～3,000 円未満

6. 月 10,000 円以上

→ 問 31. どのようなクラブや同好会などに加入していますか。(〇はいくつでも)

1. 総合型地域スポーツクラブ → 次のページの問 32 の質問にお答えください。

2. 民間のスポーツジム・フィットネスクラブ

3. 職場または学校のクラブや同好会

4. 地区・地域のクラブや同好会

5. 友人や仲間構成しているクラブや同好会

6. その他 (具体的に:)

→ 「2.」～「6.」のいずれかを回答した方は、次ページの問 33 の質問にお答えください。

「総合型地域スポーツクラブ」とは？

「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも」スポーツを楽しむことができる社会を実現するために、地域住民が主役となって、自ら運営・管理する新しいスポーツクラブのしくみです。クラブでは、いろいろな種目をさまざまな人たちが、その興味・関心や競技レベルを問わず、それぞれのスタイルで楽しむことができます。また、スポーツに限らず、社会・文化的な活動も視野に入れ、地域コミュニティの形成にもつながるクラブを理想としています。

現在、茨木市では、茨木東スポーツクラブ レッツ、茨木北スポーツクラブ・オークという2団体が活動しています。

【問31で「1. 総合型地域スポーツクラブ」と回答した方にうかがいます。】

問32. 「総合型地域スポーツクラブ」に入会した理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 近くにあるから | 7. スポーツ以外の活動にも取り組めるから |
| 2. 色々な種目を楽しみたいから | 8. 広報やチラシを見て興味を持ったから |
| 3. 幅広い人と交流したいから | 9. 知人や家族に勧められた(誘われた)から |
| 4. 健康づくりができそうだから | 10. イベントに参加したら楽しかったから |
| 5. 質の高い指導者がいるから | 11. その他 |
| 6. 技術力が高まりそうだから | (具体的に:) |

【問28で「2. 以前加入していた」「3. 加入したことはない」と回答した方、又は問31で「2.」から「6.」のいずれかを回答した方にうかがいます。それ以外の方は次のページにお進みください。】

問33. 国では、幅広い世代の人々が、興味関心・競技レベルに合わせて、様々なスポーツ機会を提供するため、「総合型地域スポーツクラブ」の育成に取り組んでいます。このクラブを知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 内容まで知っている | → 問35へ進んでください |
| 2. 言葉だけ聞いたことがある | |
| 3. 初めて聞いた | |

【問33で「1. 内容まで知っている」と回答した方にうかがいます。】

問34. 「総合型地域スポーツクラブ」に入会していない理由は何ですか。

(○は3つまで)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 忙しくて時間がないから | 8. 1人で活動したいから |
| 2. 入会方法がわからないから | 9. 運動やスポーツに関心がないから |
| 3. 会費が高いから | 10. 運動やスポーツが苦手だから |
| 4. 活動内容がわからないから | 11. 病気などで運動ができないから |
| 5. 活動場所が遠方であるから | 12. 他にやりたいことがあるから |
| 6. 興味のある種目の教室がないから | 13. その他 |
| 7. 一緒に活動する仲間がないから | (具体的に:) |

問35. あなたは、今後、「総合型地域スポーツクラブ」に入会したいと思いますか。

(○は1つ)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 正式に入会したい | 4. すでに入会している |
| 2. 体験入会したい | 5. わからない |
| 3. 入会したいと思わない | |

【すべての方にうかがいます。】

問 36. 過去1年間に運動・スポーツに関わるボランティア活動に参加したことがありますか。(○は1つ)

1. 参加したことがあり、今後も参加する予定
2. 参加したことはあるが、今後、参加する予定はない
3. 参加したことはないが、今後、参加したい
4. 参加したことがなく、今後も参加する予定はない

→ 問 38 へ進んでください

→【問36で「参加したことがある」と回答した方にうかがいます。】

問 37. 参加したことがあるボランティア活動は何ですか。(○はいくつでも)

1. 日常的なスポーツ活動の指導・審判
2. 日常的な団体・クラブの運営や施設管理
3. 地域のスポーツイベントの審判
4. 地域のスポーツイベントの運営や運営補助
5. 全国的なスポーツイベントの審判
6. 全国的なスポーツイベントの運営や運営補助
7. 国際的なスポーツイベントの審判
8. 国際的なスポーツイベントの運営や運営補助
9. その他（具体的に： _____)

【すべての方にうかがいます。】

問 38. 運動やスポーツに参加するための情報をどのようにして入手していますか。(○はいくつでも)

1. 市の窓口・電話で問合せ
2. 市の広報誌・ホームページ
3. 市の施設等のチラシやパンフレット
4. 自治会回覧や掲示板
5. 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ
6. 家族・友人・知人からの紹介
7. 所属クラブ・団体などを通じて
8. インターネット
9. その他（具体的に： _____)
10. 特に入手していない

7. 市が管理・運営する公共のスポーツ施設や行事、団体について

【すべての方にうかがいます。】

問 39. 今まで、市が管理・運営する公共スポーツ施設（学校体育施設を除く）を利用されたことがある場合、次のうち、どの施設を利用されましたか。

（○はいくつでも）

利用されたことがない場合は、「利用したことがない」に○をつけてください。

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 1. 体育館・屋内運動場 | 4. グラウンド |
| 2. プール | 5. その他(具体的に:) |
| 3. テニスコート | 6. 利用したことがない → 問 41 へ |

→【問 39 で「1～5（利用したことがある）」と回答した方にうかがいます。】

問40. 公共スポーツ施設を利用して、全般にどの程度満足していますか。（○は1つ）

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 満足
2. やや満足 | → 問 42 へ進んでください |
| 3. やや不満
4. 不満 | |

→【問39で「6. 利用したことがない」と回答した方、又は問40で「3. やや不満」「4. 不満」のいずれかを回答した方にうかがいます。】

問41. 利用しない理由、又は満足できないところはどのようなことですか。

（○は3つまで）

- | |
|--------------------------------|
| 1. 運動やスポーツに興味がない |
| 2. 利用できることを知らなかった |
| 3. 施設があることを知らなかった |
| 4. 交通の便が良くない |
| 5. 利用日や利用時間が合わない |
| 6. プログラム内容が希望に合わない |
| 7. 利用できる運動・競技種目が希望に合わない |
| 8. 施設の各種機器・設備に不満がある（古い、使いにくい等） |
| 9. 近くに利用できる施設がない、施設が少ない |
| 10. 駐車できる台数が少ない、スペースが狭い |
| 11. 施設の利用料金が低い |
| 12. 利用手続きが面倒 |
| 13. アフタースポーツ、憩いの場がない |
| 14. その他（具体的に:) |

【すべての方にうかがいます。】

問42. 公共スポーツ施設に対して、何か望むことがありますか。(〇は3つまで)

1. 身近で利用できるよう、施設を増やす
2. 指導者の配置
3. 初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実
4. 利用手続き、料金の支払い方法等の簡略化
5. 利用時間帯の拡大（早朝、夜間等）
6. 利用曜日の拡大（休館日）
7. 利用案内等の広報の充実
8. アフタースポーツのための施設（レストラン等）の充実
9. 健康やスポーツに関する情報の充実
10. 託児施設の充実
11. その他（具体的に： _____)
12. 特にない

**問43. 茨木市内で行われるスポーツ行事で知っているものに〇印をつけてください。
(〇はいくつでも)**

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. スポーツフェスティバル | 13. バドミントン大会 |
| 2. テニス大会 | 14. ゲートボール大会 |
| 3. ソフトテニス大会 | 15. インディアカ大会 |
| 4. マラソン大会 | 16. ウォークラリー大会 |
| 5. バレーボール大会 | 17. 柔道大会 |
| 6. ソフトバレーボール大会 | 18. 剣道大会 |
| 7. 軟式野球大会 | 19. ゴルフ大会 |
| 8. ソフトボール大会 | 20. 水泳大会 |
| 9. バスケットボール大会 | 21. グラウンド・ゴルフ大会 |
| 10. 陸上競技大会 | 22. その他 |
| 11. 卓球大会 | (具体的に： _____) |
| 12. サッカー大会 | 23. いずれの行事も知らない |

問44. 茨木市内で活動しているスポーツに関する団体で知っているものに〇印をつけてください。(〇はいくつでも)

1. 茨木市体育協会（各連盟・協会、スポーツ少年団を含む）
2. 茨木市スポーツ推進委員協議会（スポーツ推進委員）
3. 茨木東スポーツクラブ レッツ
4. 茨木北スポーツクラブ・オーク
5. 茨木市生涯スポーツディレクター協議会
6. その他（具体的に： _____)
7. いずれの団体も知らない

8. 学校体育施設の利用状況について

【すべての方にうかがいます。】

問45. この1年間に、茨木市内の学校体育施設（小・中学校の体育館や運動場）を運動・スポーツ活動で利用したことがありますか。（○は1つ）

1. ある

2. ない → 問47へ進んでください

→【問45で「1. ある」と回答した方にお聞きします。】

問46. 学校体育施設を利用して、全般に満足していますか。（○は1つ）

- 1. 満足
- 2. やや満足
- 3. やや不満
- 4. 不満

満足または不満な点について、具体的に記述することがあれば、ご記入ください。

9. 茨木市における今後のスポーツ振興について

【すべての方にうかがいます。】

問47. 今後、茨木市におけるスポーツ活動がますます盛んになるために、どのような施策に取り組むべきだと思いますか。（○は3つまで）

- 1. スポーツに関する相談窓口の充実
- 2. スポーツに関する広報活動
- 3. 小・中学校の体育指導の充実
- 4. 中学校の運動部活動の充実
- 5. 初心者向けスポーツ教室の充実
- 6. スポーツ施設の整備・充実
- 7. 学校体育施設の開放・整備
- 8. 地域におけるクラブや同好会・サークル活動への支援
- 9. 総合型地域スポーツクラブの充実
- 10. 指導者の育成
- 11. スポーツボランティアの育成
- 12. 年齢層にあったスポーツ種目の開発普及
- 13. 高齢者・障害者も参加しやすいスポーツイベントの開催
- 14. スポーツを通じた地域交流、自治体間交流の推進
- 15. 各種スポーツ大会やイベントの開催
- 16. スポーツ科学（スポーツ医科学）に関する知識の普及
- 17. トップアスリートとの交流
- 18. 地元企業・学校などの支援・協力による取り組み
- 19. その他（具体的に： _____）
- 20. 特になし

10. 障害のある人とない人のスポーツによる交流について

【すべての方にうかがいます。】

問48. 障害のある人とない人が、一緒にスポーツをする機会に参加したことがありますか。(○は1つ)

1. ある

2. ない

3. わからない

▶【問48で「1. ある」と回答した方にうかがいます。】

問49. どのようなスポーツでしたか。次の()の中に具体的にご記入ください。

(種目名：<記入例> マラソン)

(種目名：)

(種目名：)

(種目名：)

(種目名：)

(種目名：)

【すべての方にうかがいます。】

問50. 障害のある人のスポーツを観戦(テレビを含む)したことがありますか。
(○は1つ)

1. ある

2. ない

問51. 障害のある人のスポーツで知っているスポーツを次の()の中にご記入ください。

(種目名：)

(種目名：)

(種目名：)

(種目名：)

(種目名：)

問52. スポーツに関してその他ご意見やご要望等がありましたら、自由にお書きください。

(例:親子で一緒にできるスポーツや、市の体育施設等の利用方法を教えてほしい)

(例:就学前や小学生の子どものスポーツ活動について知りたい)

調査は以上で終わりです。長時間にわたり、ご協力ありがとうございました。調査票は、無記名のまま同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに、平成27年8月12日(水)までにポストへご投函ください。

茨木市スポーツに関する市民意識調査報告書

発行日：平成27年（2015年）12月

発行：茨木市

編集：茨木市市民文化部スポーツ推進課

〒567 - 8505 茨木市駅前三丁目8番13号

TEL. 072 - 622 - 8121（代表）

<http://www.city.ibaraki.osaka.jp>
